

日本語の  
ぶんぽう

れん  
れんし  
れんしゅ  
んしゅ  
しゅ





# 日本語の ぶんぽう

T I J 東京日本語研修所





## まえがき

最近、日本に一時的に滞在する外国人だけではなく、定住する外国人や、日本企業で働く外国人が増えてきました。人に自分の意志を的確に伝えるため、或いは人の話や情報を正確に捉えるためには、言葉を支える『文法』をしっかりと身につけていなければなりません。

本書『日本語のぶんぼう』は、日本語の実生活を切り取った会話の中から、文法を抽出して作成した教科書ですので、単に理論だけにおわってしまう文法ではなく、日本語を運用するための生きた文法が習得できます。

初級から文法に裏打ちされたしっかりした日本語を身につけたい人、また、ある程度会話はできるけれども、もっと的確に話せる力、書ける力、読める力をつけたい人に最適です。コミュニケーション力を育てるテキストと併せて使うことによって、最大の効果を発揮します。

日本人の指導者の方でも、日本語の基本文法全体を見渡したい方、外国人の日本語学習プロセスを体験してみたい方など、是非本書をご利用ください。

1996年 9 月

T I J 東京日本語研修所

広瀬万里子  
大森 瑳子  
岩崎理都子

## 本書の使い方

本書は、日本語の初級の文法項目を網羅しており、提出順序は通常の日本語教科書に則しています。各課は独立していますので、全体を通して使うこともできますし、必要なところだけ取り出して使うこともできます。各課の終わりに練習問題が用意されていますので、文法・文型が正しく身につけられたかチェックできます。

## 1 初級者の場合

コミュニケーション力育成用のテキストと併用されることをお勧めします。二つを並行して使うことによって、コミュニケーション用のテキストを使って学ぶときは音声に集中して運用力を伸ばす、本書で勉強するときは、文法・文型の意味と形を文字を媒介にして正確に習得するという、それぞれの目的がはっきりと打ち出されます。この両面からの学習によって、日本語の力を着実に伸ばすことができます。

本文 (1 課 p. 1)

I. は ます (題目を示し、それについての情報を名詞で与える)

ちん                      くに                      ちゅうごく  
陳です。      国は      中国です。

	なまえ	ちん
(わたしは)	(名前は)	陳です
す		ふなばし
住まいは		船橋です。
しごと		ぎし
仕事は		技師です。
しゅみ		りょこう
趣味は		旅行です。



(1) 口頭による文型の導入と練習

- ① (自分の名札を指して) 名前は(教師名)です。  
(あいさつをする) (教師名)です。  
どうぞよろしくおねがいします。  
(地図を書いて家を書き入れる) 住まいは新小岩です。  
(学生一人ずつ同様に言わせる) ( )です。どうぞよろしく  
おねがいします。  
住まいは( )です。
- ② (仕事を表す絵カードを示して) 仕事です。  
(仕事一つ一つの絵を指して) 教師、医者、技師、会社員、(その他)  
学生：リピート  
(自分を指して) 仕事は教師です。  
(学生一人ずつ言わせる) 仕事は( )です。
- ③ (趣味を表す絵カードを数枚用意) 音楽、旅行、映画、写真、スポーツ等  
(趣味の絵全体を指して) 趣味。 趣味です。  
(自分を指して) 趣味は音楽です。  
(学生一人ずつ言わせる) 趣味は( ) です。

(2) 教科書の例文を読む

- ① 学生一人一文ずつ読ませる  
② 全員で教師のあとについて読む練習

(3) 書く練習(時間がない場合は省略してもよい)

(名前)です。すまいは( )です。しごとは( )です。  
しゅみは( )です。

練習問題

- (1) 授業内に時間をとって、学生に問題を解かせ、答を記入させる。または宿題にする。  
(2) 指導者が口頭で答を言うか、板書して学習者自身にチェックさせる。または指導者が答をチェックする。  
(3) 短文作文問題については、指導者が個別にチェックすることが望ましい。

### 読み物

- (1) 学習者に一人一文ずつ声に出して読ませる。または指導者が読んで聞かせる。
- (2) 学習者全員が指導者のあとについて読む練習をする。
- (3) 全体の意味がわかったかどうか、質問を投げかけて、理解度をチェックする。
- (4) 初めから、一文ずつの意味がわかっているかどうかチェックする質問をして、答えさせる。
- (5) もう一度全員で読む。または教師が読んで聞かせる。
- (6) 内容によっては、学生に意見を言わせてもよい。

## II 中級者または自習の場合

### 本文

音読し、理解できないものがあつた場合は、指導者に口頭で意味のわかりやすい例文を示してもらるか、わかりやすく説明してもらう。

### 練習問題

問題を解く。できなかったものと短文作文については指導者の指導を受ける。

### 読み物

音読し、内容について指導者と話し合う。



# 目次

## 1 課 p. 1

- I.       は       です
- II.       ですか
- III. 何、どちら
- IV.       は
- V.       も
- VI.       の
- VII.       と

## 2 課 p. 6

- I. これ／それ／あれ
- II. この／その／あの
- III.       では ありません
- IV.       から       まで
- V. 何時、いくら、どれ、いつ  
時刻、数、数助詞

## 3 課 (1) p. 13

- I.       ます
- II.       ません  
頻度、曜日、日付
- III. 助詞 (を、へ、で)
- IV. いつも、たいてい、ときどき

## 3 課 (2) p. 17

- I.       ます (未来)
- II.       ます (一般的事実)  
年・月・季節
- III. 助詞 (に、で、は、が)

## 3 課 (3) p. 21

疑問詞  
何時、何、何曜日  
どんな、どこ  
だれ、いつ

## 4 課 p. 26

- I.       ましょう
- II.       ませんか
- III.       ましょうか

## 5 課 p. 30

- I.       ました (過去)
- II.       ました (完了、経験)

## 6 課 p. 34

- I. (形容詞) です
- II.       く       ないです  
      では ありません
- III.       は どうですか
- IV.       い、      な
- V.       くて、      で
- VI. どんな       ですか
- VII. 形容詞過去形
- VIII.       は どうでしたか

## 7 課 p. 43

- I.       に       が あります
- II.       が あります (予定)
- III.       が います
- IV.       は       に あります/います

## 8 課 p. 47

- I.       てください
- II.       ています (進行中)
- III.       ています (状態)
- IV.       ています (繰り返し)
- V.       そうです

## 9 課 p. 53

- I.       ても いいですか
- II.       ては いけません
- III.       て みます
- IV.       て みてください
- V.       て みていいですか

## 10 課 p. 58

- I. から (理由)
- II. ので
- III. が (逆説)
- IV. それに
- V. それから

## 11課

p. 61

- I.       たいです
- II.       たいと 思っています
- III.       て みたいです
- IV.       が ほしいです

## 12課

p. 65

- I.       と思います (推量)
  - II.       と思います (意見・感想)
  - III.       でしょう
  - IV.       でしょうか
  - V.       だろーと思います
- 《普通体 現在形》

## 13課

p. 72

- I.       より       のほうが       です
- II.       と       と どちらのほうが       ですか
- III.       は       より       です
- IV. いちばん
- V.       は       の       倍です

## 14課

p. 77

- I.       と 言っていました
- 《普通体過去形》
- II.       た ことがあります

## 15課

p. 83

- I.       んです (事情説明)
- II.       んです (詳細)
- III.       んです (感想・印象等)
- IV.       んですが

## 16課

p. 88

- I.       た ほうが いいです
  - ない ほうが いいです
  - II.       ば いいですか
- 《ば形》
- III.       ば いいです
  - IV.       と いいです

## 17課

p. 93

- I. 可能
- II. (い形容詞) <
- (な形容詞) に
- 《可能形》

## 18課

p. 98

- I.       の (名詞化)
- II.       し、      し
- III.       て (引き続いて起こる動作)
- IV.       て (原因・理由)
- V.       て (付帯状況、並列)

## 19課

p. 104

- I.       (よ)うと 思っています
- 《意向形》
- II.       つもりです
  - III.       予定です
  - IV.       かも しれません

## 20課

p. 109

- I.       ながら
- II.       た まま
- III.       間に
- IV.       間
- V.       前に

## 21課

p. 114

- I. 名詞修飾

## 22課

p. 118

- I.       そうだ
- II.       ようだ
- III.       らしい

## 23課

p. 121

- I.       なくてはならない
- II.       なければならない
- III.       なくてもいい

24課 p. 125

- I. 自動詞・他動詞
- II. (自動詞) ている
- III. しておく
- IV. (他動詞) である

25課 p. 131

- I. っていく／てくる
- II. てしまう

26課 p. 137

- I. なくて
- II. ないで
- III. ないてください
- IV. 命令形 (1)
- V. 命令形 (2)

27課 p. 143

- I. と

28課 p. 148

- I. たら

29課 p. 152

- I. (動詞・い形容詞) ば
- II. (名詞・な形容詞) なら

30課 p. 157

- I. (動詞現在形) とき
- II. (動詞過去形) とき
- III. ってから

31課 p. 160

- I. か／かどうか
- II. のか／のかどうか

32課 p. 164

- I. 敬語(1) 尊敬語
- II. 敬語(2) 謙譲語

33課 p. 172

- I. もらう／くれる／あげる
- II. いただく／くださる／さしあげる
- III. てもら／いただく  
てくれる／てくださる  
てあげる／てさしあげる
- IV. てもらえませんか  
ていただけませんか

34課 p. 178

- I. 使役
- II. (使役) てください  
(使役) ていただきたいんですが

35課 p. 183

- I. 受け身
- II. 使役受け身

36課 p. 188

- I. ように
- II. (意志動詞) ために
- III. ようにしている
- IV. ように言う
- V. ように伝えてください  
ように言ってください

37課 p. 193

- I. てくる
- II. ていく
- III. ようになる
- IV. なくなる

38課 p. 197

- I. ても
- II. のに





## 1 課

I. \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ です (題目を示し、それについての情報を名詞で与える)

ちん  
陳です。 くには ちゅうごく  
中国です。

(わたしは) (なまえは) ちん  
陳です。

すまいは うえの  
上野です。

しごとは いしゃです。

しゅみは りょうこうです。

II. \_\_\_\_\_ ですか (質問)

A: おくには ちゅうごく  
中国ですか。

B: はい、そうです。

A: おくには ちゅうごく  
中国ですか。

B: いいえ、かんこく  
韓国です。

A: (あなたは) せんせい  
先生ですか。

B: いいえ、がくせい  
学生です。

A: おすまいは ちば  
千葉ですか。

B: はい、そうです。  
ええ、そうです。

A: おすまいは ちば とうきょう  
千葉ですか、東京ですか。 B: ちば  
千葉です。

III. (疑問詞) ですか

A: おくには どちらですか。

B: ちゅうごく  
中国です。

A: おしごとは なんですか。

B: いしゃです。

A: しゅみは なんですか。

B: りょうこうです。

A: おすまいは どちらですか。

B: うえの  
上野です。

- A: かいしゃは どちらですか。 B: <sup>しんじゅく</sup>新宿です。  
 \*A: かいしゃは どこですか。 B: <sup>しんじゅく</sup>新宿です。(どこ←どちら)

IV. \_\_\_\_\_ は (対比の助詞 直前に言ったことと対比する)

A: ジョンソンさん、おくには どちらですか。  
 B: アメリカです。  
 A: そうですか。わたしは カナダです。

A: <sup>ちん</sup>陳です。すまいは <sup>うえの</sup>上野です。  
 B: そうですか。わたしは <sup>しんじゅく</sup>新宿です。

A: <sup>しゅう</sup>周です。しゅみは ピアノです。  
 B: そうですか。わたしは バイオリンです。

A: リーです。かいしゃは フォードです。  
 B: そうですか。わたしは トヨタです。

V. \_\_\_\_\_ も (直前に言ったことと同じであることを示す)

A: リーさん、しゅみは なんですか。  
 B: おんがくです。  
 A: わたしも おんがくです。

わたしは かいしゃいんです。スミスさんも かいしゃいんです。  
 わたしは 27さいです。 <sup>しゅう</sup>周さんも 27さいです。  
 わたしは <sup>じん</sup>アメリカ人です。リーさんも <sup>じん</sup>アメリカ人です。

VI. \_\_\_\_\_ の (後にくるもの〈名詞〉を前にあるもの〈名詞〉が指定する)

ちん 陳です。 すまいは ちば けん 千葉県の ふなばし 船橋です。

くには ちゅうごく 中国の ぺ きん 北京です。

すまいは かな がわけん 神奈川県の かわさき 川崎です。

スミスさんの くには アメリカです。

わたしの くには かんこく 韓国です。

ジョンソンさんは えいごの せんせい 先生です。

おおかわせんせい 大川先生は にほんごの せんせい 先生です。

スミスさんの かいしゃは コンピューターの かいしゃです。

わたしの かいしゃは ぼうえきの かいしゃです。

トヨタは にほんの かいしゃです。

フォードは アメリカの かいしゃです。

VII. \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ (複数のもの〈名詞〉を並列に結ぶ)

A: リーさん、しゅみは なんですか。

B: おんがくと スポーツです。

わたしの しゅみは りょうこうど からてです。

わたしの かぞくは ちちど ははど あにです。

おおかわせんせい 大川先生は にほんごの えいごの せんせい 先生です。

わたしと ちん 陳さんは ちゅうごくじん 中国人です。

## 練習問題

I. ( ) の中にあてはまることばを入れてください。

どちら なん

例. A: おくには (どちら) ですか。

B: オーストラリアです。

① A: しゅみは ( ) ですか。

B: りょこうです。

② A: せんもんは ( ) ですか。

B: けいざいです。

③ A: おすまいは ( ) ですか。

B: 横浜よこはまです。

④ A: がっこうは ( ) ですか。

B: 東京大学とうきょうだいがくです。

⑤ A: リーさんは ( ) の せんせい先生ですか。

B: えいごです。

II. 「は」か「も」か「と」を入れてください。

例1. A: 陳ちんです。くに (は) 中国ちゅうごくです。私わたしさんは。 B: わたし (は) 韓国かんこくです。

例2. A: 陳ちんです。くに (は) 中国ちゅうごくです。周しゅうさんは。 B: わたし (も) 中国ちゅうごくです。

① A: 周しゅうです。しゅみ ( ) ゴルフです。

B: わたし ( ) ゴルフです。

② A: わたし ( ) アメリカ人じんです。

B: わたし ( ) アメリカ人じんです。

③ A: リーです。すまい ( ) 新宿しんじゅくです。

B: わたし ( ) 船橋ふなばしです。

④ A: 林はやしです。かいしゃは ( ) IBMです。

B: わたし ( ) NECです。

⑤ A: 私わたしさん、せんもん ( ) なんです。

B: えいご ( ) けいざいです。

III. 「はい」か「いいえ」を入れてください。

例1. A: 山田やまださんですか。

B: (はい) 、そうです。

例2. A: 山田やまださんですか。

B: (いいえ) 、田中たなかです。

① A: 大川おおかわ先生せんせいですか。

B: ( ) 、そうです。

- ② A: 学生<sup>がくせい</sup>さんですか。 B: (      )、かいしゃいんです。
- ③ A: おくに<sup>ちゅうごく</sup> 中国<sup>ちゅうごく</sup>ですか。 B: (      )、中国<sup>ちゅうごく</sup>です。
- ④ A: おすまいは<sup>とうきょう</sup> 東京<sup>しんじゅく</sup>ですか。 B: (      )、新宿<sup>しんじゅく</sup>です。
- ⑤ A: おくには<sup>かんこく</sup> 韓国<sup>かんこく</sup>ですか。 B: (      )、ソウルです。

IV. (      ) の 中に あてはまる ことばを 入れてください。

例) トヨタは ( <sup>にほん</sup>日本 ) の かいしゃです。

- ① ロンドンは (      ) の しゅとです。
- ② IBMは (      ) の かいしゃです。
- ③ わたしの くには (      ) の バンコクです。
- ④ 大川<sup>おおかわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>は (      ) の 先生<sup>せんせい</sup>です。
- ⑤ わたしの すまいは (      ) の <sup>ふなばし</sup>船橋<sup>ふなばし</sup>です。

V. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

リーさんは わたしの ともだちです。 おくには シンガポールです。

リーさんは <sup>みつい</sup>三井<sup>しょうじ</sup>商事<sup>しょうじ</sup>の <sup>みつい</sup>しゃいん<sup>しょうじ</sup>です。 <sup>みつい</sup>三井<sup>しょうじ</sup>商事<sup>しょうじ</sup>は <sup>にほん</sup>日本の <sup>みつい</sup>ぼうえき<sup>しょうじ</sup>の <sup>みつい</sup>かいしゃ<sup>しょうじ</sup>です。 おすまいは <sup>ちば</sup>千葉<sup>ふなばし</sup>の <sup>ちば</sup>船橋<sup>ふなばし</sup>です。 アパートでは  
ありません。 かいしゃの りょうです。

リーさんの しゅみは スポーツと どくしょです。 わたしの しゅみ  
も スポーツと どくしょです。

1. リーさんの おしごとは なんですか。
2. リーさんの おすまいは どちらですか。



## 2 課

### I. これ / それ / あれ (指示代名詞)

A: これは いくらですか。

B: (それは) 1200<sup>えん</sup>円です。

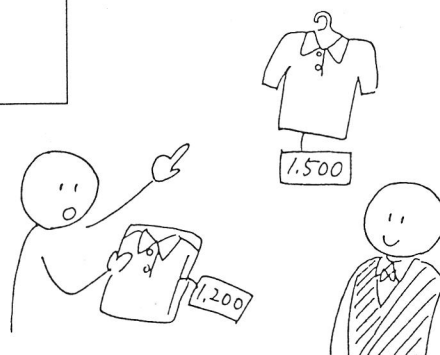
A: あれは いくらですか。

B: (あれは) 1500<sup>えん</sup>円です。

これは 2000<sup>えん</sup>円です。

それは 1200<sup>えん</sup>円です。

あれは 1500<sup>えん</sup>円です。



### II. この / その / あの (名詞につけて指定する)

A: この くつは いくらですか。

B: (その くつは) 5800<sup>えん</sup>円です。

この くつは 7800<sup>えん</sup>円です。

その くつは 5800<sup>えん</sup>円です。

あの くつは 6780<sup>えん</sup>円です。



### III. \_\_\_\_\_ ではありません (否定)

A: あの <sup>ひと</sup>人は <sup>せんせい</sup>先生ですか。

B: いいえ、<sup>せんせい</sup>先生ではありません。<sup>がくせい</sup>学生です。

これは <sup>ほん</sup>本ではありません。ノートです。

これは スミスさんの <sup>ほん</sup>本ではありません。 <sup>しゅう</sup>周さんの <sup>ほん</sup>本です。

この がっこうは えいごの がっこうでは ありません。 にほんごの がっこうです。

\* この がっこうは えいごの がっこうじゃ ありません。(口語)

IV. \_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ まで (始めの時刻、地点; 終わりの時刻、地点)

がっこうは 9時<sup>じ</sup>から 12時半<sup>じはん</sup>までです。 かいしゃは 2時<sup>じ</sup>から 1時<sup>じ</sup>かんぐらいです。

デパートは 10時<sup>じ</sup>から 7時<sup>じ</sup>までです。

ぎんこうは 9時<sup>じ</sup>から 3時<sup>じ</sup>までです。

ひるやすみは 12時<sup>じ</sup>から 1時<sup>じ</sup>までです。

うちから えきまで 10分<sup>ぶん</sup>です。

うえの 上野<sup>うえの</sup>から あきはばら 秋葉原<sup>あきはばら</sup>まで 3分<sup>ぶん</sup>ぐらいです。

なりた 成田<sup>なりた</sup>から バンコク<sup>ばんこく</sup>まで 6時間<sup>じかん</sup>ぐらいです。

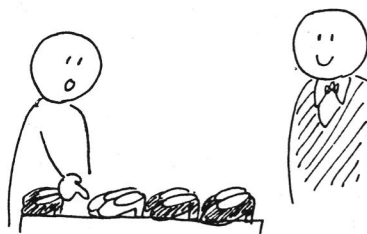
V. (疑問詞) ですか (2)

A: この くつは いくらですか。

B: どの くつですか。

A: この しろい くつです。

B: それは 7800円<sup>えん</sup>です。



A: いま なんじですか。

B: 3時<sup>じ</sup>です。

A: これは いくらですか。

B: 1200円<sup>えん</sup>です。

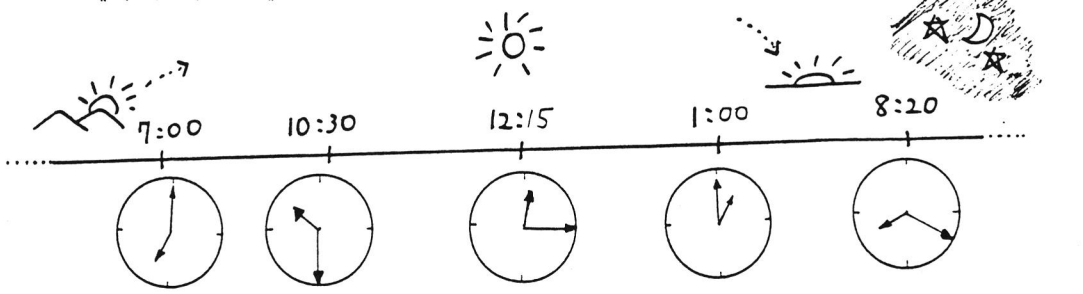
A: 陳<sup>ちん</sup>さんの 本<sup>ほん</sup>は どれですか。

B: これです。

A: お子<sup>こ</sup>さんは いくつですか。

B: 1さいです。

《時刻の言い方》










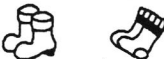
ごぜん<sup>じ</sup>7時      ごぜん<sup>じ はん</sup>10時半      ごご<sup>じ ふん</sup>12時15分      ごご<sup>じ</sup>1時      ごご<sup>じ ぶん</sup>8時20分

《数》

1	いち	11	じゅういち	21	にじゅういち
2	に	12	じゅうに	22	にじゅうに
3	さん	13	じゅうさん	30	さんじゅう
4	し、よん	14	じゅうし、じゅうよん	40	よんじゅう
5	ご	15	じゅうご	50	ごじゅう
6	ろく	16	じゅうろく	60	ろくじゅう
7	しち、なな	17	じゅうしち、じゅうなな	70	ななじゅう
8	はち	18	じゅうはち	80	はちじゅう
9	く、きゅう	19	じゅうく、じゅうきゅう	90	きゅうじゅう
10	じゅう	20	にじゅう	100	ひゃく

100	ひゃく	1,000	せん	10,000	いちまん
200	にひゃく	2,000	にせん	20,000	にまん
300	さんびゃく	3,000	さんぜん	100,000	じゅうまん
400	よんひゃく	4,000	よんせん	1,000,000	ひゃくまん
500	ごひゃく	5,000	ごせん	10,000,000	いっせんまん
600	ろっぴゃく	6,000	ろくせん	20,000,000	にせんまん
700	ななひゃく	7,000	ななせん	100,000,000	いちおく
800	はっぴゃく	8,000	はっせん	5,790	ごせんなひゃくきゅうじゅう
900	きゅうひゃく	9,000	きゅうせん	11,000	いちまんいっせん
				106,000	じゅうまんろくせん

1時	いちじ	1分	いっふん	20分	にじゅうふん
2時	にじ	2分	にふん	30分	さんじゅうふん
3時	さんじ	3分	さんふん	40分	よんじゅうふん
4時	よじ	4分	よんふん	50分	ごじゅうふん
5時	ごじ	5分	ごふん		
6時	ろくじ	6分	ろっふん	15分	じゅうごふん
7時	しちじ	7分	ななふん	25分	にじゅうごふん
8時	はちじ	8分	はっふん	35分	さんじゅうごふん
9時	くじ	9分	きゅうふん	45分	よんじゅうごふん
10時	じゅうじ	10分	じゅうふん	55分	ごじゅうごふん
11時	じゅういちじ	11分	じゅういっふん		
12時	じゅうにじ	12分	じゅうにふん		

<p>ひとつ ふたつ みっつ よっつ いっつ むっつ ななつ やっつ このつ とお</p> <p>いくつ</p>	<p>ひとり ふたり さんにん よにん ごにん ろくにん しちにん はちにん きゅうにん じゅうにん</p> <p>なんにん</p> 	<p>いちまい にまい さんまい よんまい ごまい ろくまい ななまい はちまい きゅうまい じゅうまい</p> <p>なんまい</p> 
<p>いっさい にさい さんさい よんさい ごさい ろくさい ななさい はっさい きゅうさい じゅうさい じゅういっさい はたち にじゅういっさい ごじゅうさい</p> <p>なんさい</p> 	<p>いっさつ にさつ さんさつ よんさつ ごさつ ろくさつ ななさつ はっさつ きゅうさつ じゅうさつ</p> <p>なんさつ</p> 	<p>いっこ にっこ さんこ よんこ ごこ ろっこ ななこ はっこ きゅうこ じゅうこ</p> <p>なんこ</p> 
<p>いっほん にほん さんほん よんほん ごほん ろっほん ななほん はっほん きゅうほん じゅうほん</p> <p>なんほん</p> 	<p>いっばい にばい さんばい よんばい ごばい ろっばい ななばい はっばい きゅうばい じゅうばい</p> <p>なんばい</p> 	<p>いっそく にそく さんぞく よんそく ごそく ろくそく ななそく はっそく きゅうそく じゅうそく</p> <p>なんぞく</p> 

練習問題

I. ( ) の中に あてはまる助詞を 入れてください。

は も の と から まで

例. 周<sup>しゅう</sup>です。 国<sup>くに</sup> ( は ) 中国<sup>ちゅうごく</sup>です。

- ① かいしゃ ( ) 上海貿易<sup>しゃんはいぼうえき</sup>です。 中国<sup>ちゅうごく</sup> ( ) かいしゃです。
- ② わたし ( ) かいしゃ ( ) 8時<sup>じ</sup> ( ) 5時<sup>じ</sup> ( ) です。
- ③ しゅみ ( ) バレーボール ( ) えいがです。
- ④ すまい ( ) 新宿<sup>しんじゅく</sup>です。 陳<sup>ちん</sup>さん ( ) 新宿<sup>しんじゅく</sup>です。
- ⑤ うち ( ) 駅<sup>えき</sup> ( ) 10分<sup>ぶん</sup>ぐらいです。
- ⑥ 東京駅<sup>とうきょうえき</sup> ( ) この 学校<sup>がっこう</sup> ( ) 40分<sup>ぶん</sup>ぐらいです。
- ⑦ かぞく ( ) 父<sup>ちち</sup> ( ) 母<sup>はは</sup> ( ) 妹<sup>いもうと</sup>です。
- ⑧ 父<sup>ちち</sup> ( ) 60さいです。 母<sup>はは</sup> ( ) 60さいです。
- ⑨ 妹<sup>いもうと</sup> ( ) しょうがっこう ( ) きょうしです。

II. (a)か (b)か 選んでください。

- ① これは 日本<sup>にほん</sup>の かいしゃ (a) です。  
(b) では ありません。

- ② あれは 日本<sup>にほん</sup>の ぎんこう (a) です。  
(b) では ありません。

アメリカの ぎんこう (a) です。  
(b) では ありません。

②	
BANK OF AMERICA	
♀ ♀	
トヨタ	①

- ③ A: この 本<sup>ほん</sup>は にほんごの 本<sup>ほん</sup>ですか。

B: いいえ、それは にほんごの 本<sup>ほん</sup> (a) です。  
(b) では ありません。

ちゅうごくごの 本<sup>ほん</sup>の ほん (a) です。  
(b) では ありません。

にほんごの 本<sup>ほん</sup>は これ (a) です。  
(b) では ありません。

Ⅲ. ( ) に あてはまることばを 入れてください。

なん    どちら    なんじ    いくら    なんさい    どのぐらい

例. A: これは (いくら) ですか。    B: 2500<sup>えん</sup>円です。

① A: ゆうびんきょくは ( ) から ( ) までですか。

B: 9<sup>じ</sup>時から 5<sup>じ</sup>時までです。

② A: おたくから がっこうまで ( ) かかりますか。

B: 40<sup>ぶん</sup>分ぐらいです。

③ A: それは ( ) ですか。    B: かんじの <sup>ほん</sup>本です。

④ A: むすめさんは ( ) ですか。    B: 10さいです。

⑤ A: がっこうは ( ) ですか。    B: <sup>うえの</sup>上野です。

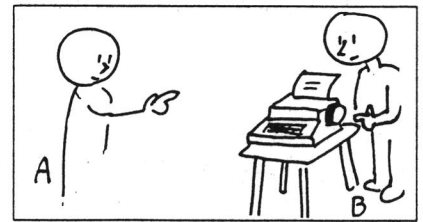
Ⅳ. ( ) の中に あてはまることばを 入れてください。

これ    それ    あれ    どれ    この    その    あの    どの

① A: ( ) タイプライターは

<sup>にほんせい</sup>日本製ですか。

B: いいえ、( ) は <sup>せい</sup>イタリア製です。

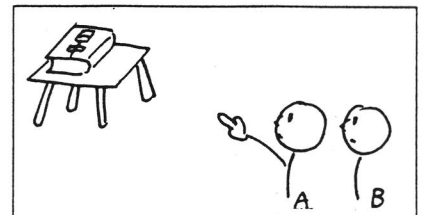


② A: ( ) は じしょですか。

B: あ、そうですね。

A: なんの じしょですか。

B: ( ) は <sup>にっしゅうじてん</sup>日中辞典ですね。

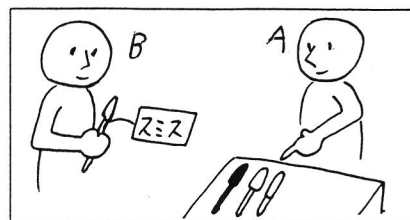


③ A: これは スミスさんの ペンですか。

B: ( ) ですか。

A: ( ) くらい ペンです。

B: いいえ、 スミスさんの ペンは ( ) です。



V. 下の文を 読んで 質問に 答えてください。

ジュリーです。 <sup>くに</sup>国は フランスの パリです。 わたしは  
フランス語の <sup>ご</sup>きょうしです。 かぞくは <sup>しゅじん</sup>主人と <sup>むすめ</sup>娘 ひとりです。  
<sup>むすめ</sup>娘は 5さいです。

<sup>しゅじん</sup>主人は かいしゃいんです。 しごとは コンピューターの ぎしです。

<sup>しゅじん</sup>主人の かいしゃは <sup>しんじゅく</sup>新宿です。 わたしの がっこうも <sup>しんじゅく</sup>新宿です。

わたしの しごとは <sup>あさ</sup>朝 10時から <sup>よる</sup>夜 8時までです。

うちは <sup>いけぶくろ</sup>池袋です。 うちから がっこうまで <sup>やまのてせん</sup>山手線で <sup>ぶん</sup>30分ぐらい  
です。

1. ジュリーさんの ごかぞくは なんにんですか。

2. ご主人の <sup>しゅじん</sup>かいしゃは どちらですか。



### 3 課 ( 1 )

#### I. \_\_\_\_ます (習慣・日常生活)

主人は 毎晩 ウィスキーを のみます。 わたしは ビールを  
のみます。 子どもは お茶を のみます。

わたしは 毎日 りょうりを つくります。

主人は 毎朝 しんぶんを よみます。

むすこは 毎晩 テレビを みます。

周さんは 月曜日から 金曜日まで しごとを します。

#### II. \_\_\_\_ません (否定)

主人は よく おさけを のみます。 わたしは ときどき のみます。  
子どもは のみません。

周さんは あまり おさけを のみません。

スミスさんは おさしみを たべません。

わたしは ぜんぜん 本を よみません。

わたしは 土曜日は しごとを しません。

どうし  
《動詞》

— ます	— ません
かいます	かいません
まちます	まちません
かえます	かえりません
よみます	よみません
あそびます	あそびません
ききます	ききません
およぎます	およぎません
はなします	はなしません
たべます	たべません
みます	みません
おきます	おきません
ねます	ねません
します	しません
きます	きません

ひんど あらわ  
《頻度を表すことば》

まいにち  
毎日

まいしゅう  
毎週

まいつき  
毎月

まいとし  
毎年

まいあさ  
毎朝

まいばん  
毎晩

よく \_\_\_\_\_ ます

あまり \_\_\_\_\_ ません

ときどき \_\_\_\_\_ ます

ぜんぜん \_\_\_\_\_ ません

ようび ひ づけ  
《曜日・日付》

しち がつ 7 月						
にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
	ついでち 1	ふつか 2	みっか 3	よっか 4	いつか 5	むいか 6
なのか 7	ようか 8	ここのか 9	とおか 10	じゅういちにち 11	じゅうににち 12	じゅうさんにち 13
じゅうよっか 14	じゅうごにち 15	じゅうろくにち 16	じゅうしちにち 17	じゅうはちにち 18	じゅうくにち 19	はつか 20
にじゅういちにち 21	にじゅうににち 22	にじゅうさんにち 23	にじゅうよっか 24	にじゅうごにち 25	にじゅうろくにち 26	にじゅうしちにち 27
にじゅうはちにち 28	にじゅうくにち 29	さんじゅうにち 30	さんじゅういちにち 31			

### Ⅲ. 助詞

(1) \_\_\_\_\_ を (動作の対象)

わたしは 毎晩 りょうりを つくります。 それから しんぶんを  
よみます。

コーヒーを	のみます。	テレビを	みます。
にほんりょうりを	たべます。	スポーツを	します。
おんがくを	ききます。	ペンキょうを	します。
ほん 本を	よみます。	りょうりを	つくります。

(2) \_\_\_\_\_ へ (目的地)

わたしは <sup>げつようび</sup>月曜日から <sup>きんようび</sup>金曜日まで <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>がっこう</sup>学校へ いきます。

<sup>かいし。</sup>会社へ いきます。

<sup>がっこう</sup>学校へ きます。

<sup>くに</sup>国へ かえります。

(3) \_\_\_\_\_ で (行為をする場所)

<sup>しんじゅく</sup>新宿の スポーツセンターで テニスを します。

うちで パーティーを します。

<sup>かいし。</sup>会社で <sup>ひる</sup>昼ごはんを たべます。

<sup>ふなばし</sup>船橋で かいものを します。

#### IV. いつも／たいてい／ときどき

わたしは やすみの <sup>ひ</sup>日は いつも かいものに いきます。 たいてい  
<sup>ふなばし</sup>船橋の スーパーへ いきます。 ときどき <sup>ぎんざ</sup>銀座の デパートへ  
いきます。

わたしは いつも <sup>あさ</sup>うちで 朝ごはんを たべます。

わたしは たいてい <sup>がっこう</sup>学校で <sup>ひる</sup>昼ごはんを たべます。

ときどき <sup>あさ</sup>うちで たべます。

<sup>ちん</sup>陳さんは たいてい <sup>うえの</sup>上野の えいかかんで えいがを みます。

ときどき <sup>いけぶくろ</sup>池袋で みます。

### 3 課 ( 2 )

#### I. \_\_\_\_\_ ます (未来)

<sup>た なか</sup> 田中さんは <sup>らいげつ</sup> 来月 アメリカへ いきます。 <sup>く がつ</sup> 9月に アメリカの  
<sup>だいがく</sup> 大学に はいります。 <sup>こんばん</sup> 今晚 わたしの <sup>た なか</sup> うちで <sup>そうべつかい</sup> 田中さんの 送別会を  
します。

<sup>ちん</sup> 陳さんは <sup>らいしゅう</sup> 来週 <sup>くに</sup> 国へ かえります。  
<sup>しゅう</sup> 周さんは <sup>よこはま</sup> あした 横浜へ いきます。  
<sup>こんばん</sup> わたしは 今晚 えいがを みます。

#### II. \_\_\_\_\_ ます (一般的事実)

<sup>たいよう</sup> 太陽は <sup>ひがし</sup> 東から のぼります。

<sup>にほん</sup> 日本では <sup>ちゅうがっこう</sup> 中学校から <sup>えいご</sup> 英語を おしえます。  
<sup>にほん</sup> 日本では <sup>くるま</sup> 車は <sup>ひだり</sup> 左を はしります。



<sup>み らい</sup> <sup>とき</sup> <sup>あらか</sup>  
 《未来の時を表すことば》

きょう	あした	あさって
<sup>こんしゅう</sup> 今週	<sup>らいしゅう</sup> 来週	<sup>らいしゅう</sup> さ来週
<sup>こんげつ</sup> 今月	<sup>らいげつ</sup> 来月	<sup>らいげつ</sup> さ来月
<sup>ことし</sup> 今年	<sup>らいねん</sup> 来年	<sup>らいねん</sup> さ来年

とし つき き せつ  
《年・月・季節》

ねん  
1年

いちがつ にかつ さんがつ しがつ ごがつ ろくがつ しちがつ はちがつ くがつ じゅうがつ じゅういちがつ じゅうにがつ  
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

きせつ  
季節

ふゆ  
冬

はる  
春

なつ  
夏

あき  
秋



Ⅲ. 助詞

(1) \_\_\_\_\_ (に) (日時)

ちん 陳さんと リーさんは こんどの 日曜日 に よこはま 横浜へ いきます。 10  
じ 時に えき 駅で あいます。

わたしは まいあさ 毎朝 7時 に おきます。

た なか 田中さんは こんど 今度の 日曜日 に パーティーを します。

ブラウンさんは らいねん 来年の 9月 に くに 国へ かえります。

ちん 陳さんは 1993年 に この だいがく 大学を そつぎょうします。

やまだ 山田さんは こんばん 今晚 ちん 陳さんの うちへ いきます。

ジョンソンさんは まいにち 毎日 し ごと 仕事を します。

わたしは らいしゅう 来週 に ほんご 日本語の スピーチを します。

スミスさんは らいげつ 来月 フランスへ いきます。

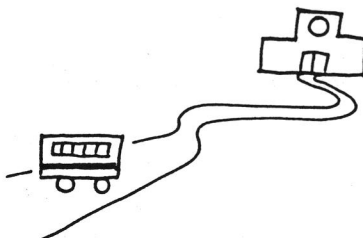
(2) \_\_\_\_\_で (手段)

<sup>まいあさ</sup> 毎朝 <sup>がっこう</sup> バスで 学校へ いきます。

<sup>ちかてつ</sup> 地下鉄で <sup>かいし</sup> 会社へ いきます。

はして たべます。

ペンで <sup>てがみ</sup> 手紙を かきます。



(3) \_\_\_\_\_に (移動の目的)

あしたの <sup>あさ</sup> 朝 <sup>ここ</sup> スーパーへ <sup>しんじゅく</sup> かいものに いきます。 午後 新宿へ  
えいがを みに いきます。

<sup>しぶや</sup> 渋谷へ コンサートを きに いきます。

<sup>あさくさ</sup> 浅草へ おまつりを みに いきます。

<sup>ぎんざ</sup> 銀座へ ちゅうかりょうりを たべに いきます。

<sup>にほん</sup> 日本へ <sup>にほんご</sup> 日本語の べんきょうを しに きます。

ピクニックに いきます。

ドライブに いきます。

<sup>とうきょうけんぶつ</sup> 東京見物に いきます。

(4) \_\_\_\_\_は (取り立て)

すしは たべます。 てんぷらは たべません。

<sup>らいねん</sup> 来年は フランスへ いきます。

<sup>かまくら</sup> 鎌倉は <sup>らいしゅう</sup> 来週 いきます。






テニスは しません。



(5) \_\_\_\_\_ が (動作の主体)

こんばん 主人の 友だちが うちへ きます。 今から じゅんびを  
 します。 りょうりは わたしが します。 そうじは 主人が します。

わたしの ちは まいにち わたしが りょうりを します。  
 わたしの ちは たいてい 父が そうじを します。  
 らいげつ 来月 くに 国のはは 母が に ほん 日本へ きます。  
 げつようび 月曜日と か ようび 火曜日は すずき せんせい 鈴木先生が おしえます。

月	火	水	木	金
 すずき 鈴木	 すずき 鈴木	 た なか 田中	 た なか 田中	 た なか 田中

### 3 課 ( 3 )

#### 《疑問詞》

#### (1) 何時<sup>なんじ</sup>

A: ジョンソンさんは 何時<sup>なんじ</sup>に おきますか。  
B: 7時<sup>じ</sup>に おきます。

A: 陳<sup>ちん</sup>さんは 何時<sup>なんじ</sup>ごろ ねますか。  
B: たいてい 11時<sup>じ</sup>ごろです。

#### (2) 何<sup>なに</sup>

A: リーさん、あしたは 何<sup>なに</sup>を しますか。  
B: テニスを します。

A: 周<sup>しゅう</sup>さん、おさけは 何<sup>なに</sup>が<sup>す</sup> 好きですか。  
B: ビールが<sup>す</sup> 好きです。

#### (3) 何曜日<sup>なんようび</sup>

A: スミスさんは 何曜日<sup>なんようび</sup>に しごとを しますか。  
B: 月曜日<sup>げつようび</sup>と 火曜日<sup>かようび</sup>と 木曜日<sup>もくようび</sup>と 金曜日<sup>きんようび</sup>に します。

#### (4) どんな

A: ホワイトさんは どんな スポーツを しますか。  
B: テニスと スキーを します。

A: キムさんは どんな おんか<sup>おんか</sup>が<sup>す</sup> 好きですか。  
B: ジャズや ポップス<sup>ポップス</sup>が<sup>す</sup> 好きです。

#### (5) どこ

A: キムさんは どこ<sup>どこ</sup>で 昼ごはん<sup>ひる</sup>を たべますか。  
B: 会社<sup>かいしや</sup>の 食堂<sup>しょくどう</sup>で たべます。

- A: <sup>やまだ</sup>山田さん、<sup>なつやす</sup>夏休みは どこへ いきますか。  
 B: ハワイへ いきます。

(6) だれ

- A: <sup>た なか</sup>田中さんの うちは だれが りょうりを しますか。  
 B: ふだんは <sup>はは</sup>母が します。 <sup>しゅうまつ</sup>週末は わたしが します。  
 A: <sup>やまだ</sup>山田さんは だれと テニスを しますか。  
 B: <sup>しゅじん</sup>たいてい 主人と します。

(7) いつ

- A: リーさんは いつ <sup>くに</sup>国へ かえりますか。  
 B: <sup>らいねん</sup>来年の <sup>がつ</sup>3月に かえります。  
 A: <sup>ちん</sup>陳さんの たんじょうびは いつですか。  
 B: <sup>がつ はつか</sup>9月20日です。

練習問題

I. ( ) の中に適当な動詞を入れてください。

例. あした <sup>しんじゅく</sup>新宿へ ( いきます ) 。

- ① <sup>まいばん</sup>毎晩 おんがくを ( ) 。
- ② <sup>じ</sup>9時に <sup>かいしゃ</sup>会社へ ( ) 。
- ③ うちで <sup>とも</sup>友だちと おさけを ( ) 。
- ④ <sup>げつようび</sup>月曜日から <sup>きんようび</sup>金曜日まで しごとを ( ) 。
- ⑤ <sup>じ</sup>6時に うちへ ( ) 。
- ⑥ <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>じ</sup>9時10分前に <sup>おんまえ</sup>この <sup>がっこう</sup>学校へ ( ) 。
- ⑦ <sup>まいあさ</sup>毎朝 しんぶんを ( ) 。
- ⑧ <sup>くに</sup>国の <sup>とも</sup>友だちに <sup>て がみ</sup>手紙を ( ) 。

II. ( )の中に適当なことばを入れてください。

例. 毎朝<sup>まいあさ</sup> (パン)を たべます。

- ① 毎日<sup>まいにち</sup> ( )をつくります。
- ② あした ( )へ いきます。
- ③ ( )で 昼ごはん<sup>ひる</sup>を たべます。
- ④ ときどき ( )を します。
- ⑤ ( )へ かえります。
- ⑥ ( )を かきます。
- ⑦ ( )で 学校<sup>がっこう</sup>へ いきます。
- ⑧ ( )を よみます。

III. ( )の中に助詞を入れてください。不必要な時は×を書いてください。

は	へ	で	を	の	に	が	から	まで
---	---	---	---	---	---	---	----	----

例. 周さん<sup>しゅう</sup>(は) 毎朝<sup>まいあさ</sup>(×) しんぶん(を) よみます。

- ① あした 船橋<sup>ふなばし</sup>( ) かいもの( ) します。
- ② 毎朝<sup>まいあさ</sup>( ) 8時<sup>じ</sup>( ) うち( ) です。
- ③ キムさん( ) 来年<sup>らいねん</sup>( ) 夏<sup>なつ</sup>( ) 国<sup>くに</sup>( ) かえります。
- ④ 陳さん<sup>ちん</sup>( ) 筆<sup>ふで</sup>( ) 手紙<sup>てがみ</sup>( ) かきます。
- ⑤ この デパート( ) 10時<sup>じ</sup>( ) 7時<sup>じ</sup>( ) です。
- ⑥ 来週<sup>らいしゅう</sup>( ) 土曜日<sup>どようび</sup>( ) 箱根<sup>はこね</sup>( ) ドライブ( ) いきます。
- ⑦ 私の<sup>わたくし</sup> うち( ) 母<sup>はは</sup>( ) 家事<sup>かじ</sup>( ) します。
- ⑧ きょう( ) うち( ) 本<sup>ほん</sup>( ) よみます。
- ⑨ あしたの テストは この きょうかしょの 35ページ( ) です。

IV. ( ) の中に適当なことばを入れてください。

なんじ 何時	なに 何	なんようび 何曜日	どんな	どこ	だれ	いつ
-----------	---------	--------------	-----	----	----	----

- ① A: リーさんは ( ) <sup>ほん</sup>本を よみますか。  
B: アメリカの <sup>しょうせつ</sup>小説を よく よみます。
- ② A: この クラスは <sup>すいようび</sup>水曜日は ( ) が おしえますか。  
B: <sup>もりせんせい</sup>森先生です。
- ③ A: きょうの <sup>よる</sup>夜は ( ) を しますか。  
B: うちで テレビを みます。
- ④ A: <sup>つぎ</sup>次の <sup>がっき</sup>学期は ( ) はじまりますか。  
B: <sup>がつ</sup>10月です。
- ⑤ A: <sup>ごご</sup>午後の クラスは ( ) に おわりますか。  
B: <sup>じ</sup>5時ごろ おわります。
- ⑥ A: <sup>しゅう</sup>周さんは ( ) で かいものを しますか。  
B: たいてい <sup>ふなばし</sup>船橋の スーパーで します。
- ⑦ A: スミスさんの しごとは ( ) が <sup>やす</sup>休みですか。  
B: <sup>ど</sup>土曜日と <sup>にちようび</sup>日曜日です。

V. <sup>やす</sup>休みの日は <sup>ひ</sup>どんな <sup>こと</sup>事を しますか。 <sup>ぶん</sup>文を 3つ <sup>つく</sup>作ってください。

例. <sup>やす</sup>休みの <sup>ひ</sup>日は ときどき うちで ビデオを みます。

①

②

③

VI. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

うちは <sup>よ にん かぞく</sup> 4人家族です。 <sup>か ない</sup> 家内と <sup>むすこ</sup> わたしと <sup>息子</sup> ふたりです。 <sup>まいとし</sup> 毎年  
<sup>がつ</sup> 8月に <sup>か ぞく</sup> 家族みんなで <sup>い ず</sup> 伊豆へ あそびに いきます。 <sup>い ず</sup> 伊豆の わたしの  
<sup>はは</sup> 母の うちに とまります。

<sup>まいにち</sup> 毎日 <sup>あさ</sup> 朝から <sup>ゆうがた</sup> 夕方まで およぎます。 <sup>ひる</sup> 昼は <sup>かいがん</sup> 海岸で バーベキューを  
たべます。 ふだんは <sup>か ない</sup> 家内が りょうりを しますが、バーベキューは  
わたしが つくります。

<sup>ことし</sup> 今年も <sup>らいしゅう</sup> 来週の <sup>ど ようび</sup> 土曜日から いきます。 <sup>たの</sup> 楽しみです。

1. <sup>まいとし</sup> 毎年 <sup>なつ</sup> 夏は <sup>なに</sup> 何を しますか。

2. この <sup>ひと</sup> 人の うちには だれが りょうりを しますか。

## 4 課

### 1. \_\_\_\_\_ ましょう (促す)

A: 2時<sup>じ</sup>ですね。 会議<sup>かいぎ</sup>を 始め<sup>はじ</sup>ましょう。

B: ええ、始め<sup>はじ</sup>ましょう。

ディズニーランドへ 行<sup>い</sup>きましょう。

昼<sup>ひる</sup>ごはんを 食<sup>た</sup>べましょう。

テニスを しましょう。

駅<sup>えき</sup>まで 走<sup>はし</sup>りましょう。

— ます	— ましょう
行 <sup>い</sup> きます	行 <sup>い</sup> きま <u>しょう</u>
買 <sup>か</sup> います	買 <sup>か</sup> いま <u>しょう</u>
読 <sup>よ</sup> みます	読 <sup>よ</sup> いま <u>しょう</u>
書 <sup>か</sup> きます	書 <sup>か</sup> きま <u>しょう</u>
話 <sup>はな</sup> します	話 <sup>はな</sup> しま <u>しょう</u>
呼 <sup>よ</sup> びます	呼 <sup>よ</sup> びま <u>しょう</u>
食 <sup>た</sup> べます	食 <sup>た</sup> べま <u>しょう</u>
見 <sup>み</sup> ます	見 <sup>み</sup> ま <u>しょう</u>
入 <sup>い</sup> れます	入 <sup>い</sup> れま <u>しょう</u>
始 <sup>はじ</sup> めます	始 <sup>はじ</sup> ま <u>しょう</u>
しま <u>す</u>	しま <u>しょう</u>
来 <sup>き</sup> ます	来 <sup>き</sup> ま <u>しょう</u>

II. \_\_\_\_\_ ませんか (誘う)

A: あした デパートの バーゲンセールに いきませんか。

B: あしたは ちょっと しごと があります。

A: そうですか。

こんどの なつ いっしょに りょこう を し ませんか。

ちょっと やす ここで やす 休みませんか。

いっしょに い パーティーに い 行きませんか。

ちょっと コーヒーを の 飲み い に い 行きませんか。

III. \_\_\_\_\_ でしょうか (相談)

A: しんねんかい 新年会は いつ し でしょうか。

B: 12日の にち ど 土曜日は どうですか。

A: そうですね。 そう し ましょう。

いつ りょこう 旅行に い 行きましょうか。

どこで テニスを し しましょうか。

ひる 昼ごはんは なに 何を た 食べましょうか。

あした なんじ 何時に あ 会いましょうか。

練習問題

I. 「-ましょう」の形に変えてください。

① こんばん 今晚 いっしょに ゆうしょく 夕食を た 食べます→

② もうすぐ でんしゃ 電車が き 来ます。 すこし いそ 急ぎます→

③ きょう の 飲み い に 行きます→

④ あした 10時に じ あ 会います→



⑤ こんどの 火曜日<sup>か ようび</sup>に もう1度<sup>いちど</sup> ここへ 来<sup>き</sup>ます→

II. 「一ませんか」の形に変えてください。

① 今度<sup>こんど</sup> うちへ あそびに 来<sup>き</sup>ます→

② 来週<sup>らいしゅう</sup> ジャズの コンサートを 聞<sup>き</sup>きに 行<sup>い</sup>きます→

③ 今度<sup>こんど</sup>の 週末<sup>しゅうまつ</sup> いっしょに 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>します→

④ これ、おいしいですよ。キムさんも 飲<sup>の</sup>みます→

⑤ いい 天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>ですね。公<sup>こう</sup>園<sup>えん</sup>で 昼<sup>ひる</sup>ごはんを 食<sup>た</sup>べます→

III. 下線の部分を「一ましょう」、「一ませんか」、「一ましょうか」のどれかに 変えて下さい。

A: あした 渋谷<sup>しよや</sup>へ 買<sup>かい</sup>物<sup>もの</sup>に 行<sup>い</sup>きます→

B: いいですね。 行<sup>い</sup>きます→

A: 何時<sup>なんじ</sup>に 会<sup>あ</sup>います→

B: 10時<sup>じ</sup>は どうですか。

A: ええ、じゃあ 10時<sup>じ</sup>に 駅<sup>えき</sup>で 会<sup>あ</sup>います→

IV. 友<sup>とも</sup>だちを どこかへ 誘<sup>さそ</sup>ってください。

例. 休<sup>やす</sup>み時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>に コーヒーを 飲<sup>の</sup>みに 行<sup>い</sup>きませんか。

①

②

③

V. 下の文を読んで 質問に答えてください。

〈スミスさんの 手紙〉

恵子さん、来週の 土曜日に うちへ 遊びに 来ませんか。 国の  
料理を いろいろ 作ります。 周さんや キムさんも 来ますから、  
みんなで いろいろ 話しましょう。

うちは 市川ですから、JRの 市川駅で 待ち合わせましょう。 駅  
前の スーパーで 果物や お酒を 買います。 それから うちへ 行きま  
しょう。

待ち合わせの 時間は 何時に しましょうか。 11時ごろは どう  
ですか。 あさっての 夜、電話をします。 その時に 時間を 決めま  
しょう。

1993年 4月15日

マリア・スミス

1. 来週の 土曜日に 何を しますか。

## 5 課

### 1. \_\_\_\_\_ました (過去の事実を伝える)

きのう <sup>た なか</sup> 田中さんと <sup>ぎんざ</sup> 銀座で <sup>あ</sup> 会いました。 <sup>きっさ てん</sup> 喫茶店で <sup>じ かん</sup> 2時間ぐらい  
はな  
話しました。

わたしは <sup>きのう</sup> 新宿へ <sup>い</sup> 行きました。  
<sup>ちん</sup> 陳さんは <sup>きょねん</sup> 去年 <sup>に ほん</sup> 日本へ <sup>き</sup> 来ました。  
わたしは <sup>けさ</sup> 国の <sup>りょうしん</sup> 両親に <sup>て がみ</sup> 手紙を <sup>だ</sup> 出しました。  
スミスさんは <sup>ねんまえ</sup> 3年前に <sup>いま</sup> 今の <sup>アパート</sup> アパートに <sup>ひっこ</sup> 引っ越しました。  
イエス・キリストは <sup>じゅうにがつにじゅうよっか</sup> 12月24日の <sup>よる</sup> 夜 <sup>う</sup> 生まれました。

— ます	— ました	— ませんでした
<sup>い</sup> 行きます	<sup>い</sup> 行きました	<sup>い</sup> 行きませんでした
<sup>よ</sup> 読みます	<sup>よ</sup> 読みました	<sup>よ</sup> 読みませんでした
<sup>か</sup> 書きます	<sup>か</sup> 書きました	<sup>か</sup> 書きませんでした
<sup>み</sup> 見ます	<sup>み</sup> 見ました	<sup>み</sup> 見ませんでした
<sup>た</sup> 食べます	<sup>た</sup> 食べました	<sup>た</sup> 食べませんでした
<sup>う</sup> 生まれます	<sup>う</sup> 生まれました	<sup>う</sup> 生まれませんでした
します	しました	しませんでした
<sup>き</sup> 来ます	<sup>き</sup> 来ました	<sup>き</sup> 来ませんでした

II. \_\_\_\_\_ ました (現時点での完了や経験の有無を伝える)

いま ろくじ 今、6時です。 わたしの しごと 仕事は もう ぜんぶ 全部 終わりました。 周  
さんの しごと 仕事は あと じ かん 1時間ぐらい かかります。 しゅう 周さんは ざんぎょう 残業を  
します。

(1) 完了

わたしは もう ひらがなを ぜんぶ 全部 覚えました。

わたしは もう あさ 朝ごはんを た 食べました。

わたしは もう きょうの しんぶん 新聞を よ 読みました。

(2) 経験

わたしは もう きょうと 京都へ い 行きました。

わたしは もう かぶきを み 見ました。

練習問題

I. 下線の部分を 正しい形に 変えて下さい。そのままではいいものには  
○を書いてください

例1. きょう テレビを 見ます。→ 見ました。

例2. 毎日 うちで テレビを 見ます。→ ○

① 去年の 4月に 日本へ 来ます。→

② 来年 北海道へ スキーを しに 行きます。→

③ この 本は もう 最後まで 読みます。→

④ 日曜日の 朝 は いつも 公園で ジョギングを します。→

⑤ わたしは 子どもの 時 よく 川で 遊びます。→

⑥ ひらがなは もう ぜんぶ 覚えます。→

⑦ きょう 新聞を 読みません。→

⑧ わたしは 高校の 時 あまり 勉強しません。→

II. この前の 週末は 何を しましたか。 文を 3つ 作ってください。

例. 土曜日は 新宿へ 書道展を 見に 行きました。

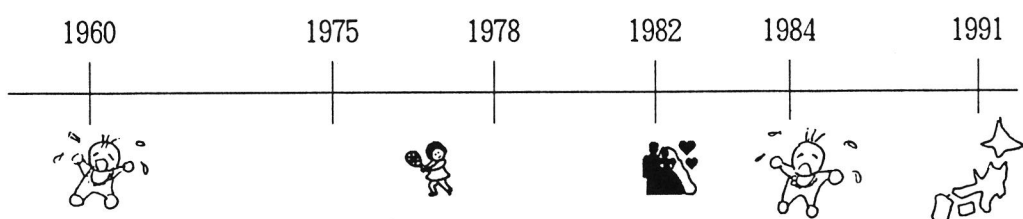
①

②

③

III. リーさんの 経歴を参考にして、あなたの 経歴を書いてください。

[リーさんの 経歴]



1960年に 香港で 生まれました。子どもの 時は よく 妹と 遊びました。

1975年に 高校に 入りました。高校で 毎日 テニスを しました。

1978年に 高校を 出ました。コンピューターの 会社に入りました。

1982年に 結婚しました。

1984年の 秋に 女の子が 生まれました。

1991年に 主人の 仕事で 日本へ 来ました。日本語の 勉強を 始めました。

[わたしの 経歴]

IV. 下の文を読んで、質問に答えてください。

わたし ことし がつ に ほん き 私 は 今年 の 3 月 に 日本 へ 来 ました。 4 月 から この 学校 で  
に ほんご べんきょう はじ に ほんご べんきょう はじ 日本語 の 勉強 を 始め ました。 もう ひらがな と カタカナ は おぼ  
ました。 でも、かんじ 漢字 は まだ 10 ぐら い です。  
に ほん せいかつ すこ な に ほんじん ともだち 日本 の 生活 に 少し 慣 れ ました。 もう 日本人 の 友達 も でき  
ました。 まいあさ 毎朝 な っとう も た 食 べ ます。 ことし なつ ともだち おきなわ 今年 の 夏 は 友達 と 沖縄  
へ い たの 行 き ます。 楽 し み です。

1. いつ に ほんご べんきょう はじ 日本語 の 勉強 を 始め ましたか。
2. もう に ほん せいかつ すこ な 日本 の 生活 に 慣 れ ましたか。

## 6 課

### I. (形容詞) です (印象・感想を言う)

せんげつ みっか とうきょう き とうきょう おお  
先月の 3日に はじめて 東京に 来ました。 東京は 大きいです。  
ひと くるま おお こうつう べんり みどり すく  
人と 車が 多いです。 交通が 便利です。 でも 緑が 少ないです。

#### (1) \_\_\_\_\_ は (形容詞) です

とうきょう おお  
東京は 大きいです。  
がっこう たの  
学校は 楽しいです。

やまだ せんせい しんせつ  
山田先生は 親切です。  
いま しごと たいへん  
今の 仕事は たいへんです。

#### (2) \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ が (形容詞) です

とうきょう ひと おお  
東京は 人が 多いです。  
わたしの しごと やす すく  
わたしの 仕事は 休みが 少ないです。

とうきょう こうつう べんり  
東京は 交通が 便利です。  
がっこう せんせい しんせつ  
この学校は 先生が 親切です。

### II. \_\_\_\_\_ くないです / \_\_\_\_\_ では ありません (否定)

わたしの いなかは ほっかいどう きた まち なつ あつ  
わたしの いなかは 北海道の 北の 町です。 夏は あまり 暑く  
ないです。 でも こうつう べんり では ありません。 でんしゅ じ かん  
1本です。 電車は 1時間に

(1) (い形容詞) く ないです

いま しごと  
今の 仕事は あまり いそがしく ないです。

この ほん  
この 本は ぜんぜん おもしろく ないです。

あの みせ  
あの 店は サービスが よく ないです。(いい → よくない)

\* いま しごと  
\* 今の 仕事は あまり いそがしく ありません。

(「-く ないです」=「-く ありません」の形も あります)

(2) (な形容詞) では ありません

わたしは べんきょう す  
勉強が 好きでは ありません。

アパートの おおや しんせつ  
大家さんは あまり 親切では ありません。

とうきょう こうき  
東京は 空気が きれいで は ありません。

\* とうきょう こうき  
\* 東京は 空気が きれいじゃ ありません。(口語)

《形容詞 現在形》

い 形 容 詞	おお 大きい	おお 大きいです	おお 大きく ないです
	ちい 小さい	ちい 小さいです	ちい 小さく ないです
	たの 楽しい	たの 楽しいです	たの 楽しく ないです
	おもしろい	おもしろいです	おもしろく ないです
	* いい	いいです	よく ないです
な 形 容 詞	べんり 便利	べんり 便利です	べんり 便利では ありません
	たいへん	たいへんです	たいへんでは ありません
	しず 静か	しず 静かです	しず 静かでは ありません
	きれい す 好き	きれいです す 好きです	きれいで は ありません す 好きでは ありません



III. \_\_\_\_\_ は とうですか (印象・感想をきく)

A: 東京の <sup>とうきょう</sup>生活は <sup>せいかつ</sup> どうですか。

B: そうですねえ。 とても おもしろいですよ。 でも <sup>ぶつ</sup>物価が <sup>たか</sup>高いですね。

A: 今の <sup>いま</sup>仕事は <sup>しごと</sup> どうですか。 B: <sup>やす</sup>休みが <sup>すく</sup>少ないです。

A: 日本語の <sup>にほんご</sup>勉強は <sup>べんきょう</sup> どうですか。 B: <sup>すこ</sup>少し <sup>むずかしい</sup>むずかしいですね。

A: 今度の <sup>こんど</sup>先生は <sup>せんせい</sup> どうですか。 B: とても <sup>きびしい</sup>きびしいですよ。

IV. \_\_\_\_\_ い / \_\_\_\_\_ な (物、事、所等を形容詞で説明する)

アメリカの シアトルは <sup>おお</sup>大きい <sup>まち</sup>町です。 <sup>きれい</sup>きれいな <sup>こうえん</sup>公園が  
たくさん あります。

(1) \_\_\_\_\_ い \_\_\_\_\_ (い形容詞 + 名詞)

TIJは <sup>ちい</sup>小さい <sup>がっこう</sup>学校です。

<sup>やまだ</sup>山田さんは <sup>やさしい</sup>やさしい <sup>ひと</sup>人です。

<sup>かまくら</sup>鎌倉は <sup>ふる</sup>古い <sup>まち</sup>町です。

(2) \_\_\_\_\_ な \_\_\_\_\_ (な形容詞 + 名詞)

<sup>しんじゅく</sup>新宿は <sup>にぎやかな</sup>にぎやかな <sup>まち</sup>町です。

<sup>たなか</sup>田中さんは <sup>しんせつ</sup>親切な <sup>ひと</sup>人です。

<sup>きょうと</sup>京都は <sup>しず</sup>静かな <sup>まち</sup>町です。

V. \_\_\_\_\_くて / \_\_\_\_\_で (特長や欠点等を並列的に説明する)

わたしは アメリカの シアトルで 生まれました。 シアトルは  
 大きい 町です。 でも 静かで きれいな 所です。 町の 図書館は  
 とても 古くて 大きいです。

(1) \_\_\_\_\_くて (い形容詞 + 形容詞)

田中さんは 明るくて 親切な 人です。  
 サン・ホテルは 新しくて きれいです。  
 この 辞書は 使いやすくて いいです。

(2) \_\_\_\_\_で (な形容詞 + 形容詞)

山下先生は きれいで やさしい 先生です。  
 京都は 静かで いい 町です。  
 横浜は 交通が 便利で 住みやすいです。

VI. どんな \_\_\_\_\_ですか (説明を求める)

A: リーさんの ふるさとは バンコクですよ。 どんな 町ですか。  
 B: にぎやかな 町です。 夏は 雨が 多いですよ。

A: うさぎは どんな 動物ですか。 B: 耳が 長い 動物です。  
 A: 箱根は どんな 所ですか。 B: 温泉で 有名な 町です。

VII. \_\_\_\_\_ かったです / \_\_\_\_\_ でした (過去 肯定形)

\_\_\_\_\_ く なかったです / \_\_\_\_\_ では ありませんでした (過去 否定形)

せんしゅう にちようび かまくら い うみ  
先週の 日曜日に 鎌倉へ 行きました。 海が きれいでした。  
すこ なみ たか てら かんこうきゃく おお しず  
少し 波が 高かったです。 お寺は 観光客が 多くて 静かでは  
ありませんでした。

(1) (い形容詞) かったです

きょねん なつ あめ おお  
去年の 夏は 雨が 多かったです。  
けさの ちょうしよく とても おいしかったです。  
きのうの えいが とても こわかったです。

(2) (い形容詞) く なかったです

きのうの パーティーは あまり たのしく なかったです。  
この まえ テストは むずかしく なかったです。

(3) (な形容詞) でした

きのうの しごと ほんとう  
きのうの 仕事は 本当に たいへんでした。  
ねん まえ かわ  
10年くらい前は この 川は きれいでした。

(4) (な形容詞) では ありませんでした

かまくら てら しず  
鎌倉の お寺は 静かでは ありませんでした。  
こ とき や さい す  
子どもの 時 わたしは 野菜が 好きでは ありませんでした。  
こ とき や さい す  
\*子どもの 時 わたしは 野菜が 好きじゃ ありませんでした。 (口語)

《形容詞 過去形》

		形容詞 過去形	
い 形容 詞	<sup>おお</sup> 大きい	<sup>おお</sup> 大きかったです	<sup>おお</sup> 大きく なかったです
	<sup>ちい</sup> 小さい	<sup>ちい</sup> 小さかったです	<sup>ちい</sup> 小さく なかったです
	<sup>たの</sup> 楽しい	<sup>たの</sup> 楽しかったです	<sup>たの</sup> 楽しく なかったです
	おもしろい	おもしろかったです	おもしろく なかったです
	* いい	よかったです	よく なかったです
な 形容 詞	たいへん	たいへんでした	たいへんでは ありませんでした
	<sup>べんり</sup> 便利	<sup>べんり</sup> 便利でした	<sup>べんり</sup> 便利では ありませんでした
	<sup>しず</sup> 静か	<sup>しず</sup> 静かでした	<sup>しず</sup> 静かでは ありませんでした
	きれい	きれいでした	きれいでは ありませんでした
	<sup>す</sup> 好き	<sup>す</sup> 好きでした	<sup>す</sup> 好きでは ありませんでした

VIII. \_\_\_\_\_ は どうでしたか (過去のできごとの印象・感想をきく)

A: <sup>せんしゅう</sup>先週の <sup>りょこう</sup>旅行は どうでしたか。

B: とても おもしろかったですよ。 <sup>てんき</sup>天気も よかったです。

A: きょうの テストは どうでしたか。 B: すこし むずかしかったです

A: <sup>せんしゅう</sup>先週の パーティーは どうでしたか。 B: とても たのしかったです。

練習問題

I. 例のように 形を 変えてください。

例. <sup>おお</sup>大きいです → <sup>おお</sup>大きくないです / <sup>おお</sup>大きかったです / <sup>おお</sup>大きく なかったです

① おもしろいです→

② きれいです→

③ いいです→

④ <sup>べんり</sup> 便利です→

⑤ <sup>しず</sup> 静かです→

⑥ あついです→

⑦ たのしいです→

## II. 形容詞を 使って 文を 作ってください。

例. <sup>に ほんご</sup> 日本語の <sup>べんきょう</sup> 勉強→ <sup>に ほんご</sup> 日本語の <sup>べんきょう</sup> 勉強は おもしろいです。

① この <sup>がっこう</sup> 学校→

② <sup>とうきょう</sup> 東京→

③ <sup>に ほんじん</sup> 日本人→

④ この <sup>きょうかしょ</sup> 教科書→

⑤ <sup>いま</sup> 今の アパート→

## III. 二つの文を一つにしてください。

① <sup>た なか</sup> 田中さんは やさしいです。きれいです。→

② <sup>とうきょう</sup> 東京の <sup>や ちん たか</sup> アパートは せまいです。家賃が 高いです。→

③ <sup>に ほんりょうり</sup> 日本料理は おいしいです。 <sup>いろ</sup> 色が きれいです。→

④ <sup>しんじゅく</sup> 新宿は にぎやかです。おもしろいです。→

⑤ この <sup>ほん</sup> 本は <sup>じ</sup> 字が <sup>ちい</sup> 小さいです。 <sup>よ</sup> 読みにくいです。→

## IV. 正しい形にしてください。

① この <sup>ほん</sup> 本は あまり (おもしろい→ )。

② 東京は <sup>とうきょう</sup> 物価が <sup>ぶつか</sup> (高い→ )。

- ③ きのうの <sup>ゆうしょく</sup> 夕食は とても (おいしい→ )。
- ④ <sup>せんしゅう</sup> 先週の テストは (やさしい→ )。
- ⑤ <sup>いま</sup> 今の <sup>おおや</sup> 大家さんは あまり (<sup>しんせつ</sup> 親切→ )。
- ⑥ この <sup>さけ</sup> お酒は とても (つよい→ )。
- ⑦ きのうの <sup>や きゅう</sup> 野球の <sup>し あい</sup> 試合は ぜんぜん (おもしろい→ )。
- ⑧ <sup>せんげつ</sup> 先月 <sup>おおさか</sup> 大阪へ 行きました。 <sup>おおさか</sup> 大阪の <sup>まち</sup> 町は (にぎやか→ )
- でも タクシーの <sup>うんでんしゅ</sup> 運転手は あまり (<sup>しんせつ</sup> 親切→ )。

V. 形容詞を 使って 文を 作ってください。

例. <sup>きょうと</sup> 京都 は <sup>しず</sup> 静かで きれいな ところです。

- ① \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ ところです。
- ② \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ <sup>ひと</sup> 人です。
- ③ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ <sup>た もの</sup> 食べ物です。
- ④ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ <sup>どうぶつ</sup> 動物です。
- ⑤ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ <sup>がっこう</sup> 学校です。

VI. <sup>にほんご</sup> 日本語の <sup>べんきょう</sup> 勉強は どうですか。 文を 3つ 作ってください。

- ①
- ②
- ③

VII. <sup>にほん</sup> 日本で (<sup>くに</sup> 国で) <sup>りょこう</sup> 旅行を しましたか。 どこへ <sup>い</sup> 行きましたか。

どうでしたか。

\_\_\_\_\_ へ <sup>い</sup> 行きました。 \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_。

VIII. 下の文を読んで 質問に答えてください。

4月に <sup>かつ</sup>大阪へ <sup>い</sup>行きました。大阪は <sup>おおさか</sup>関西で <sup>かんさい</sup>いちばん <sup>おお</sup>大きい  
町です。大阪城と <sup>おおさかじょう</sup>黒門市場へ <sup>くろもんいちば</sup>行きました。市場は <sup>いちば</sup>店が <sup>みせ</sup>多くて  
とても <sup>よどがわ</sup>にぎやかでした。淀川で <sup>ゆうらんせん</sup>遊覧船に <sup>の</sup>乗りました。大阪の  
川は <sup>かわ</sup>あまり <sup>かわ</sup>きれいでは <sup>なか</sup>ありませんでした。でも、川の <sup>なか</sup>中の  
公園の <sup>こうえん</sup>桜が <sup>さくら</sup>きれいでした。旅行は <sup>りょこう</sup>とても <sup>たの</sup>楽しかったです。

1. 大阪で <sup>なに</sup>何を <sup>おおさか</sup>しましたか。

2. 旅行は <sup>どうでしたか。</sup>どうでしたか。

## 7 課

### I. \_\_\_\_\_ に \_\_\_\_\_ が あります (物の存在)

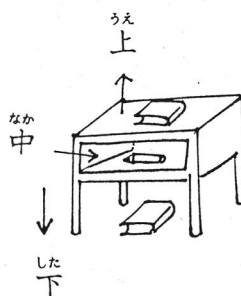
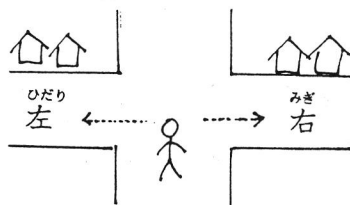
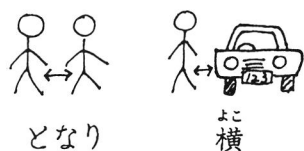
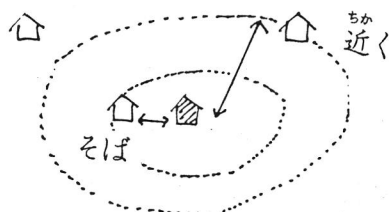
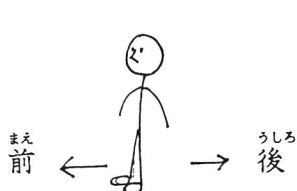
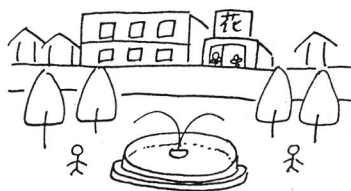
せんしゅう こいわ 先週 小岩の アパートに ひっこしました。 ちい 小さくて ふる 古い  
 アパートです。 アパートの まえ 前に きれいな こうえん 公園が あります。  
 でも ちか 近くに あまり みせ 店が ありませんから ちょっと 不便です。

アパートの まえ 前に こうえん 公園が あります。

アパートの となりに はなや 花屋が あります。

アパートの ちか 近くに ちゅうしよじょう 駐車場が ありません。

さいふの なか 中に お金が ありません。



### II. \_\_\_\_\_ が あります (予定)

A: こんど 今度の にちようび 日曜日、いっしょに テニスを しませんか。

B: すみません。 にちようび 日曜日は ちょっと ようじ 用事が あります。

A: そうですか。 ざんねん 残念ですね。

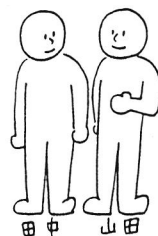


こんどの <sup>にちようび</sup> 日曜日は <sup>ようじ</sup> 用事が あります。  
 こんしゅう <sup>ど</sup> 今週の <sup>ようび</sup> 土曜日は <sup>しごと</sup> 仕事が あります。  
 きょうは <sup>ともだち</sup> 友達と <sup>やくそく</sup> 約束が あります。

Ⅲ. \_\_\_\_\_ が います (人や動物の存在)

わたしの <sup>かぞく</sup> 家族は <sup>にん</sup> 5人です。 <sup>りょうしん</sup> 両親と <sup>あに</sup> 兄が <sup>ふたり</sup> 2人と わたしです。  
 それから <sup>いぬ</sup> 犬が <sup>びき</sup> 1匹 います。

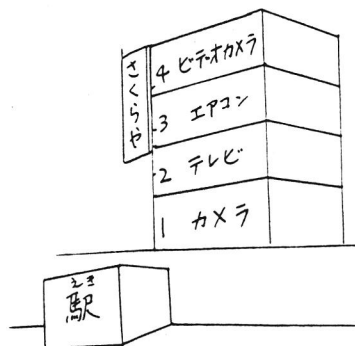
うちの <sup>にわ</sup> 庭に <sup>いぬ</sup> 犬が います。  
 田中さんの <sup>たなか</sup> となりに <sup>やまだ</sup> 山田さんが います。  
 アパートの <sup>かい</sup> 1階に <sup>おおや</sup> 大家さんが います。



Ⅳ. \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ に あります / います (存在する場所を言う)

きょう ビデオカメラを <sup>か</sup> 買いに <sup>や</sup> さくら屋へ 行きました。  
 さくら屋は <sup>や</sup> 新宿駅の <sup>しんじゅくえき</sup> 西口の <sup>にしぐち</sup> すぐ <sup>まえ</sup> 前に ありました。ビデオカメラ  
 は <sup>かい</sup> 4階に ありました。ソニーの ビデオカメラを <sup>か</sup> 買いました。

さくら屋は <sup>しんじゅく</sup> 新宿に あります。  
 ビデオカメラは <sup>かい</sup> 4階に あります。  
 電話は <sup>でんわ</sup> 入口の <sup>いりぐち</sup> そばに あります。  
 T I J は <sup>しん こいわ</sup> 新小岩に あります。  
 図書室は <sup>と しよしつ</sup> 3階に あります。  
 山田先生は <sup>やまだ せんせい</sup> 今、 <sup>いま</sup> 2階に います。



A: T I Jは どこに ありますか。

B: <sup>しん こいわ</sup>新小岩です。

A: <sup>やまだ せんせい</sup>山田先生は どこに いますか。

B: <sup>かい</sup>2階に います。

### 練習問題

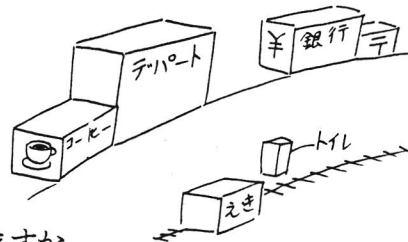
I. 駅の <sup>えき</sup>近くに <sup>ちか</sup>何が <sup>なに</sup>ありますか。

① 駅の <sup>えき</sup>\_\_\_\_\_に デパートが \_\_\_\_\_。

② デパートの \_\_\_\_\_に きっさてんが あります。

③ デパートの <sup>みぎ</sup>右に \_\_\_\_\_が \_\_\_\_\_。

④ 駅の <sup>えき</sup>\_\_\_\_\_に トイレが \_\_\_\_\_。



II. どこに ありますか。 どこに いますか。

① かさは \_\_\_\_\_。

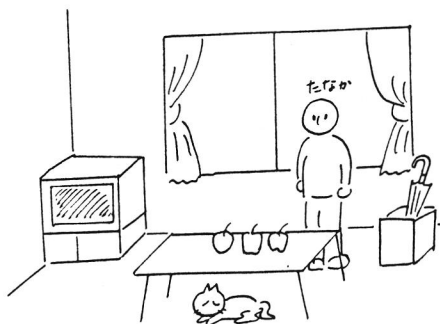
② りんごは \_\_\_\_\_。

③ テレビは \_\_\_\_\_。

④ ねこは \_\_\_\_\_。

⑤ <sup>いぬ</sup>犬は \_\_\_\_\_。

⑥ <sup>た なか</sup>田中さんは \_\_\_\_\_。



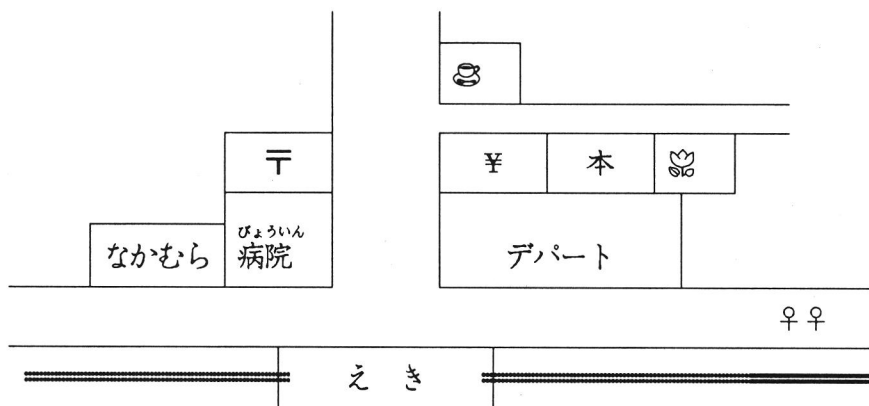
Ⅲ. 絵を見て 文を 完成させてください。

① A: 近くに 本屋が ありますか。

B: ええ、ありますよ。 えきの ( ) に デパートが  
ありますね。 本屋は あの ( ) の ( ) です。

② A: 中村さんの 家は どこですか。

B: ( ) の ( ) に 病院が ありますね。  
あの ( ) の ( ) です。



Ⅳ. 下の文を 読んで 質問に 答えてください。

わたし がっこう しんこ いわえき ちか かいだ  
私の 学校は 新小岩駅の 近くに あります。 4階建ての  
ビルの かい かい がっこう きょうしつ かい かい  
1階から 3階までが 学校です。 教室は 2階と 3階  
です。 と しよしつ かい かい て まえ うけつけ  
図書室は 3階の 303です。 1階の 手前に 受付が  
あります。 せんせい おく へ や  
先生は 奥の 部屋に います。

まいにち じ じ はん じゅぎょう ぶんぽう  
毎日 9時から 12時半まで 授業が あります。 文法の  
じゅぎょう すこ むずか かいわ じゅぎょう  
授業は 少し 難しいですが、 会話の 授業は おもしろいです。

1. 学校の 1階、2階、3階に 何が ありますか。

## 8 課

### 1. \_\_\_\_\_ てください (依頼)

タクシーの客： 中野駅まで 行ってください。

運転手： はい。

タクシーの客： あ、ここで とめてください。

運転手： はい。

ちょっと 待ってください。

ここに 名前を 書いてください。

すみませんが、もう 1度 言ってください。

### 《て形》

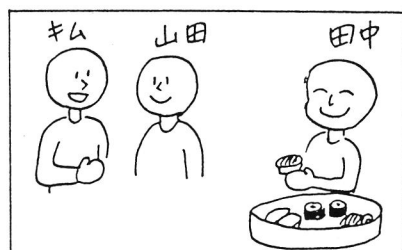
	— ます	— て
I	あ 会 <u>います</u>	あ 会 <u>って</u>
	ま 待 <u>ちます</u>	ま 待 <u>って</u>
	かえ 帰 <u>ります</u>	かえ 帰 <u>って</u>
	よ 読 <u>みます</u>	よ 読 <u>んで</u>
	あそ 遊 <u>びます</u>	あそ 遊 <u>んで</u>
	し 死 <u>にます</u>	し 死 <u>んで</u>
	か 書 <u>きます</u>	か 書 <u>いて</u>
	* い 行 <u>きます</u>	い 行 <u>って</u>
	いそ 急 <u>ぎます</u>	いそ 急 <u>いで</u>
	はな 話 <u>します</u>	はな 話 <u>して</u>

	— ます	— て
II	た 食 <u>べます</u>	た 食 <u>べて</u>
	ね 寝 <u>ます</u>	ね 寝 <u>て</u>
	おぼえ <u>ます</u>	おぼえ <u>て</u>
	とめ <u>ます</u>	とめ <u>て</u>
	み 見 <u>ます</u>	み 見 <u>て</u>
III	お 起 <u>きます</u>	お 起 <u>きて</u>
	き 着 <u>ます</u>	き 着 <u>て</u>
	し 来 <u>ます</u>	し 来 <u>て</u>

II. \_\_\_\_\_ ています (1) (進行中の動作)

<sup>やまだ</sup>山田さんの <sup>たんじょう</sup>誕生パーティーです。 <sup>た なか</sup>田中さんは <sup>いま</sup>今 お寿司を <sup>た</sup>食べています。 キムさんは <sup>やまだ</sup>山田さんと <sup>はな</sup>話しています。

<sup>ちん</sup>陳さんは あそこで <sup>ほん</sup>本を <sup>よ</sup>読んでいます。  
<sup>こ</sup>子どもたちは テレビを <sup>み</sup>見ています。  
<sup>しゅう</sup>周さんは <sup>とも</sup>友だちと テニスを しています。



III. \_\_\_\_\_ ています (2) (状態)

スミスさんは <sup>ぎんこう</sup>銀行に <sup>つと</sup>勤めています。ですから いつも スーツを <sup>き</sup>着ています。

キムさんは <sup>くろ</sup>黒い くつを はいています。  
 ジョンソンさんは <sup>あお</sup>青い <sup>と けい</sup>時計を しています。  
<sup>た なか</sup>田中さんは <sup>なが</sup>長い スカートを はいています。

<sup>あおき</sup>青木さんは <sup>ぼうえきがいし</sup>貿易会社に <sup>つと</sup>勤めています。  
 わたしは <sup>ふなばし</sup>船橋に <sup>す</sup>住んでいます。  
<sup>しゅう</sup>周さんは <sup>くるま</sup>車を <sup>だい</sup>2台 <sup>も</sup>持っています。  
 わたしは <sup>に ほんご</sup>いい 日本語の <sup>せんせい</sup>先生を <sup>し</sup>知っています。



IV. \_\_\_\_\_ ています (3) (繰り返し)

わたしは <sup>に ほんご</sup>日本語の <sup>がくせい</sup>学生です。 <sup>しゅうかん</sup>1週間に <sup>いつか</sup>5日 <sup>がっこう</sup>学校で <sup>べんきょう</sup>勉強 しています。

わたしは <sup>まいにち</sup>毎日 ジョギングを しています。

ちん 陳さんは <sup>いま</sup>今 <sup>からて</sup>空手を <sup>なら</sup>習っています。

あね 姉は <sup>びょういん</sup>病院で <sup>としよ</sup>お年寄りの <sup>せわ</sup>世話を しています。

V. \_\_\_\_\_ そうです (見て判断・推測する)

A: この ケーキ、<sup>た</sup>食べましたか。

B: いいえ、まだです。 おいしそうですね。

A: わたしは さっき <sup>た</sup>食べましたが、おいしかったですよ。

(1) (い形容詞) そうです

この えいがは おもしろそうです。

やまだ <sup>さいきん</sup>山田さんは 最近 いそがしそうです。

この <sup>きょうかしょ</sup>教科書は よさそうです。



(いい → よさそう)

(2) (な形容詞) そうです

た <sup>なか</sup>田中さんは <sup>げんき</sup>元気そうです。

キムさんの <sup>しごと</sup>仕事は たいへんそうです。

(3) (動詞) そうです

きょうは <sup>あめ</sup>雨が ふりそうです。

この <sup>ほん</sup>本は <sup>やく</sup>役に <sup>た</sup>立ちそうです。

## 練習問題

### I. 動詞の て形を 書いてください。

- 例. <sup>か</sup>書きます→ <sup>か</sup>書いて
- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① <sup>よ</sup> 読みます→  | ⑦ <sup>かえ</sup> 帰ります→ |
| ② <sup>み</sup> 見ます→   | ⑧ <sup>ま</sup> 待ちます→  |
| ③ <sup>あ</sup> 会います→  | ⑨ <sup>し</sup> します→   |
| ④ <sup>はな</sup> 話します→ | ⑩ <sup>よ</sup> 呼びます→  |
| ⑤ <sup>き</sup> 切ります→  | ⑪ <sup>き</sup> 着ます→   |
| ⑥ <sup>き</sup> 来ます→   | ⑫ <sup>およ</sup> 泳ぎます→ |
|                       | ⑬ おぼえます→              |

### II. 「—てください」の 形にしてください。

例. ちょっと (<sup>ま</sup>待ちます→ <sup>ま</sup>待ってください)。

- |   |    |
|---|----|
| ① 黒板に <sup>くくばん</sup> ひらがなを ( <sup>か</sup> 書きます→  | )。 |
| ② かさを ( <sup>か</sup> 貸します→                        | )。 |
| ③ 電話番号を <sup>でんわ ばんごう</sup> ( <sup>おし</sup> 教えます→ | )。 |
| ④ 白い セーターを ( <sup>しろ</sup> 見せます→                  | )。 |
| ⑤ ゆっくり ( <sup>はな</sup> 話します→                      | )。 |
| ⑥ あした 8時に ( <sup>じ</sup> 来ます→                     | )。 |

### III. 「—そうです」の形にしてください。

- |  |    |
|--|----|
| ① 田中さんは <sup>た なか</sup> きょうは とても (うれしいです→                    | )。 |
| ② その <sup>ほん</sup> 本は (むずかしいです→                              | )。 |
| ③ この <sup>ちず</sup> 地図は <sup>やく</sup> 役に ( <sup>た</sup> 立ちます→ | )。 |
| ④ 鈴木さんの <sup>しごと</sup> 仕事は (たいへんです→                          | )。 |
| ⑤ この <sup>じしょ</sup> 辞書は ( <sup>つか</sup> 使いやすいです→             | )。 |

IV. 「—ています」の形にしてください。

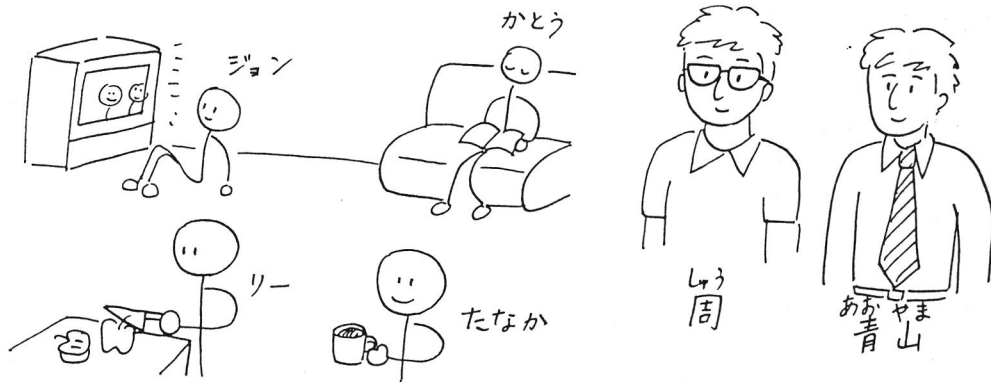
例. <sup>ゆうしょく</sup>夕食を (<sup>た</sup>食べます→<sup>た</sup>食べています)。

- ① <sup>さけ</sup>お酒を (<sup>の</sup>飲みます→ )。
- ② <sup>おんがく</sup>音楽を (<sup>き</sup>聞きます→ )。
- ③ ソファーで (<sup>ね</sup>ます→ )。
- ④ <sup>でんしや</sup>電車を (<sup>ま</sup>待ちます→ )。
- ⑤ <sup>や きゅう</sup>野球を (<sup>し</sup>めます→ )。
- ⑥ <sup>くろ</sup>黒い コートを (<sup>き</sup>着ます→ )。
- ⑦ <sup>みどり</sup>緑の スカートを (<sup>は</sup>きます→ )。
- ⑧ <sup>しま</sup>しまの ネクタイを (<sup>し</sup>めます→ )。

V. 絵を見て文を完成させてください。

例. <sup>かとう</sup>加藤さんは <sup>ほん</sup>ソファーで <sup>よ</sup>本を 読んでいます。

- ① ジョンさんは \_\_\_\_\_。
- ② <sup>た なか</sup>田中さんは \_\_\_\_\_。
- ③ リーさんは \_\_\_\_\_。
- ④ <sup>あおやま</sup>青山さんは \_\_\_\_\_。
- ⑤ <sup>しゅう</sup>周さんは \_\_\_\_\_。





VI. 「—てください」を使って 依頼の文を作ってください。

例. タクシーに <sup>の</sup> 乗りました。 [<sup>うんてんしゅ</sup>運転手<sup>い</sup>に] ⇨ <sup>しんじゅく</sup>新宿まで 行ってください。

① <sup>せんせい</sup>先生の <sup>せつめい</sup>説明が よく <sup>せんせい</sup>わかりませんでした。 [先生に]

⇒ <sup>せんせい</sup>先生、すみませんが、 \_\_\_\_\_ てください。

② <sup>わたし</sup>私は <sup>きょうかしょ</sup>教科書を <sup>うち</sup>家に <sup>わす</sup>忘れました。 [<sup>とも</sup>友だちに]

⇒ すみませんが、 \_\_\_\_\_ てください。

③ <sup>とも</sup>友だちが <sup>うち</sup>家へ <sup>あそ</sup>遊びに <sup>き</sup>来ました。 [<sup>とも</sup>友だちに]

⇒ どうぞ \_\_\_\_\_ てください。

④ <sup>たいし</sup>大使館まで <sup>かん</sup>行きますが、<sup>い</sup>道が <sup>みち</sup>わかりません。 [<sup>とも</sup>友だちに]

⇒ すみませんが、 \_\_\_\_\_ てください。

VII. 下の文を読んで 質問に答えてください。

<sup>けいこ</sup>恵子さん、<sup>げんき</sup>お元気ですか。 <sup>わたし</sup>私は <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>げんき</sup>元気に <sup>だいがく</sup>大学へ <sup>い</sup>行って  
います。 <sup>せんげつ</sup>先月 <sup>はい</sup>テニスクラブに 入りました。 <sup>いま</sup>今、<sup>いっしゅうかん</sup>1週間に <sup>みっか</sup>3日  
<sup>れんしゅう</sup>練習しています。 クラブの <sup>ひと</sup>人たちは <sup>みんな</sup>みんな とても <sup>げんき</sup>元気で <sup>たの</sup>楽しい  
<sup>ひと</sup>人たちです。

<sup>いま</sup>今 <sup>ご</sup>ドイツ語を <sup>べんきょう</sup>勉強しています。 <sup>ぶんぽう</sup>文法が とても <sup>むずか</sup>難しいです。  
<sup>いい</sup>いい <sup>じしょ</sup>辞書と <sup>さんこうしょ</sup>参考書を <sup>さが</sup>探しています。 <sup>ほん</sup>どんな 本が いいですか。  
よさそうな <sup>ほん</sup>本を <sup>おし</sup>教えてください。

<sup>こんど</sup>今度 <sup>しゅう</sup>また 周さんたちとも <sup>あ</sup>いっしょに 会いましょう。 いつでも  
いいですから <sup>でんわ</sup>電話してください。 それでは <sup>げんき</sup>お元気で。

1995年5月15日

キム

1. キムさんは <sup>いま</sup>今 <sup>なに</sup>何を していますか。

## 9 課

### I. \_\_\_\_\_ても いいですか (許可を求める)

A: すみません、窓を <sup>まど</sup>開けても <sup>あ</sup>いいですか。 ちょっと <sup>あつ</sup>暑いので。

B: ええ、いいですよ。 どうぞ。

A: ドアを <sup>し</sup>閉めても いいですか。

B: ええ、いいですよ。

A: ここに <sup>すわ</sup>すわっても いいですか。

B: ええ、どうぞ。

A: ここで たばこを <sup>す</sup>吸っても いいですか。

B: すみません、ここは ちょっと。 <sup>きんえん</sup>禁煙です。

### II. \_\_\_\_\_ては いけません (禁止)

この <sup>へや</sup>部屋は <sup>きんえん</sup>禁煙です。 ここで たばこを <sup>す</sup>吸っては いけません。

<sup>きょうしつ</sup>教室で <sup>さけ</sup>お酒を <sup>の</sup>飲んでは いけません。

ここに <sup>くるま</sup>車を <sup>と</sup>どめては いけません。

テストの <sup>とき</sup>時、 <sup>じしょ</sup>辞書を <sup>み</sup>見ては いけません。

### III. \_\_\_\_\_て みます (試みる)

デパートへ コートを <sup>か</sup>買いに <sup>き</sup>来ました。 この コートは よきそう  
です。 ちょっと <sup>き</sup>着て みます。

<sup>あた</sup>新しい レストランへ <sup>い</sup>行って みます。

タイの めずらしい 果物を 食べて みます。

中級の 日本語の テープを 聞いて みます。

IV. \_\_\_\_\_ て みてください (初めての試みを勧める)

A: キムさん、もう しゃぶしゃぶを 食べましたか。

B: いいえ、まだです。

A: おいしいですよ。こんど ぜひ 食べて みてください。

B: ええ。

沖繩は きれいな 島です。

ぜひ 行って みてください。

この 小説は とても おもしろいです。1度 読んで みてください。

かぶきは ほんとうに きれいですよ。こんど 見て みてください。

V. \_\_\_\_\_ て みても いいですか

パートの客: すみません。この スカート、ちょっと はいて みても  
いいですか。

店員: ええ、どうぞ。

A: この くつを はいて みても いいですか。B: ええ、どうぞ。

A: この セーター、着て みても いいですか。B: ええ、いいですよ。

練習問題

I. 「—ても いいですか」の形にしてください。

例. ここで たばこを (吸います→ 吸ってもいいですか)。

- ① 辞書を (借ります→ )。
- ② 中国語で (話します→ )。
- ③ ここで 昼ごはんを (食べます→ )。
- ④ 今晚 お宅へ (電話します→ )。
- ⑤ きょう はやく (帰ります→ )。

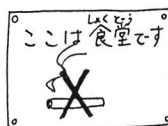
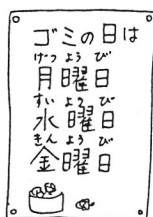
II. 「—ては いけません」の形にしてください。

例. ここに 車を (とめます→ とめては いけません)。

- ① 教室で お酒を (飲みます→ )。
- ② 中学生は オートバイを (運転します→ )。
- ③ 夜中に 大きい音で 音楽を (聞きます→ )。
- ④ ここに ゴミを (捨てます→ )。
- ⑤ テストの 時 となりの人と (話します→ )。

III. スミスさんの 会社の 寮の 規則です。 どんな 規則ですか。

- ① 火曜日と 木曜日は
- ② 食堂で たばこを
- ③ 寮で お酒を



あなたの 学校や 会社、アパートの 規則を 書いてください。

- ①
- ②
- ③

IV. 「—てみます」の形にしてください。

例. なつとうを (食べます→ 食べてみます )。

- ① 空手<sup>からて</sup>を (習<sup>なら</sup>います→ )。
- ② 北海道<sup>ほっかいどう</sup>を (旅行<sup>りょこう</sup>します→ )。
- ③ すもうを (見<sup>み</sup>に 行<sup>い</sup>きます→ )。
- ④ かぶきを (見<sup>み</sup>ます→ )。
- ⑤ ワープロを (打<sup>う</sup>ちます→ )。

V. 適当な方を選んでください。

① 林<sup>はやし</sup>: 周<sup>しゅう</sup>さん、もう すもうを 見<sup>み</sup>に 行<sup>い</sup>きましたか。

周<sup>しゅう</sup>: いいえ、まだです。

林<sup>はやし</sup>: とても おもしろいですよ。こんど ぜひ

- { (a) 見<sup>み</sup>に 行<sup>い</sup>って みてください。  
(b) 見<sup>み</sup>に 行<sup>い</sup>って みてもいいですか

② 林<sup>はやし</sup>: 陳<sup>ちん</sup>さん、その 辞書<sup>じしょ</sup>を ちょっと { (a) 借<sup>か</sup>りてください。  
(b) 借<sup>か</sup>りても いいですか。

陳<sup>ちん</sup>: ええ、いいですよ。どうぞ 使<sup>つか</sup>ってください。

③ 今年<sup>ことし</sup>の 夏<sup>なつ</sup>は 1か月<sup>げつ</sup> 休<sup>やす</sup>みが ありますから、わたしは いろいろな

- ところへ 旅行<sup>りょこう</sup>に { (a) 行<sup>い</sup>っては いけません。  
(b) 行<sup>い</sup>きます。

④ わたしは 今<sup>いま</sup> かぜを ひいています。きょうは 気分<sup>きぶん</sup>が { (a) 悪<sup>わる</sup>いです。  
(b) 悪<sup>わる</sup>そうです。

- ⑤ <sup>に</sup> 日本<sup>の</sup> <sup>ほうりつ</sup> 法律<sup>では</sup> <sup>こうこうせい</sup> 高校生<sup>は</sup> <sup>たばこ</sup> を { (a) <sup>す</sup> 吸<sup>って</sup>も いいです。  
(b) <sup>す</sup> 吸<sup>って</sup>は いけません。

VI. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

<sup>がくせい</sup> 学生<sup>:</sup> <sup>せんせい</sup> 先生<sup>,</sup> この <sup>きょうしつ</sup> 教室<sup>で</sup> <sup>ひる</sup> 昼ごはんを <sup>た</sup> 食べても いいですか。

<sup>せんせい</sup> 先生<sup>:</sup> ええ、いいですよ。 でも、<sup>そと</sup> たばこは <sup>す</sup> 外<sup>で</sup> 吸<sup>って</sup>ください。

<sup>がっこう</sup> 学校<sup>の</sup> <sup>なか</sup> 中<sup>は</sup> <sup>きんえん</sup> 禁煙<sup>です</sup> ですから。

<sup>がくせい</sup> 学生<sup>:</sup> はい。 あのう、<sup>と</sup> 図書室<sup>に</sup> <sup>しよしつ</sup> いろいろな <sup>ほん</sup> 本<sup>が</sup> ありますね。  
<sup>か</sup> 借り<sup>ても</sup> いいですか。

<sup>せんせい</sup> 先生<sup>:</sup> ええ。 <sup>ほん</sup> いろいろ おもしろい本<sup>が</sup> ありますから、<sup>よ</sup> 読<sup>んで</sup>  
みて ください。

1. <sup>がくせい</sup> 学生<sup>は</sup> <sup>なに</sup> 何を <sup>しても</sup> いいですか。 <sup>なに</sup> 何を <sup>しては</sup> いけませんか。

## 10 課

### I. から (理由を表す)

きょうは いい <sup>てんき</sup> 天気ですから、せんたくを します。

あしたは 2時から <sup>かいぎ</sup> 会議が ありますから、1時に <sup>で</sup> 出かけます。

<sup>すこ</sup> 少し <sup>さむ</sup> 寒いですから、<sup>まど</sup> 窓を <sup>し</sup> 閉めましょう。

\* <sup>すこ</sup> 少し <sup>さむ</sup> 寒いから、<sup>まど</sup> 窓を <sup>し</sup> 閉めましょう。

### II. ので (理由をていねいに述べる)

A: <sup>た なか</sup> 田中さん、<sup>やまだ</sup> 山田さんの たんじょうパーティーに <sup>い</sup> 行きませんか。

B: その日は ちょっと…。 <sup>ようじ</sup> 用事が ありますので。

A: そうですか。 <sup>ざんねん</sup> 残念ですね。

あした <sup>びょういん</sup> 病院へ <sup>い</sup> 行きますので、<sup>がっこう</sup> 学校を <sup>やす</sup> 休みます。

<sup>は い しや</sup> 歯医者 <sup>よ やく</sup> の <sup>よ</sup> 予約が ありますので、1時ごろ <sup>かいしや</sup> 会社へ <sup>い</sup> 行きます。

9時から <sup>じ</sup> テストを <sup>し</sup> しますので、8時45分に <sup>き</sup> 来てください。

### III. が (逆説の意の文を結ぶ)

わたしの アパートは せまいですが、<sup>へ や</sup> 部屋は とても <sup>あか</sup> 明るいです。  
<sup>えき</sup> 駅まで <sup>ふん</sup> 15分ぐらい かかりますが、<sup>こうえん</sup> 公園の <sup>しず</sup> そばで 静かです。

わたしの <sup>へ や</sup> 部屋は せまいですが、<sup>あか</sup> 明るいです。

<sup>いま</sup> 今の <sup>し ごと</sup> 仕事は いそがしいですが、おもしろいです。

<sup>に ほんご</sup> 日本語を <sup>ねん</sup> 4年ぐらい <sup>べんきよう</sup> 勉強しましたが、まだ <sup>じょうず</sup> 上手では ありません。

\* <sup>に ほんご</sup> 日本語を <sup>ねん</sup> 4年ぐらい <sup>べんきよう</sup> 勉強しましたがけど、まだ <sup>じょうず</sup> 上手じゃ ありません。

IV. それに (同種のものを付け加える)

2週間前<sup>しゅうかんまえ</sup>に 日本<sup>に ほん</sup>へ 来<sup>き</sup>ました。初<sup>はじ</sup>めは とても 心配<sup>しんぱい</sup>でしたか、  
 少<sup>すこ</sup>し 慣<sup>な</sup>れました。学<sup>がっこう</sup>校<sup>の</sup>の 勉<sup>べん</sup>強<sup>きょう</sup>も おもしろいです。それ<sup>に</sup>  
 友<sup>とも</sup>だちも でき<sup>ました</sup>。

アルバイ<sup>きゅうりょう</sup>トの 給<sup>やす</sup>料<sup>は</sup>は 安<sup>やす</sup>いです。それ<sup>に</sup> 仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>も たいへんです。  
 きょうは 頭<sup>あたま</sup>が<sup>いた</sup> 痛<sup>いた</sup>いです。それ<sup>に</sup> 熱<sup>ねつ</sup>も あり<sup>ます</sup>。  
 鈴<sup>すず</sup>木<sup>き</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>の 授<sup>じゅ</sup>業<sup>ぎょう</sup>は おもしろいです。それ<sup>に</sup> 役<sup>やく</sup>に 立<sup>た</sup>ち<sup>ます</sup>。

V. それから (頭に浮かんだものを順に言う)

京<sup>きょう</sup>都<sup>と</sup>へ 旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>し<sup>ました</sup>。市<sup>し</sup>内<sup>ない</sup>見<sup>けん</sup>物<sup>ぶつ</sup>を し<sup>ました</sup>。古<sup>ふる</sup>い お寺<sup>てら</sup>を  
 た<sup>く</sup>さ<sup>ん</sup> 見<sup>み</sup>し<sup>ました</sup>。それ<sup>から</sup> 京<sup>きょう</sup>都<sup>と</sup>料<sup>りょう</sup>理<sup>り</sup>も 食<sup>た</sup>べ<sup>ました</sup>。とて<sup>も</sup>  
 楽<sup>たの</sup>し<sup>かった</sup>で<sup>す</sup>。

い<sup>つも</sup> 4時<sup>じ</sup>ごろ うち<sup>へ</sup> 帰<sup>かえ</sup>り<sup>ます</sup>。それ<sup>から</sup> 夕<sup>ゆう</sup>食<sup>しょく</sup>の 準<sup>じゅん</sup>備<sup>び</sup>を し<sup>ます</sup>。  
 日<sup>にち</sup>曜<sup>よう</sup>日<sup>び</sup>は そう<sup>じ</sup>や せん<sup>たく</sup>を し<sup>ます</sup>。それ<sup>から</sup> 買<sup>かい</sup>物<sup>もの</sup>に 行<sup>い</sup>き<sup>ます</sup>。  
 朝<sup>あさ</sup>は ジュースと パンと それ<sup>から</sup> サラダも 食<sup>た</sup>べ<sup>ます</sup>。

練習問題

I. ( ) の中に適当な語を入れてください。

それから それに が から

- ① 東<sup>とう</sup>京<sup>きょう</sup>の 夏<sup>なつ</sup>は 暑<sup>あつ</sup>い ( ) 1日<sup>いちにち</sup>中<sup>じゅう</sup> クーラーを つけ<sup>ます</sup>。
- ② 東<sup>とう</sup>京<sup>きょう</sup>の 夏<sup>なつ</sup>は 暑<sup>あつ</sup>いです。 ( ) 湿<sup>しつ</sup>気<sup>け</sup>も 多<sup>おほ</sup>いです。
- ③ ジョギ<sup>けんこう</sup>ングは 健<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>に い<sup>い</sup>です。 ( ) 朝<sup>あさ</sup>の 空<sup>くう</sup>気<sup>き</sup>は おい<sup>い</sup>し<sup>い</sup>です。



- ④ きょうは お客様が 来ます (            )、 部屋の そうじを しましょう。
- ⑤ 東京の アパートは 家賃が 高いです。 (            ) 部屋も せまいです。
- ⑥ 授業は 楽しいです (            )、宿題が たくさん あります。
- ⑦ 夜は 8時ごろまで 家事を します。 (            ) 宿題を します。

## II. 文を完成させてください。

- ① 今の アパートは 学校に 近いですが \_\_\_\_\_。
- ② きょうは 仕事を 休みます。 頭が 痛いです。 それに \_\_\_\_\_。
- ③ 駅の 近くは 車の 事故が 多いですから \_\_\_\_\_。
- ④ 来月 アメリカへ 出張します。 まず テキサスへ 行きます。  
それから \_\_\_\_\_。

## III. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

わたし 私の アパートには 外国人が たくさん います。 韓国人、中国人、アメリカ人、イタリア人、それから インド人も います。 いろいろな 国の 人が いますから とても 楽しいです。

アパートは せまいですが、とても 古いので 家賃が 安いです。 それに 部屋が 南向きですので 日当たりが いいです。 でも すぐ 近くに 大きい 道路が ありますから とても うるさいです。 今、私は 静かな アパートを 探していますが、安くて いい アパートはありません。

1. 今 どんな アパートに 住んでいますか。

## 1 1 課

### I. \_\_\_\_\_たいです (欲求・願望)

きょうは とても <sup>さむ</sup> 寒いです。 なにか あたたかい ものを  
<sup>た</sup> 食べたいです。

コーヒーを <sup>の</sup> 飲みたいです。

<sup>りょこう</sup> 旅行に <sup>い</sup> 行きたいです。

<sup>こいびと</sup> 恋人に <sup>あ</sup> 会いたいです。

きょうは <sup>べんきょう</sup> 勉強したく ないです。

<sup>いま</sup> 今 <sup>なに</sup> 何も <sup>た</sup> 食べたく ないです。

### II. \_\_\_\_\_たいと <sup>おも</sup> 思っています (夢・願望)

<sup>いま</sup> 今 <sup>に ほんご</sup> 日本語を <sup>べんきょう</sup> 勉強しています。 <sup>しょうらい</sup> 将来 <sup>つうやく</sup> 通訳に なりたいと <sup>おも</sup> 思っ  
ています。

<sup>じ ぶん</sup> 自分の <sup>かいしゃ</sup> 会社を <sup>つく</sup> 作りたいと <sup>おも</sup> 思っています。

<sup>に ほん</sup> 日本の <sup>かいしゃ</sup> 会社で <sup>はたら</sup> 働きたいと <sup>おも</sup> 思っています。

<sup>せ かいじゅう</sup> 世界中を <sup>りょこう</sup> 旅行したいと <sup>おも</sup> 思っています。

— ます	— たい	— たく ない
なります	なりたい	なりたく ない
<sup>い</sup> 行きます	<sup>い</sup> 行きたい	<sup>い</sup> 行きたく ない
<sup>の</sup> 飲みます	<sup>の</sup> 飲みたい	<sup>の</sup> 飲みたく ない
<sup>み</sup> 見ます	<sup>み</sup> 見たい	<sup>み</sup> 見たく ない
<sup>た</sup> 食べます	<sup>た</sup> 食べたい	<sup>た</sup> 食べたく ない
<sup>き</sup> 来ます	<sup>き</sup> 来たい	<sup>き</sup> 来たく ない
します	したい	したく ない

### III. \_\_\_\_\_ てみたいです

わたしは まだ <sup>ほっかいどう</sup>北海道へ <sup>い</sup>行っていません。1 <sup>ど</sup>度 <sup>い</sup>行ってみたいです。

わたしは <sup>つき</sup>月へ <sup>い</sup>行ってみたいです。

ヒマラヤに <sup>のぼ</sup>登ってみたいです。

しゃぶしゃぶを <sup>た</sup>食べてみたいです。

### IV. \_\_\_\_\_ が ほしいです

<sup>らいねん</sup>来年の <sup>がつ</sup>4月から コンピューターの <sup>べんきょう</sup>勉強を <sup>いま</sup>します。今  
パソコンが ほしいです。

<sup>あた</sup>新しい <sup>くるま</sup>車が ほしいです。

<sup>とも</sup>友だちが ほしいです。

<sup>じ かん</sup>時間が ほしいです。

A: 今、何がほしいですか。

B: いい辞書がほしいです。

A: 今、何がほしいですか。

B: 何もほしくありません。

## 練習問題

### I. ーたい形に変えてください。

例. おいしいものを (食べます→ 食べたいです)。

① お酒を 飲み (行きます→ )。

② ちょっと (休みます→ )。

③ 3日ぐらい 休みを (とります→ )。

④ 30分ぐらい (ねます→ )。

⑤ 静かな 音楽を (聞きます→ )。

### II. 「～が ほしいです」か「～たいです」を使って文を作ってください。

例1. お金 ⇨ お金がほしいです。

例2. 旅行 ⇨ 旅行を したいです。

① 家事 ⇨

② ひま ⇨

③ 勉強 ⇨

④ 読書 ⇨

⑤ テープレコーダー ⇨

⑥ 休み ⇨

⑦ 恋人 ⇨

⑧ 結婚 ⇨

Ⅲ. 「～たいです」を使って文を作ってください。

例. のどが <sup>な</sup>かわきました。⇒ <sup>の</sup>何か <sup>の</sup>飲みたいです。\_\_\_\_\_

① <sup>つか</sup>疲れしました。⇒ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>です。

② きょうは <sup>あつ</sup>暑いです。⇒ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>です。

③ おなかが <sup>す</sup>きました。⇒ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>です。

④ <sup>いま</sup>今から <sup>じかん</sup>2時間 <sup>でんしゃ</sup>電車で <sup>の</sup>乗ります。⇒ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>です。

⑤ きょうは <sup>いい</sup>いい <sup>てんき</sup>天気です。⇒ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>です。

Ⅳ. 「～てみたいです」を使って文を作ってください。

例. かぶき ⇒ <sup>こんど</sup>今度 <sup>み</sup>かぶきを <sup>み</sup>見てみたいです。\_\_\_\_\_

① <sup>しゃぶ</sup>しゃぶ ⇒ \_\_\_\_\_

② <sup>ふじ</sup>富士山 ⇒ \_\_\_\_\_

③ <sup>おきなわ</sup>沖縄 ⇒ \_\_\_\_\_

④ <sup>こ</sup>イタリア語 ⇒ \_\_\_\_\_

Ⅴ. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

わたし <sup>げつまえ</sup>2か月前に <sup>に</sup> <sup>ほんご</sup>日本語の <sup>べんきょう</sup>勉強を <sup>はじ</sup>始めました。 <sup>しょうらい</sup>将来、<sup>くに</sup>国で  
<sup>ぼうえき</sup>貿易の <sup>しごと</sup>仕事を <sup>したい</sup>したいと <sup>おも</sup>思っていますので、 <sup>に</sup> <sup>ほん</sup>日本の <sup>だいがく</sup>大学で <sup>しょうぎょう</sup>商業と  
<sup>けいざい</sup>経済の <sup>べんきょう</sup>勉強を <sup>したい</sup>したいと <sup>おも</sup>思っています。 <sup>に</sup> <sup>ほんじん</sup>それに <sup>にほんじん</sup>日本人の <sup>かんが</sup>考え方も  
<sup>し</sup>知りたいです。 <sup>からて</sup>空手も <sup>なら</sup>習ってみたいです。 <sup>でも</sup>でも <sup>いま</sup>今は <sup>に</sup> <sup>ほんご</sup>日本語の  
<sup>べんきょう</sup>勉強と <sup>アルバイト</sup>アルバイトで <sup>たいへん</sup>たいへんです。 <sup>じかん</sup>時間が <sup>ほしい</sup>ほしいです。

1. <sup>しょうらい</sup>将来 <sup>どんな</sup>どんな <sup>こと</sup>ことを <sup>したい</sup>したいと <sup>おも</sup>思っていますか。

## 1 2 課

### 1. \_\_\_\_\_と <sup>おも</sup>思います (推量)

この <sup>あか</sup>赤ちゃんは たぶん <sup>おんな</sup>女の <sup>あか</sup>赤ちゃんだと <sup>おも</sup>思います。 <sup>あか</sup>赤い <sup>ふく</sup>服を  
<sup>き</sup>着ていますから。

#### (1) 名詞+だ+と <sup>おも</sup>思います

やまだ 山田さんは 30歳<sup>さい</sup>ぐらいだと <sup>おも</sup>思います。

やまだ 山田さんは <sup>どくしん</sup>独身だと <sup>おも</sup>思います。

この <sup>しゃしん</sup>写真は オーストラリアだと <sup>おも</sup>思います。

あの <sup>たてもの</sup>建物は レストランだと <sup>おも</sup>思います。

この <sup>たてもの</sup>建物は ホテルじゃないと <sup>おも</sup>思います。



#### (2) 形容詞 (い形容詞、な形容詞) +と <sup>おも</sup>思います

JALの <sup>りょこう</sup>パック旅行は たぶん <sup>たか</sup>高いと <sup>おも</sup>思います。

2月の <sup>がつ</sup>旅行客は あまり <sup>おお</sup>多くないと <sup>おも</sup>思います。

スイスは <sup>なつ</sup>夏でも <sup>ひつよう</sup>コートが 必要だと <sup>おも</sup>思います。

<sup>ちち</sup>父は あまり <sup>りょこう</sup>旅行が <sup>す</sup>好きでは ないと <sup>おも</sup>思います。

#### (3) 動詞+と <sup>おも</sup>思います

キムさんは たぶん <sup>りょこう</sup>旅行に <sup>い</sup>行くと <sup>おも</sup>思います。

やまだ 山田さんは たぶん <sup>けっこん</sup>結婚していると <sup>おも</sup>思います。

<sup>ちん</sup>陳さんは たぶん <sup>こ</sup>きょうは 来ないと <sup>おも</sup>思います。

## II. \_\_\_\_\_と <sup>おも</sup>思います (意見・感想)

わたしは <sup>はんとしまえ</sup>半年前に <sup>に ほん</sup>日本へ <sup>き</sup>来ました。 <sup>に ほん</sup>日本は <sup>ほんとう</sup>本当に <sup>ぶつか</sup>物価が  
<sup>たか</sup>高いと <sup>おも</sup>思います。

### (1) 名詞+だ+と <sup>おも</sup>思います

<sup>に ほん</sup>日本は <sup>もの</sup>物が <sup>ほうふ</sup>豊富な <sup>くに</sup>国だと <sup>おも</sup>思います。

<sup>ちん</sup>陳さんは とても <sup>ひと</sup>やさしい <sup>ひと</sup>人だと <sup>おも</sup>思います。

### (2) 形容詞+と <sup>おも</sup>思います

<sup>に ほん</sup>日本は <sup>ほんとう</sup>本当に <sup>ぶつか</sup>物価が <sup>たか</sup>高いと <sup>おも</sup>思います。

<sup>やまだ</sup>山田さんは <sup>あまり</sup>あまり <sup>しごと</sup>仕事 <sup>はや</sup>が <sup>おも</sup>速くないと <sup>おも</sup>思います。

<sup>に ほんじん</sup>日本人の <sup>サラリーマン</sup>サラリーマンは <sup>きんべん</sup>勤勉だと <sup>おも</sup>思います。

<sup>ちん</sup>陳さんは <sup>あまり</sup>あまり <sup>えいご</sup>英語 <sup>が</sup>が <sup>じょうず</sup>じょうずでは <sup>おも</sup>ないと <sup>おも</sup>思います。

### (3) 動詞+と <sup>おも</sup>思います

<sup>に ほんじん</sup>日本人は とても <sup>よく</sup>よく <sup>はたら</sup>働くと <sup>おも</sup>思います。

<sup>に ほん</sup>日本の <sup>ちゅうがくせい</sup>中学生は <sup>よく</sup>よく <sup>べんきょう</sup>勉強すると <sup>おも</sup>思います。

<sup>しゅう</sup>周さんは <sup>に ほん</sup>日本のことを <sup>し</sup>知らないと <sup>おも</sup>思います。

## III. \_\_\_\_\_でしょう (推測)

<sup>てんき よ ほう</sup>天気予報です。 <sup>とうきょう</sup>東京は <sup>きょうは</sup>きょうは <sup>にち あめ</sup>1日 雨でしょう。

きょうは <sup>あめ</sup>雨でしょう。

あしたは <sup>さむ</sup>寒いでしょう。

<sup>ぐんま けん</sup>群馬県は <sup>ゆき</sup>雪 <sup>ふ</sup>が 降るでしょう。

IV. \_\_\_\_\_ でしょうか (相手に推測するようにていねいに求める)

A: 松本先生は 何歳ぐらい でしょうか。

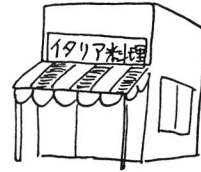
B: 40歳ぐらいだと おもいます。

A: あの 建物 は 何 で しょうか。

B: たぶん レストランだと おもいます。

A: あの レストラン は 高 い でしょうか。

B: ええ、高 い だと おもいます。



A: あの レストラン は 静 か でしょうか。

B: あまり 静 か ではないと おもいます。

A: ラトナさんも ピクニックに 行 く でしょうか。

B: たぶん 行 か ないと おもいます。

A: 林さんは 何 じ ごろ 来 く でしょうか。

B: 9時 じ ごろだと おもいます。

V. \_\_\_\_\_ だろうと おもいます (確信のない推量)

田中さんの 年 ねん 齢 れい は よく わかりませんが、たぶん 40歳 さい ぐらい だろうと おもいます。 お子 こ さんが 10歳 さい ぐらいですから。

あれは たぶん 田中 たなか さんの お子 こ さんだろうと おもいます。

日本 にほん は 交通 こうつう 事故 じこ が 多 おほ いだろうと おもいます。 道 みち が せまいですから。



ねんまつ みち こ とうきょう にっこう じ かん  
 年末は 道が 混みますから、東京から 日光まで 10時間ぐらい かかる  
 だろうと 思います。

《普通体 現在形》

	—です	普通体(乾)	—ではありません／—ないです	普通体 (否定)
名詞	がくせい 学生です	がくせい 学生だ	がくせい 学生では ありません	がくせい 学生では ない * がくせい 学生じゃ ない (口語)
い形容詞	たか 高いです ひろ 広いです いいです	たか 高い ひろ 広い いい	たか 高く ないです ひろ 広く ないです よく ないです	たか 高く ない ひろ 広く ない よく ない
な形容詞	しず 静かです きれいです	しず 静かだ きれいだ	しず 静かでは ありません きれいで は ありません	しず 静かでは ない きれいで は ない *きれいじゃ ない (口語)

	—ます	普通体(體)	—ません	普通体 (否定)
動詞 I	<sup>か</sup> 買います <sup>ま</sup> 待ちます <sup>かえ</sup> 帰ります <sup>よ</sup> 読みます <sup>あそ</sup> びます <sup>か</sup> 書きます <sup>いそ</sup> ぎます <sup>はな</sup> 話します * あります	<sup>か</sup> 買う <sup>ま</sup> 待つ <sup>かえ</sup> 帰る <sup>よ</sup> 読む <sup>あそ</sup> ぶ <sup>か</sup> 書く <sup>いそ</sup> ぐ <sup>はな</sup> 話す ある	<sup>か</sup> 買いません <sup>ま</sup> 待ちません <sup>かえ</sup> 帰りません <sup>よ</sup> 読みません <sup>あそ</sup> びません <sup>か</sup> 書きません <sup>いそ</sup> ぎません <sup>はな</sup> 話しません ありません	<sup>か</sup> 買わない <sup>ま</sup> 待たない <sup>かえ</sup> 帰らない <sup>よ</sup> 読まない <sup>あそ</sup> びない <sup>か</sup> 書かない <sup>いそ</sup> がさない <sup>はな</sup> 話さない ない
動詞 II	<sup>み</sup> 見ます います <sup>た</sup> 食べます <sup>ね</sup> 寝ます	<sup>み</sup> 見る いる <sup>た</sup> 食べる <sup>ね</sup> 寝る	<sup>み</sup> 見ません いません <sup>た</sup> 食べません <sup>ね</sup> 寝ません	<sup>み</sup> 見ない いない <sup>た</sup> 食べない <sup>ね</sup> 寝ない
動詞 III	します <sup>き</sup> 来ます	する <sup>く</sup> 来る	しません <sup>き</sup> 来ません	しない <sup>こ</sup> 来ない

### 練習問題

I. 普通体に変えてください。

例. <sup>い</sup>行きます → <sup>い</sup>行く      <sup>い</sup>行かない

① <sup>か</sup>書きます →

② <sup>あたら</sup>新しいです →

- ③ <sup>うた</sup>歌います →
- ④ <sup>あんぜん</sup>安全です →
- ⑤ します →
- ⑥ <sup>あそ</sup>遊びます →
- ⑦ <sup>おお</sup>多いです →
- ⑧ <sup>し</sup>知っています →
- ⑨ あります →
- ⑩ <sup>も</sup>持ってきます →
- ⑪ <sup>で</sup>出かけます →
- ⑫ めんどうです →

II. ( )の中のことばを適当な形に変えてください。

例. <sup>た なか</sup>田中さんは きょうは (いそがしいです → いそがしい) と <sup>おも</sup>思います。

- ① A: <sup>やまだ</sup>山田さんは あしたの パーティーに (来ます→ ) でしょうか。  
 B: いいえ、(来ません→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ② <sup>やまだ</sup>山田さんは あしたは たぶん <sup>しごと</sup>仕事 (あります→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ③ <sup>にほん</sup>日本の サラリーマンは よく <sup>さけ</sup>お酒を (飲みます→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ④ あしたは <sup>あめ</sup>雨が (降ります→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ⑤ あしたは <sup>てんき</sup>天気が (よく ありません→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ⑥ すきやきは <sup>ほんとう</sup>本当に (おいしいです→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ⑦ <sup>にほん</sup>日本は とても <sup>あんぜん</sup>安全な (国です→ ) と <sup>おも</sup>思います。
- ⑧ <sup>えき</sup>駅の そばは あまり (静かでは ありません→ ) と <sup>おも</sup>思います。

Ⅲ. 文を作ってください。

例. <sup>とうきょう</sup>東京の <sup>ち か てつ</sup>地下鉄は とても <sup>べんり</sup>便利だ <sup>おも</sup>と思います。

- ① <sup>に ほん</sup>日本の <sup>こ</sup>子どもは \_\_\_\_\_ <sup>おも</sup>と 思います。
- ② <sup>に ほんご</sup>日本語の <sup>べんきょう</sup>勉強は \_\_\_\_\_ <sup>おも</sup>と 思います。
- ③ <sup>に ほん</sup>日本の <sup>がっこう</sup>学校は \_\_\_\_\_ <sup>おも</sup>と 思います。
- ④ <sup>に ほん</sup>日本の <sup>サラリーマン</sup>サラリーマンは \_\_\_\_\_ <sup>おも</sup>と 思います。
- ⑤ <sup>に ほん</sup>日本の <sup>くるま</sup>車は \_\_\_\_\_ <sup>おも</sup>と 思います。

Ⅳ. 下の文を読んで 質問に 答えてください。

<sup>わたし</sup>私の <sup>アパート</sup>アパートの <sup>となり</sup>となりの <sup>へや</sup>部屋に <sup>わか</sup>若い <sup>ふうふ</sup>夫婦が <sup>す</sup>住んでいます。

<sup>たぶん</sup>たぶん まだ <sup>しんこん</sup>新婚だろうと <sup>おも</sup>思います。 <sup>おく</sup>奥さんは <sup>さい</sup>22、3歳ぐら

いでしょう。 <sup>ときどき</sup>ときどき <sup>わたし</sup>私と <sup>はなし</sup>話を <sup>し</sup>します。 <sup>しゅじん</sup>ご主人は <sup>さい</sup>たぶん 25歳

ぐらいだと <sup>おも</sup>思います。 <sup>しゅじん</sup>ご主人は <sup>ぎんこういん</sup>銀行員で、<sup>まいばん</sup>毎晩 <sup>おそ</sup>遅く <sup>かえ</sup>帰ります。

<sup>おく</sup>奥さんは <sup>ご しゅじん</sup>御主人の <sup>かえ</sup>帰りを <sup>ま</sup>待っていますので、<sup>ゆうしょく</sup>夕食は <sup>じ</sup>たいてい 11時

ごろです。

<sup>わたし</sup>私の <sup>ともだち</sup>友達も <sup>コンピューター</sup>コンピューターの <sup>かいしゃ</sup>会社に <sup>つと</sup>勤めていますが、<sup>げつまつ</sup>月末や <sup>ねんまつ</sup>年末

は <sup>とても</sup>とても <sup>いそがしい</sup>いそがしいので、<sup>しょくば</sup>職場の <sup>ちか</sup>近くの <sup>ホテル</sup>ホテルに <sup>と</sup>泊まります。

<sup>サラリーマン</sup>サラリーマンの <sup>せいかつ</sup>生活は <sup>たいへん</sup>とても <sup>おも</sup>大変だと 思います。

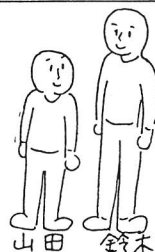
1. <sup>へや</sup>となりの <sup>部屋</sup>部屋に <sup>どんな</sup>どんな <sup>ひと</sup>人が <sup>す</sup>住んでいますか。

# 1 3 課

I. \_\_\_\_\_より \_\_\_\_\_の ほうが \_\_\_\_\_です (二者を比較する)

とうきょう とう  
東京タワーは 331mです。 エッフェル塔は 321mです。  
エッフェル塔より とうきょう とう 東京タワーの ほうが 高いです。

きゅうしゅう ほうかいどう おお  
九州 より 北海道 の ほうが 大きいです。  
やまだ すずき せ たか  
山田さんより 鈴木さんの ほうが 背が 高いです。  
アメリカより ちゅうごく じんこう おお  
中国 の ほうが 人口が 多いです。



II. \_\_\_\_\_と \_\_\_\_\_と どちらの ほうが \_\_\_\_\_ですか (2者を比較する際の質問)

A: たいわん かんこく じんこう おお  
台湾と 韓国と どちらの ほうが 人口が 多いですか。  
B: かんこく おお  
韓国の ほうが 多いです。

台湾	20,200,000人
韓国	42,380,000人

さけ つよ  
お酒と ビールと どちらの ほうが 強いですか。  
に ほん かんこく めんせき ひろ  
日本と 韓国と どちらの ほうが 面積が 広いですか。  
すしと すきやきと す  
すしと すきやきと どちらの ほうが 好きですか。  
\* おさしみと すきやきと どちらの ほうが 好きですか。 (口語的)

III. \_\_\_\_\_は \_\_\_\_\_より \_\_\_\_\_です (題目を示し、それが他と比較してどうか言う)

A: に ほん せいかつ  
日本の 生活は どうですか。  
B: に ほん わたし くに ぶっか たか  
日本は 私の 国より 物価が 高いです。

に ほん ちゅうごく ぶっか たか  
日本は 中国より 物価が ずっと 高いです。  
とうきょう くるま おお  
東京は ソウルより 車が 多いです。

この クラスは となりの クラスより 学生が 少し 多いです。

IV. いちばん \_\_\_\_\_ (最上級)

- (1) 日本は 食べ物が高いです。 レストランの 定食が 一人前  
1000円ぐらいです。 着る物も 本も みんな 高いです。 日本は  
世界で いちばん 物価が 高い国です。

富士山は 日本で いちばん 高い 山です。  
中国は 世界で いちばん 人口が 多い 国です。  
8月は 1年で いちばん 暑いです。  
\*田中さんは 私たち 3人の 中で いちばん 背が 高いです。

A: 日本で いちばん 高い 山は 何ですか。

B: 富士山です。

A: 世界で いちばん 面積が 広い 国は どこですか。

B: ロシアです。

- (2) 日本へ 来て いろいろな 料理を 食べました。 おすしも  
てんぷらも すき焼きも おいしいです。 でも 私は 日本料理では  
しゃぶしゃぶが いちばん 好きです。

スポーツでは 野球が いちばん おもしろいです。

季節では 秋が いちばん 好きです。

音楽では ロックが いちばん 人気があります。

A: 果物では 何かに いちばん 好きですか。

B: いちごです。

A: アメリカの 映画俳優では だれかに いちばん 好きですか。

B: トム・クルーズです。

A: 日本の 会社では どこかに いちばん 大きいですか。

B: トヨタです。

V. \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ 倍です

中国の 人口は 約10億人、日本の 人口は 約1億人です。 中国の人口は 日本の 人口の 10倍です。

中国の 面積は 日本の 面積の 25倍です。  
主人の 収入は 私の 収入の 5倍です。

## 練習問題

I. あてはまることばを選んでください。

は      より      と      のほうが

例. エッフェル塔 (より) 東京タワー (の ほうが) 高いです。

① 日本 ( ) 中国 ( ) 面積が 広いです。

② アメリカ ( ) 日本 ( ) 面積が 広いです。

③ 富士山 ( ) エベレスト ( ) 高いです。

④ 夏 ( ) 冬 ( ) どちら ( ) 好きですか。

⑤ レコード ( ) CD ( ) 小さくて 便利です。

- ⑥ 夏 ( ) 秋 ( ) すずしくて 好きです。
- ⑦ 日本 ( ) 韓国 ( ) どっち ( ) 人口が 多いですか。
- ⑧ Mサイズ ( ) Lサイズ ( ) 大きくて 楽です。

II. あてはまることばを選んでください。

は	が	で	では
---	---	---	----

- ① 太平洋 ( ) 世界 ( ) いちばん 大きい海です。
- ② 6月 ( ) 1年 ( ) いちばん 雨が 多いです。
- ③ 日本の 観光地 ( ) 京都 ( ) いちばん 有名です。
- ④ スポーツ ( ) サッカ ( ) いちばん おもしろいと思います。
- ⑤ 世界 ( ) いちばん 高い山 ( ) 何ですか。
- ⑥ 果物 ( ) 何 ( ) いちばん 好きですか。
- ⑦ 作曲家 ( ) だれ ( ) いちばん 好きですか。
- ⑧ 日本 ( ) 今 いちばん 人気がある 歌手 ( ) だれですか。

III. 文を完成してください。

- ① わたしより 母の ほうが \_\_\_\_\_
- ② 日本より わたしの 国の ほうが \_\_\_\_\_
- ③ 東京より わたしの 町の ほうが \_\_\_\_\_
- ④ わたしの 国は 世界で いちばん \_\_\_\_\_
- ⑤ 日本は 世界で いちばん \_\_\_\_\_



IV. 下の文を読んで 質問に答えてください。

わたし あに おとうと  
私には 兄と 弟が います。 あに さい おとうと さい  
兄は 22歳、弟は 19歳ですが、  
あに おとうと  
兄より 弟の ほうが せ たか  
背が 高いです。 おとうと ちち せ  
弟は 父よりも 背が  
たか  
高いですから、 か ぞく なか  
家族の 中で いちばん 高いです。 かお  
顔も まあまあ  
ハンサムなので、ガールフレンドが たくさん います。  
わたし おとうと あに せいかく おも  
でも 私は 弟より 兄のほうが 性格が いいと 思います。  
しょうらい あに おく み  
ですから 将来は 兄の ほうが いい 奥さんを 見つけるだろうと  
おも  
思います。

1. あに おとうと おく み おも  
兄と 弟と どちらの ほうが いい 奥さんを 見けると 思いますか。
2. どうしてですか。

## 1 4 課

1. \_\_\_\_\_と 言っていました (伝言を伝える、他者の言ったことを引用する)

2時ごろ 山田さんと いう 人から 電話が ありました。  
先週 引っ越しを したと 言っていました。

(1) 動詞 (現在) + と 言っていました

山田さんは きょうは 会社を 休むと 言っていました。  
周さんは あした 映画を 見に 行くと 言っていました。  
スミスさんは 鎌倉に 住んでいると 言っていました。  
陳さんは 旅行に 行かないと 言っていました。  
キムさんは お洒を 飲まないと 言っていました。

(2) 動詞 (過去) + と 言っていました

山田さんは 最近 電話番号が 変わったと 言っていました。  
周さんは 先週 いい 映画を 見たと 言っていました。  
スミスさんは キムさんは 国へ 帰ったと 言っていました。  
周さんは 去年の 夏は 国へ 帰らなかったと 言っていました。  
陳さんは きょうは 宿題を しなかったと 言っていました。

(3) 形容詞 (現在) + と 言っていました

周さんは 日本は 本当に 物価が 高いと 言っていました。  
陳さんは 漢字の 勉強は おもしろくないと 言っていました。  
キムさんは 今の アパートは きれいだと 言っていました。  
スミスさんは 日本人は 親切じゃないと 言っていました。

(4) 形容詞 (過去) + と 言っていました

周さんは きのうの 映画は おもしろかったと 言っていました。  
 キムさんは 夏の 旅行は とても たのしかったと 言っていました。  
 陳さんは きのうの 映画は おもしろく なかったと 言っていました。  
 スミスさんは ホテルの 料理は おいしく なかったと 言っていました。  
 リーさんは 大阪の ホテルは きれいで は なかったと 言っていました。

(5) 名詞 + だ (現在) と 言っていました

陳さんは あしたは 休みだと 言っていました。  
 周さんは 夏休みは 2か月だと 言っていました。  
 スミスさんは うちは 市川だと 言っていました。  
 キムさんは 土曜日は 休みでは ないと 言っていました。

(6) 名詞 + だった (過去) と 言っていました

周さんは 「JFK」は とても いい 映画だったと 言っていました。  
 キムさんは 那覇は とても 大きい 町だったと 言っていました。  
 陳さんは 京都の 民宿は あまり いい 民宿では なかったと 言っていました。

《普通体 過去形》

		普通体 過去 (肯定)		普通体 過去 (否定)
名詞	がくせい 学生でした	がくせい 学生だった	がくせい 学生では ありませんでした ※学生じゃ ありませんでした	がくせい 学生では なかった ※学生じゃ なかった

※は 口語

		普通体 過去 (肯定)		普通体 過去 (否定)
な 形容詞	きれいでした しず 静かでした	きれいだった しず 静かだった	きれいでは ありませんでした しず 静かでは ありませんでした ※静かじゃ ありませんでした	きれいでは なかった しず 静かでは なかった ※静かじゃ なかった
い 形容詞	たか 高かったです ひろ 広かったです よかったです	たか 高かった ひろ 広かった よかった	たか 高く なかったです ひろ 広く なかったです よく なかったです	たか 高く なかった ひろ 広く なかった よく なかった

※は 口語

動詞 I	か 買いました ま 待ちました かえ 帰りました よ 読みました あそ 遊びました か 書きました いそ 急ぎました はな 話しました *ありました	か 買った ま 待った かえ 帰った よ 読んだ あそ 遊んだ か 書いた いそ 急いだ はな 話した あった	か 買いませんでした ま 待ちませんでした かえ 帰りませんでした よ 読みませんでした あそ 遊びませんでした か 書きませんでした いそ 急ぎませんでした はな 話しませんでした ありませんでした	か 買わなかった ま 待たなかった かえ 帰らなかった よ 読まなかった あそ 遊ばなかった か 書かなかった いそ 急がなかった はな 話さなかった なかった
動詞 II	み 見ました い いました た 食べました ね 寝ました	み 見た いた 食べた ね 寝た	み 見ませんでした い いませんでした た 食べませんでした ね 寝ませんでした	み 見なかった い いなかった た 食べなかった ね 寝なかった
動詞 III	し しました き 来ました	し した き 来た	し しませんでした き 来ませんでした	し しなかった こ 来なかった

II. \_\_\_\_\_ た ことが あります (過去の経験)

トムヤンクンは <sup>ゆうめい</sup>有名な <sup>りょうり</sup>タイ料理です。 <sup>た</sup>食べた ことが あります  
が、とても おいしかったです。

かぶきを <sup>み</sup>見た ことが あります。

<sup>ちゅうごくご</sup>中国語を <sup>べんきょう</sup>勉強した ことが あります。

オペラを <sup>み</sup>見に <sup>い</sup>行った ことが あります。

練習問題

I. 普通体の過去形に変えてください。

例. <sup>い</sup>行きます → <sup>い</sup>行った <sup>い</sup>行かなかった

① <sup>か</sup>変わります →

② <sup>かえ</sup>帰ります →

③ いいです →

④ <sup>ところ</sup>きれいな 所です →

⑤ しました →

⑥ <sup>あ</sup>会いました →

⑦ おもしろいです →

⑧ <sup>げんき</sup>元気です →

⑨ あります →

⑩ <sup>た</sup>食べます →

⑪ <sup>の</sup>飲みます →

⑫ います →

II. ( )の中のことばを適当な形に変えてください。

例. スミスさんは きょうは (休みます→ 休む) と 言っていました。

- ① 山田さんは 10時ごろ (来ます→ ) と 言っていました。
- ② 林さんは 電話で かぜを (ひきました→ ) と 言っていました。
- ③ テレビで メキシコで 地震が (ありました→ ) と 言っていました。
- ④ さっき アナウンスで 次の 電車は 10分ぐらい (遅れます→ ) と 言っていました。
- ⑤ 田中さんが あの 映画は とても (よかったです→ ) と 言っていました。
- ⑥ 日本の 小説を (読みました→ ) ことがありますか。
- ⑦ 中国の お茶を (飲みました→ ) ことがありますか。

III. 文を作ってください。

例. きょう やまだ 山田さんから 電話が あって、 先週 引っ越しをした と 言っていました。

- ① この あいだ 国の 友だちから 電話が あって、  
\_\_\_\_\_ と 言っていました。
- ② この あいだ 私は 国の 母に 電話を かけて  
\_\_\_\_\_ と 話しました。
- ③ この あいだ 友だちから \_\_\_\_\_  
と 聞きました。

IV. 下の文を読んで 質問に答えてください。

しゃぶしゃぶを <sup>た</sup>食べた ことが ありますか。 <sup>わたし</sup>私は <sup>まだ</sup>まだ <sup>た</sup>食べた  
ことが ありません。 <sup>あに</sup>兄は <sup>せんしゅう</sup>先週 <sup>た</sup>食べに <sup>い</sup>行って、とても おいしか  
ったと <sup>い</sup>言っていました。 <sup>ぎゅうにく</sup>牛肉の <sup>うすぎ</sup>薄切りを <sup>ねっとう</sup>熱湯の <sup>なか</sup>中に <sup>びょう</sup>10秒  
ぐらい <sup>い</sup>入れて、たれを つけて <sup>た</sup>食べると <sup>き</sup>聞きました。 <sup>に</sup>日本の  
<sup>だいひょうてき</sup>代表的な <sup>りょうり</sup>料理ですから、1度 <sup>ど</sup> <sup>た</sup>食べてみたいと <sup>おも</sup>思っています。

1. この <sup>ひと</sup>人は <sup>た</sup>しゃぶしゃぶを <sup>た</sup>食べたことが ありますか。
2. <sup>た</sup>しゃぶしゃぶは どうやって <sup>た</sup>食べますか。

## 1 5 課

### I. \_\_\_\_\_ んです (1) (事情を説明する)

A: きょう <sup>はや</sup>早く <sup>かえ</sup>帰っても いいでしょうか。

B: あ、そうですか。

A: ちょっと <sup>あたま</sup>頭が <sup>いた</sup>痛いんです。

<sup>きぶん</sup>気分が <sup>わる</sup>悪いんです。

<sup>かない</sup>家内が <sup>びょうき</sup>病気なんです。 (← <sup>びょうき</sup>病気です)

ちょっと <sup>ようじ</sup>用事が <sup>ある</sup>あります。

A: きょう <sup>やす</sup>お休みでしたね。

B: ええ、<sup>あたま</sup>頭が <sup>いた</sup>痛かったんです。

<sup>きぶん</sup>気分が <sup>わる</sup>悪かったんです。

<sup>おおさか</sup>大阪に <sup>しゅっちょう</sup>出張だったんです。

<sup>ねつ</sup>熱が <sup>あった</sup>あったんです。

### II. \_\_\_\_\_ んです (2) (詳細を尋ねる 詳細を説明する)

A: あしたから <sup>りょこう</sup>旅行に <sup>い</sup>行くので <sup>やす</sup>休みますけど、よろしく。

B: あ、そうですか。どこへ <sup>い</sup>行くんですか。

A: <sup>にっこう</sup>日光へ <sup>い</sup>行くんです。

A: <sup>なんにち</sup>何日 <sup>い</sup>行くんですか。 B: <sup>しゅうかん</sup>1週間なんです。

A: どこに <sup>と</sup>泊まるんですか。 B: <sup>にっこう</sup>日光ホテルに <sup>と</sup>泊まるんです。

A: <sup>でんし</sup>電車で <sup>い</sup>行くんですか。 B: ええ、そうです。



III. \_\_\_\_\_ なんです (3) (感想・印象・情報を詠嘆を込めて相手に伝える)

A: <sup>に</sup> <sup>ほんご</sup> 日本語、<sup>じょうず</sup> 上手に なりましたか。

B: <sup>まいにち</sup> 毎日 <sup>べんきょう</sup> 勉強していますけど、<sup>ぜんぜん</sup> 全然 <sup>じょうず</sup> 上手に ならないんです。

A: <sup>しごと</sup> お仕事、どうですか。

B: <sup>ごろ</sup> この頃 <sup>いそが</sup> とても 忙しいんです。

A: <sup>しごと</sup> お仕事、どうですか。

B: <sup>まいばん</sup> 毎晩 <sup>おそ</sup> 遅いので <sup>ほんとう</sup> 本当に たいへんなんです。

A: <sup>いま</sup> 今の <sup>かいしゃ</sup> 会社は どうですか。

B: <sup>まいにち</sup> 毎日 <sup>じ</sup> 9時ごろまで <sup>ざんぎょう</sup> 残業が あるんです。

IV. \_\_\_\_\_ んですが、\_\_\_\_\_ (事情を説明して、指示を求める・許可を求める・情報を求める)

A: すみません。きょう ちょっと <sup>はや</sup> 早く <sup>かえ</sup> 帰りたいんですが、  
よろしいでしょうか。

B: ああ、そうですか。いいですよ。どうぞ。

<sup>ぎんこう</sup>〈銀行で〉 <sup>つく</sup> キャッシュカードを 作りたいんですが。

<sup>ゆうびんきょく</sup>〈郵便局で〉 この <sup>に もつ</sup> 荷物を <sup>ちゅうごく</sup> 中国へ <sup>おく</sup> 送りたいんですが。

ちょっと <sup>ようじ</sup> 用事が あるんですが、きょうは <sup>はや</sup> 早く <sup>かえ</sup> 帰っても いいで  
しょうか。

<sup>あたま</sup> 頭が <sup>いた</sup> 痛いんですが、きょうは <sup>はや</sup> 早く <sup>かえ</sup> 帰っても いいで  
しょうか。

あした <sup>やす</sup> 休みたいんですが、よろしいでしょうか。

に ほんご      じ しょ      か      じ しょ      し  
日本語の 辞書を 買いたいです、いい 辞書を 知っていますか。  
おすしを      た      い      や  
食べに 行きたいんですが、おいしい すし屋、ありませんか。

## 練習問題

I. (      ) の中のことばを適当な形に変えてください。

例. これを アメリカへ (送りたいです→ 送りたい      ) んですが。

① A: 元気が ありませんね。 どう (しました→      ) んですか。

B: ちょっと おなか (いた      ) なんです。

② A: すみません、おそく  な  って。

B: いいえ。

A: バスが なかなか (来ませんでした→      ) んです。

③ A: きのは お休みでしたね。

B: ええ、熱が (ありました→      ) なんです。

④ A: 土曜日に うちで パーティーを (します→      ) んですが、  
スミスさんも 来ませんか。

B: あ、そうですか。 じゃあ、よろこんで。

⑤ A: キムさんは 今 どこに (住んでいます→      ) んですか。

B: 行徳です。

A: 行徳。 ここまで どうやって (来ます→      ) んですか。

B: 市川まで バスです。 市川から (総武線で→      )

んですけど、バスが 少ないので ちょっと (たいへん→      ) なんです。

⑥ A: <sup>にほんご</sup>日本語が <sup>じょうず</sup>上手ですね。 <sup>がっこう</sup>学校で <sup>べんきょう</sup>(勉強しています→  
 んですか。

B: ええ。

A: <sup>まいにち</sup>毎日ですか。

B: ええ。 <sup>しごと</sup>仕事も <sup>いそが</sup>ありますから とても (忙しいです→  
 んですけど、 <sup>はや</sup>早く <sup>じょうず</sup>上手に なりたいので。

## II. やりたいこと、ほしいものがあります。それについて情報を集めてください。



例. ビデオカメラを <sup>か</sup>買いたいんですが、どこか <sup>やす</sup>安い <sup>みせ</sup>店を  
<sup>し</sup>知っていますか。



①

北海道



②



③

## III. 文を作ってください。

① A: <sup>げんき</sup>元気がありませんね。 どうしたんですか。

B: \_\_\_\_\_ んです。

② A: すみません、<sup>おそ</sup>遅くなって。

B: いいえ。 でも、どうしたんですか。

A: \_\_\_\_\_ んです。

IV. 下の文を読んで 質問に答えてください。

ちん  
陳： に ほんご じょうず になりましたか。

リー： いいえ、なかなか じょうず ならないんです。

ちん  
陳： そうですか。

リー： に ほんご かいわ ほん か 買いたいたんですが、いい ほん し 知っていますか。

ちん  
陳： ええ。に ほんご はな ほん 本なんです、いいですよ。

リー： ちん その ほん つか 使ったんですか。

ちん  
陳： ええ、きょねん こんど も 持ってきますよ。

1. リーさんの に ほんご べんきょう 勉強は うまく いっていますか。

2. リーさんは いま なに 何か ほしいですか。

## 1 6 課

### I. \_\_\_\_\_ た ほうが いいです / \_\_\_\_\_ ない ほうが いいです (忠告)

A: かぜを ひいて <sup>あたま</sup>頭が <sup>いた</sup>痛いんです。

B: そうですか。じゃあ、うちへ <sup>かえ</sup>帰った ほうが いいですよ。

<sup>びょうき</sup>病気の ときは <sup>びょういん</sup>病院へ <sup>い</sup>行った ほうが いいです。

<sup>ねつ</sup>熱が ある ときは <sup>しごと</sup>仕事を <sup>やす</sup>休んだ ほうが いいです。

<sup>にほん</sup>日本の サリ-マ-は もっと <sup>やす</sup>休みを とった ほうが いいです。

<sup>つか</sup>疲れている ときは <sup>むり</sup>無理を <sup>しな</sup>しない ほうが いいです。

のどが <sup>いた</sup>痛い ときは <sup>おお</sup>大きい <sup>こえ</sup>声を <sup>だ</sup>出さない ほうが いいです。

<sup>にほんご</sup>日本語の <sup>じゅぎょう</sup>授業では <sup>じぶん</sup>自分の <sup>くに</sup>国の <sup>ことば</sup>ことばを <sup>つか</sup>使わない ほうが いいとおもいます。

### II. \_\_\_\_\_ ば いいですか (指示を求める)

A: あのう、あしたの <sup>めんせつ</sup>面接の <sup>なんじ</sup>ことですが、何時ごろ そちらへ <sup>い</sup>行けば いいでしょうか。

B: 1時に <sup>き</sup>来てください。

どこへ <sup>い</sup>行けば いいですか。

どんな <sup>はな</sup>ことを <sup>はな</sup>話せば いいですか。

レポートは どのぐらい <sup>か</sup>書けば いいでしょうか。

《ば形》

	辞書形	— ば形
I	<sup>か</sup> 買う	<sup>か</sup> 買えば
	<sup>い</sup> 行く	<sup>い</sup> 行けば
	<sup>はな</sup> 話す	<sup>はな</sup> 話せば
	<sup>ま</sup> 待つ	<sup>ま</sup> 待てば
	<sup>よ</sup> 読む	<sup>よ</sup> 読めば
	<sup>かえ</sup> 帰る	<sup>かえ</sup> 帰れば

	辞書形	— ば形
II	<sup>た</sup> 食べる	<sup>た</sup> 食べれば
	おぼえる	おぼえれば
	<sup>み</sup> 見る	<sup>み</sup> 見れば
	<sup>き</sup> 着る	<sup>き</sup> 着れば
III	する	すれば
	<sup>く</sup> 来る	<sup>く</sup> 来れば

III. \_\_\_\_\_ ば いいです (この方法は簡単な、一番いい方法だという気持ちで言う)

A: この <sup>はんばいき</sup>販売機、どう すれば いいんですか。

B: ここに <sup>かね</sup>お金を <sup>い</sup>入れて、この ボタンを <sup>お</sup>押せば いいですよ。

A: <sup>あきは ばら</sup>秋葉原から <sup>しんこ いわ</sup>新小岩へ <sup>い</sup>行く ときは どうすれば いいんですか。

B: <sup>そうぶ せん</sup>総武線の <sup>ち ばい</sup>千葉行きに <sup>の</sup>乗れば いいですよ。

A: これ、おいしいですね。 <sup>つく かた</sup>作り方は むずかしいんですか。

B: いいえ、<sup>や さい</sup>野菜を <sup>に</sup>煮て、<sup>しょうゆ</sup>しょうゆと <sup>さとう</sup>砂糖を <sup>い</sup>入れれば いいですよ。

A: <sup>はやし</sup>林さん、<sup>よ やく</sup>ホテルの 予約を したいんですが、どうすれば いいんですか。

B: <sup>でんわ</sup>電話を すれば いいですよ。

IV. \_\_\_\_\_ と いいです (推薦する)

<sup>せんしゅう ふ じ さん</sup>先週 富士山に <sup>のぼ</sup>登りました。とても いい <sup>けいけん</sup>経験でした。みなさん  
も <sup>いちど</sup>1度 <sup>のぼ</sup>登ると いいですよ。

<sup>に</sup> <sup>ほん</sup> 日本<sup>の</sup> <sup>い</sup> <sup>なか</sup> を <sup>りょこう</sup> 旅行<sup>する</sup> <sup>とき</sup> <sup>は</sup> <sup>みんしゅく</sup> 民宿<sup>に</sup> <sup>と</sup> 泊<sup>まる</sup> <sup>ど</sup> <sup>いい</sup> <sup>です</sup>。  
<sup>つか</sup> 疲<sup>れた</sup> <sup>とき</sup> <sup>は</sup> <sup>しず</sup> 静<sup>かな</sup> <sup>おんがく</sup> 音楽<sup>を</sup> <sup>き</sup> 聞<sup>く</sup> <sup>ど</sup> <sup>いい</sup> <sup>です</sup>。  
<sup>とも</sup> <sup>どうし</sup> 友<sup>だち</sup> <sup>かいわ</sup> 同<sup>士の</sup> <sup>べんきょう</sup> 会<sup>話</sup> <sup>を</sup> <sup>ひと</sup> 勉<sup>強</sup> <sup>した</sup> <sup>い</sup> <sup>ひと</sup> 人<sup>は</sup> <sup>まんが</sup> ま<sup>んが</sup> <sup>を</sup> <sup>よ</sup> 読<sup>む</sup> <sup>ど</sup> <sup>いい</sup> <sup>です</sup>。  
<sup>ちゅうごく</sup> <sup>い</sup> <sup>ひと</sup> 中<sup>国</sup> <sup>へ</sup> 行<sup>く</sup> <sup>ひと</sup> 人<sup>は</sup> <sup>けいりん</sup> 桂<sup>林</sup> <sup>へ</sup> <sup>い</sup> 行<sup>く</sup> <sup>ど</sup> <sup>いい</sup> <sup>です</sup>。

A: <sup>らいげつ</sup> 来<sup>月</sup> <sup>ちゅうごく</sup> 中<sup>国</sup> <sup>へ</sup> <sup>い</sup> 行<sup>く</sup> <sup>ん</sup> <sup>で</sup> <sup>す</sup> <sup>が</sup> <sup>ど</sup> <sup>こ</sup> <sup>か</sup> <sup>け</sup> <sup>しき</sup> 景<sup>色</sup> <sup>の</sup> <sup>きれ</sup> <sup>い</sup> <sup>な</sup> <sup>ところ</sup> 所<sup>、</sup>  
 あり<sup>ます</sup> <sup>か</sup>。

B: <sup>けいりん</sup> 桂<sup>林</sup> <sup>へ</sup> <sup>い</sup> 行<sup>く</sup> <sup>ど</sup> <sup>いい</sup> <sup>です</sup> <sup>よ</sup>。

## 練習問題

### I. — ば形に変えてください。

例. <sup>い</sup> 行<sup>く</sup> → <sup>い</sup> 行<sup>けば</sup>

- ① <sup>か</sup> 書<sup>く</sup> →
- ② <sup>の</sup> 飲<sup>む</sup> →
- ③ <sup>み</sup> 見<sup>る</sup> →
- ④ <sup>お</sup> 起<sup>きる</sup> →
- ⑤ や<sup>る</sup> →
- ⑥ <sup>やす</sup> 休<sup>む</sup> →
- ⑦ <sup>つか</sup> 使<sup>う</sup> →
- ⑧ <sup>べんきょう</sup> 勉<sup>強</sup> <sup>する</sup> →
- ⑨ <sup>く</sup> 来<sup>る</sup> →
- ⑩ <sup>き</sup> 着<sup>る</sup> →

### II. 適当な形に変えてください。

例. <sup>で</sup> うち<sup>を</sup> 出<sup>る</sup> <sup>とき</sup> <sup>は</sup> <sup>いつ</sup> <sup>も</sup> <sup>か</sup> <sup>ぎ</sup> <sup>を</sup> ( <sup>か</sup> <sup>け</sup> <sup>る</sup> → <sup>か</sup> <sup>け</sup> <sup>た</sup> ) <sup>ほう</sup> <sup>が</sup>  
 いい<sup>です</sup>。

- ① かぜを ひいている ときは よく (寝る→ ) ほうが いいです。
- ② おなかの 調子が 悪い ときは あまり たくさん (食べる→ ) ほうが いいです。
- ③ 箱根では ロープウエーに (乗る→ ) と いいです。
- ④ 疲れやすい 人は 毎日 ビタミン剤を (飲む→ ) と いいですよ。
- ⑤ あしたの テストは やさしいですから、30分ぐらい (勉強する→ ) ば いいです。
- ⑥ あしたは 何時ごろ (来る→ ) ば いいですか。
- ⑦ 何線に (乗る→ ) ば いいんですか。

Ⅲ. 「— ほうが いい」、「— ば いい」、「— と いい」を使って文を完成してください。

例. 熱がある ときは お風呂に 入らない ほうが いいです。

- ① かぜを ひいた ときは \_\_\_\_\_
- ② 疲れた ときは \_\_\_\_\_
- ③ 日本語が 上手に になりたい 人は \_\_\_\_\_
- ④ 私の 国を 旅行する 人は \_\_\_\_\_

Ⅳ. あした会社の面接に行きます。会社に電話をかけて、会社への行き方、面接の時間、場所、面接する人の名前を聞いてください。

例. 会社への 行き方⇒ そちらへは どうやって 行けば いいでしょうか。

- ① 面接の 時間 ⇒ 何時に \_\_\_\_\_



② 面接の 場所 ⇒ どちらへ \_\_\_\_\_

③ 面接する 人の 名前 ⇒ どなたに \_\_\_\_\_

V. 下の文を読んで 質問に答えてください。

周： 先生、ちょっと よろしいでしょうか。

先生： はい。 何でしょう。

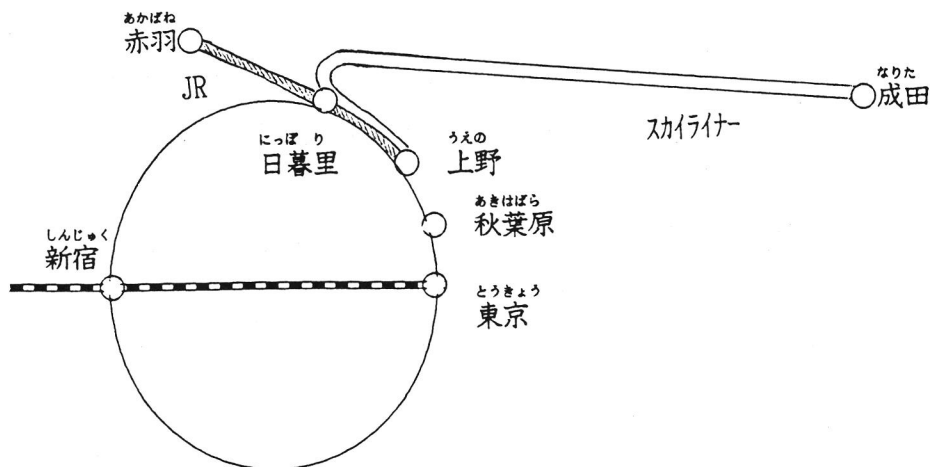
周： 来週の 日曜日に 韓国へ 行くんです。 それで 成田発  
12時の 飛行機に 乗るんですけど、何時ごろ 成田へ 行けば  
いいでしょうか。

先生： 2時間ぐらい前に 行った ほうが いいですよ。

周： じゃあ、10時ごろですね。 どう 行けば いいでしょうか。

先生： 行き方は いろいろ ありますが、周さんは スカイライナーで  
行くと いいと 思いますよ。 スカイライナーは 上野始発です  
けど、周さんの おたくは 赤羽ですから、日暮里から 乗れば  
いいんですよ。

1. 周さんは 何時に 成田へ 行きますか。 どうやって 行きますか。



## 17 課

### I. 可能

夏休みに 友だちと パリへ 行きます。でも わたしは フランス語が  
話せません。友だちは 学生の とき 勉強したので、少し 話せます。

主人は 1000m 以上 泳げます。私は 全然 泳げません。  
妹は 自転車に 乗れます。私は 乗れません。  
私は 来週の 旅行に 行けます。主人は 仕事があるので 行けません。  
キムさんは パーティーに 出られます。陳さんは 病気で 出られません。

スミスさんは ピアノが ひけます。← スミスさんは ピアノを ひきます。

グリーンさんは ケーキが 作れます。

ケリーさんは ワードプロセッサが 打てます。

### II. (い形容詞) く / (な形容詞) に (形容詞を副詞的に使う)

陳さんは 3か月前に 日本語の 勉強を 始めました。もう  
とても 上手に 話せます。

#### (1) (い形容詞) く

キムさんは 日本語の 読み物が 速く 読めます。  
周さんは 作文が 正しく 書けます。  
私は 日本語が なかなか うまく 話せません。

きのうは 熱が ありましたが きょうは よく なりました。(い→よく)

父は 毎朝 早く 起きます。

私は 土曜日は 遅く 起きます。

(2) (な形容詞) に

グリーンさんは <sup>に ほんご</sup> 日本語が <sup>じょうず</sup> 上手に 話せます。

わたしは <sup>かんじ</sup> 漢字が <sup>きれい</sup> きれいに 書けません。

陳さんは <sup>に ほんご</sup> 日本語が <sup>じょうず</sup> 上手に になりました。

周さんは <sup>じ</sup> 字を <sup>ていねい</sup> ていねいに 書きます。

《可能形》

	辞書形	可 能 形			
		普 通 体		－ます	
I	行く	行ける	行けない	行けます	行けません
	泳ぐ	泳げる	泳げない	泳げます	泳げません
	使う	使える	使えない	使えます	使えません
	話す	話せる	話せない	話せます	話せません
	打つ	打てる	打てない	打てます	打てません
	飲む	飲める	飲めない	飲めます	飲めません
	作る	作れる	作れない	作れます	作れません
II	見る	見られる	見られない	見られます	見られません
	起きる	起きられる	起きられない	起きられます	起きられません
	食べる	食べられる	食べられない	食べられます	食べられません
	出る	出られる	出られない	出られます	出られません
III	来る	来られる	来られない	来られます	来られません
	する	できる	できない	できます	できません

## 練習問題

### I. 可能形に変えてください。

例. <sup>の</sup>飲む → <sup>の</sup>飲める <sup>の</sup>飲めない <sup>の</sup>飲めます <sup>の</sup>飲めません

① <sup>よ</sup>読む →

② <sup>か</sup>書く →

③ <sup>み</sup>見る →

④ <sup>うた</sup>歌う →

⑤ する →

⑥ <sup>おど</sup>踊る →

⑦ <sup>ね</sup>寝る →

⑧ <sup>く</sup>来る →

⑨ <sup>つか</sup>使う →

⑩ <sup>うんでん</sup>運転する →

### II. ( )の中の ことばを 適当な形に 変えてください。

例. <sup>わたし</sup>私は <sup>に ほんご</sup>日本語が <sup>なかなか</sup>なかなか ( <sup>はや</sup>速い → <sup>はや</sup>速く ) ( <sup>はな</sup>話す → <sup>はな</sup>話せ ) ないんです。

① <sup>わたし</sup>私は <sup>あさ</sup>朝 ( <sup>はや</sup>早い → ) ( <sup>お</sup>起きる → ) ません。

② A: <sup>しゅう</sup>周さんは <sup>くるま</sup>車が ( <sup>うんでん</sup>運転する → ) ますか。

B: いいえ ( <sup>する</sup>する → ) ません。

③ ラटनाさんの <sup>しゅじん</sup>ご主人は <sup>に ほんご</sup>日本語の <sup>しんぶん</sup>新聞が ( <sup>よ</sup>読む → ) ます。

④ この <sup>ごろ</sup>頃 <sup>よる</sup>夜 よく ( <sup>ね</sup>寝る → ) ないんです。

⑤ この <sup>ぼうえんきょう</sup>望遠鏡は 100 <sup>えん</sup>円で 3 <sup>ぶんかん</sup>分間 ( <sup>み</sup>見る → ) ます。

⑥ <sup>むすこ</sup>息子は <sup>きょねん</sup>去年より 5 cm <sup>せ</sup>背が ( <sup>たか</sup>高い → ) になりました。

⑦ <sup>せんせい</sup>先生、もっと ( <sup>おお</sup>大きい → ) <sup>か</sup>書いてください。

- ⑧ <sup>し</sup>知らない <sup>ひと</sup>人と <sup>はな</sup>話す <sup>はな</sup>ときは (ていねいな→) <sup>はな</sup>話した <sup>ほうが</sup>ほうが  
いいです。

Ⅲ. ( ) にあてはまる語を入れてください。

例. <sup>やまだ</sup>山田さんは <sup>ちゅうごくご</sup>中国語 ( <sup>が</sup> ) <sup>はな</sup>話せますか。

- ① <sup>しゅう</sup>周さんは <sup>じ てんしゅ</sup>自転車 ( ) <sup>の</sup>乗れません。  
② <sup>はやし</sup>林さんは あしたの <sup>かいぎ</sup>会議 ( ) <sup>で</sup>出られますか。  
③ キムさんは <sup>にほんご</sup>日本語 ( ) <sup>て がみ</sup>手紙 ( ) <sup>か</sup>書けます。  
④ グエンさんは <sup>でんわ</sup>電話 ( ) レストランの <sup>よやく</sup>予約 ( ) <sup>で</sup>できますか。  
⑤ <sup>すずき</sup>鈴木さんは <sup>バイオリン</sup>バイオリン ( ) <sup>ひ</sup>ひけます。  
⑥ スミスさんは <sup>にほんりょうり</sup>日本料理 ( ) <sup>つく</sup>作れます。  
⑦ <sup>ちん</sup>陳さん、あしたの <sup>パーティー</sup>パーティー ( ) <sup>い</sup>行けますか。

Ⅳ. <sup>たかだ</sup>高田さんの会社はあした<sup>かいしゅ</sup>外国人の<sup>がいこくじん にゅうしゅしけん</sup>入社試験をします。高田さんは<sup>たかだ めんせつ しけん</sup>面接試験で  
<sup>がいこくじん にほんご のうりょく しつもん</sup>外国人に日本語の能力について<sup>しつもん</sup>質問します。どんな質問をしますか。

例. <sup>しんぶん</sup>新聞 ⇨ <sup>にほんご</sup>日本語の <sup>しんぶん</sup>新聞が <sup>よ</sup>読めますか。

- ① <sup>て がみ</sup>手紙 ⇨  
② <sup>でんわ</sup>電話 ⇨  
③ ワープロ ⇨  
④ <sup>しょうだん</sup>商談 ⇨

V. 下の文を読んで 質問に答えてください。

わたし か ない 私 も 家内 も スポーツ が す 好き です。 でも ふたり とく い 2 人 の 得意 な スポーツ  
は ちがいます。 わたし すい えい とく い 私は 水泳 が 得意 です。 たぶん 2000 メートル 以上  
およ 泳 げる だろ う と おも 思 い ます。 か ない りく うえ 家内 は 陸 の 上 の スポーツ は ほとん ど  
なん 何 で も でき ます が、 すい えい 水泳 は でき ませ ん。 こ ども 子 供 の と き あ ま り  
やら な か っ た か ら だ と い 言 っ て い ます。  
すい えい こ ども 水泳 は 子 供 の と き なら 習 っ た ほ う が い い と い 言 い ます。 い ま こ ども 今 は 子 供 の  
すい えい きょう しつ さ か 水泳 教 室 が 盛 ん で す か ら、 こ ども 子 供 た ち は み ん な じょうず 上 手 に な る で し ょ う。

1. この ひと おく 奥 さん は すい えい 水泳 が でき ます か。「私」は わたし すい えい 水泳 が でき ます か。
2. い ま こ ども 今 の 子 供 た ち は どう で す か。

## 1 8 課

### I. \_\_\_\_\_ の (文を名詞化する)

に ほんご 日本語は むずかしいです。特に とく でんわ 電話で はな 話すのは むずかしいです。

に ほんご 日本語で スピーチを するのは たいへんです。

しょくじ あと 食事の 後 すぐ うんどう 運動を するのは よくないです。

こども よる 子供が 夜 ひとりで がいしゅつ 外出するのは あぶないです。

わたし 私 ひとりで りょこう 旅行を するのが す 好きです。

わたし 私 いなかを サイクリングするのが す 好きです。

### II. \_\_\_\_\_ し \_\_\_\_\_ し (理由や根拠を複数言う)

に ほんご 日本語の べんきょう 勉強は たいへんです。 ぶんぽう 文法も むずかしいですし、 かんじ 漢字も むずかしいですし。

わたし いえ 私の 家は そばに スーパーが あるし、 えき 駅も ちか 近いし、 べんり 便利です。

た なか 田中さんの ご主人は いいですよ。 やさしいし、 ハンサムだし。

わたし とうきょう せいかつ 私の もう 東京の 生活に な 慣れました。 ひとりで どこでも

い 行けますし、 た もの なん 食べ物も 何でも た 食べられます。

### III. \_\_\_\_\_ て \_\_\_\_\_ (引き続いて起こる動作)

わたし あさ お 私は 朝 起きて、 かお あら 顔を 洗って、 ちようしょく た 朝食を 食べます。

きのう しんじゅく い えいが み きのう 新宿へ 行って 映画を 見ました。

ぶ ちょう へ や はい 部長は 部屋に 入って ソファに すわって はなし はじ 話を 始めました。

きのう はは て がみ か ゆうびんきょく い だ きのう 母に 手紙を 書いて、 郵便局へ 行って、 出しました。

IV. \_\_\_\_\_ て \_\_\_\_\_ (原因・理由)

きょうは かぜを ひいて <sup>すこ</sup>少し <sup>ねつ</sup>熱が あります。

きのう ビールを <sup>の</sup>飲みすぎて きょうは <sup>きぶん</sup>気分が <sup>わる</sup>悪いです。

<sup>た なか</sup>田中さんが <sup>かいしゃ</sup>会社を <sup>や</sup>辞めたと <sup>き</sup>聞いて おどろきました。

<sup>だいがく</sup>大学の <sup>にゅうがくしけん</sup>入学試験に <sup>ごうかく</sup>合格できて とても うれしいです。

<sup>おそ</sup>遅くなって すみません。

<sup>にほんご</sup>日本語が <sup>わからなくて</sup>わからなくて <sup>こま</sup>困りました。

この スープは <sup>あつ</sup>熱くて <sup>の</sup>飲めません。

V. \_\_\_\_\_ て \_\_\_\_\_

(1) 付帯状況

<sup>もりせんせい</sup>森先生は <sup>じゅぎょう</sup>すわって <sup>はやしせんせい</sup>授業を <sup>た</sup>しますが、林先生は <sup>じゅぎょう</sup>立って <sup>た</sup>授業を <sup>します</sup>します。

<sup>わたし</sup>私は <sup>よこ</sup>ときどき ソファーに <sup>ほん</sup>横に <sup>よみます</sup>なって <sup>よみます</sup>本を <sup>よみます</sup>よみます。

<sup>わたし</sup>私は <sup>まど</sup>よく <sup>し</sup>窓を <sup>うた</sup>閉めて <sup>うた</sup>歌を <sup>うた</sup>歌います。

(2) 並列

<sup>た なか</sup>田中さんは <sup>くろ</sup>黒い <sup>ぼうし</sup>ぼうしを <sup>かぶって</sup>かぶって <sup>サングラス</sup>サングラスを <sup>しています</sup>しています。

<sup>た なか</sup>田中さんは <sup>くろ</sup>黒い <sup>ぼうし</sup>ぼうしを <sup>かぶって</sup>かぶって <sup>いて</sup>いて、 <sup>すずき</sup>鈴木さんは <sup>しろ</sup>白い <sup>ぼうし</sup>ぼうしを <sup>かぶっています</sup>かぶっています。

<sup>わたし</sup>私の <sup>いえ</sup>家は <sup>はは</sup>母が <sup>そと</sup>外で <sup>しごと</sup>仕事を <sup>して</sup>して、 <sup>ちち</sup>父が <sup>いえ</sup>家で <sup>しごと</sup>仕事を <sup>しています</sup>しています。

<sup>あに</sup>兄は <sup>じ どうしゃがいしゃ</sup>自動車会社に <sup>つと</sup>勤めていて、 <sup>おとうと</sup>弟は <sup>だいがく</sup>大学に <sup>い</sup>行っています。



## 練習問題

### I. 例にならって文を一つにしてください。

例. 毎日<sup>まいにち</sup> 予習<sup>よしゅう</sup>を する。これは むずかしいです。

→ 毎日<sup>まいにち</sup> 予習<sup>よしゅう</sup>を するのは むずかしいです。

① 野球<sup>やきゅう</sup>を 見る<sup>み</sup>。これが 好き<sup>す</sup>です。

② 野菜<sup>やさい</sup>を 食べる<sup>た</sup>。これは 健康<sup>けんこう</sup>に よくないです。  
→

③ 経験者<sup>けいけんしゃ</sup>の 話<sup>はなし</sup>を 聞く<sup>き</sup>。これは おもしろいです。  
→

④ 電車<sup>でんしゃ</sup>の 中<sup>なか</sup>で 本<sup>ほん</sup>を 読む<sup>よ</sup>。これは 目<sup>め</sup>に よくないです。  
→

⑤ 人<sup>ひと</sup>と 同<sup>おな</sup>じ ことを する。これは かんたんです。  
→

⑥ 自分<sup>じぶん</sup>で 新<sup>あた</sup>しい ことを 考<sup>かんが</sup>える。これは むずかしいです。  
→

### II. 「し」を使って理由を二つ言ってください。

例. きょうの Mキグは やめましよう。雨<sup>あめ</sup>が 降<sup>ふ</sup>りそうです。風<sup>かぜ</sup>も 強<sup>つよ</sup>いです。

→ きょうの Mキグは やめましよう。雨<sup>あめ</sup>が 降<sup>ふ</sup>りそうですし、風<sup>かぜ</sup>も 強<sup>つよ</sup>いです。

① 東京<sup>とうきょう</sup>は 住<sup>す</sup>みにくい 町<sup>まち</sup>です。物価<sup>ぶっか</sup>が 高<sup>たか</sup>いです。人<sup>ひと</sup>が 多<sup>おほ</sup>いです。  
→

② わたしは 東<sup>とう</sup>西<sup>さい</sup>大学<sup>だいがく</sup>へ 行<sup>い</sup>きたいです。有<sup>ゆう</sup>名<sup>めい</sup>な 大<sup>だい</sup>学<sup>がく</sup>です。経<sup>けい</sup>済<sup>ざい</sup>学<sup>がく</sup>の 先生<sup>せんせい</sup>が います。 →

- ③ <sup>に</sup>日本の<sup>けっこんしき</sup>結婚式は <sup>たいへん</sup>です。 <sup>かね</sup>お金が <sup>かか</sup>ります。 <sup>じゅんび</sup>準備に  
<sup>じ</sup>時間<sup>かん</sup>が <sup>かか</sup>ります。→

### Ⅲ. 「て形」を使って文を結んでください。

例. <sup>ぎんざ</sup>銀座へ <sup>い</sup>行きました。 <sup>かいもの</sup>買物を <sup>しま</sup>しました。

→ <sup>ぎんざ</sup>銀座へ <sup>い</sup>行って <sup>かいもの</sup>買物を <sup>しま</sup>しました。

- ① <sup>けさ</sup> <sup>ちゅうごく</sup>中国の <sup>じしん</sup>地震の <sup>み</sup>ニュースを <sup>み</sup>見ました。 <sup>びっくり</sup>しました。

<sup>くに</sup>国の <sup>はは</sup>母に <sup>でんわ</sup>電話を <sup>しま</sup>しました。→

- ② <sup>ち</sup>地下鉄の <sup>でぐち</sup>出口が <sup>わかり</sup>ませんでした。 <sup>えきいん</sup>駅員に <sup>き</sup>聞きました。

→

- ③ <sup>いちかわ</sup>市川から <sup>そうぶ</sup>総武線に <sup>の</sup>乗りました。 <sup>あきはばら</sup>秋葉原で <sup>やまのてせん</sup>山手線に <sup>の</sup>乗りかえました。

<sup>うえの</sup>上野で <sup>お</sup>降りました。→

- ④ <sup>ちち</sup>父は <sup>だいがく</sup>大学を <sup>で</sup>出ました。 <sup>すぐ</sup> <sup>しんぶんしゃ</sup>新聞社に <sup>はい</sup>入りました。 <sup>その</sup> <sup>かいしゃ</sup>会社で  
<sup>はは</sup>母と <sup>し</sup>知り合いました。→

- ⑤ <sup>あに</sup>兄は <sup>じ</sup>自動車会社に <sup>どうしがいし</sup>つとめています。 <sup>あね</sup>姉は <sup>びょういん</sup>病院で <sup>はたら</sup>働いています。

→

### Ⅳ. 文を完成させてください。

- ① <sup>とうきょう</sup>東京は \_\_\_\_\_ <sup>まち</sup>町です。

\_\_\_\_\_ し、 \_\_\_\_\_ し。

② わたしは \_\_\_\_\_ のが <sup>す</sup>好きです。

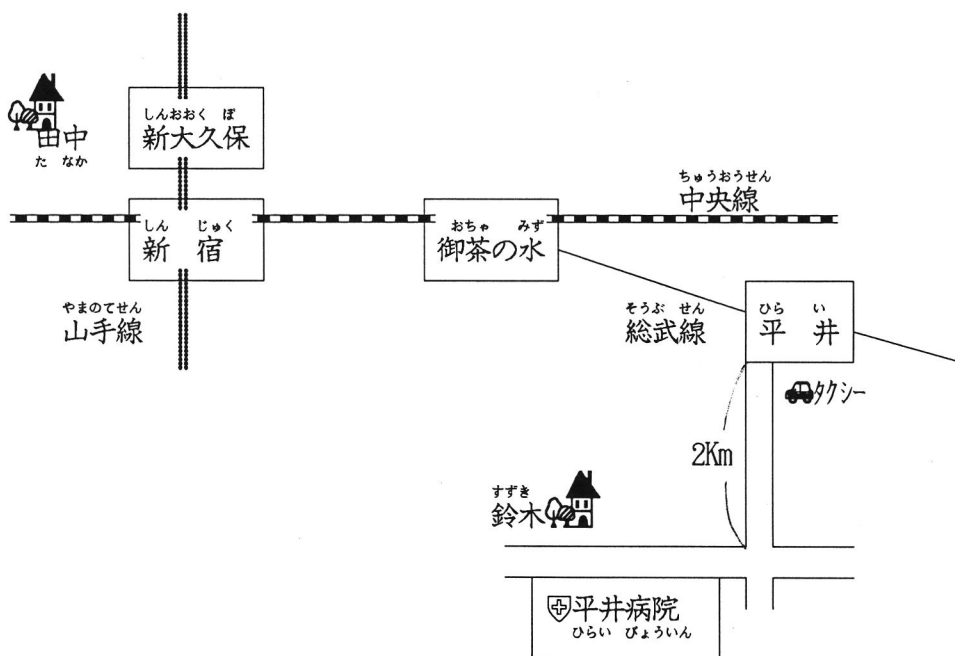
③ <sup>に ほんご</sup>日本語 \_\_\_\_\_ のは むずかしいです。

④ \_\_\_\_\_ て うれしいです。

⑤ \_\_\_\_\_ て <sup>こま</sup>困りました。

V. <sup>た なか</sup>田中さんは <sup>すずき</sup>きょう鈴木さんの <sup>いえ い</sup>家へ行きます。どう行きますか。

<sup>え み か</sup>絵を見て書いてください。



VI. 下の文を読んで 質問に答えてください。

わたし  
私は ひとりで いなかを 旅行するのが 好きです。 初めての 場所  
や 景色は とても 新鮮で、忙しい 都会の 生活を 忘れます。  
いなかには 人も 親切ですし、空気も きれいです。  
先週 日本で 初めて 旅行を しました。 電車で 相模湖駅まで  
行って、駅から バスに 乗って、相模湖ピクニックランドへ  
行きました。 人が 多くて 静かでは ありませんでしたが、 広かった  
し、山と 湖が あって、きれいでした。

1. どうして いなかを 旅行するのが 好きなのですか。

2. 先週の 旅行は どうでしたか。

## 1 9 課

I. \_\_\_\_\_ (よ) うと <sup>おも</sup> 思っています (話し手の意向)

<sup>がつ</sup> 8月10日から <sup>とおか</sup> 1週間 <sup>いっしゅうかん</sup> 夏休みです。 <sup>わたし</sup> 私は <sup>ほっかいどう</sup> 北海道へ <sup>い</sup> 行こうと <sup>おも</sup> 思っています。

あしたは うちで <sup>ほん</sup> 本を <sup>よ</sup> 読もうと <sup>おも</sup> 思っています。  
<sup>にちようび</sup> 日曜日は <sup>せんたく</sup> せんたくを <sup>し</sup> しょうと <sup>おも</sup> 思っています。  
<sup>ふゆやす</sup> 冬休みは <sup>くに</sup> 国へ <sup>かえ</sup> 帰ろうと <sup>おも</sup> 思っています。

### 《意向形》

	辞書形	意向形		辞書形	意向形
I	<sup>い</sup> 行く	<sup>い</sup> 行こう	II	<sup>み</sup> 見る	<sup>み</sup> 見よう
	<sup>およ</sup> 泳ぐ	<sup>およ</sup> 泳ごう		<sup>いる</sup> いる	<sup>い</sup> いよう
	<sup>か</sup> 買う	<sup>か</sup> 買おう		<sup>お</sup> 起きる	<sup>お</sup> 起きよう
	<sup>はな</sup> 話す	<sup>はな</sup> 話そう		<sup>た</sup> 食べる	<sup>た</sup> 食べよう
	<sup>ま</sup> 待つ	<sup>ま</sup> 待とう		<sup>で</sup> 出る	<sup>で</sup> 出よう
	<sup>よ</sup> 読む	<sup>よ</sup> 読もう		<sup>おぼえる</sup> おぼえる	<sup>おぼえ</sup> よう
	<sup>つく</sup> 作る	<sup>つく</sup> 作ろう	III	<sup>する</sup> する	<sup>し</sup> しょう
	<sup>かえ</sup> 帰る	<sup>かえ</sup> 帰ろう		<sup>く</sup> 来る	<sup>こ</sup> 来よう

II. \_\_\_\_\_ つもりです (心算)

<sup>わたし</sup> 私たちは あした <sup>い</sup> ピクニックに 行く つもりです。 <sup>でも</sup> <sup>てんき</sup> 天気予報 <sup>よ</sup> <sup>ほう</sup> は <sup>あめ</sup> 雨が <sup>ふ</sup> 降るだろうと <sup>い</sup> 言っています。

わたし 私は いま かいしや 今の 会社を 辞める つもりです。  
 わたし 私は らいげつ くに へ 帰って しごと さが 仕事を 探す つもりです。  
 いもうと 妹は しょうらい 将来 ピアニストに なる つもりなんです。  
 まいにち 毎日 まいにち れんしゅう 練習しています。

### III. 予定です (予定)

あたらしい 新しい ちかてつ 地下鉄の こうじ 工事が せんげつ 先月 はじ 始まりました。 らいねん 来年の がつ 10月に  
 できあがる 予定です。

ちん 陳さんは がつむいか 9月6日に あか 赤ちゃんが う 生まれる 予定です。  
 この がっこう 学校は がつ 10月12日に にち うんどうかい 運動会を やる 予定です。  
 わたし 私 は がつ 12月20日に へ 帰る 予定です。

### IV. かも知れません (可能性)

たいふう 台風10号は ごう 今 いま きゅうしゅう 九州の みなみ 南の ほう 方に います。 こんど 今度の しゅうまつごろ 週末頃  
 かんとう 関東地方へ くるかも知れません。

#### (1) 動詞 + かも知れません

スミスさんは きょう がっこう 学校へ こ 来ないかも知れません。  
 しゅう 周さんは うた 歌が じょうず 上手だから か しゅ 歌手に になれるかも知れません。  
 あしたは ごぜんちゅう 午前中 にゅうかん 入管へ い 行くので 1時に こ 来られないかも知れません。

#### (2) 形容詞 + かも知れません

あしたは てんき 天気か わる 悪いかも知れません。

来週は <sup>いそが</sup>あまり忙しくないかも しれません。

らいげつ  
来月は

しごと  
仕事は

たいへんかも しれません。

来週は <sup>らいしゅう</sup> 仕事 <sup>しごと</sup> が あまり たいへんでは ないかも しれません。

(3) 名詞 + かも しれません

鈴木さんは まだ 独身かも しれません。

あしたは いい <sup>てんき</sup> 天気では ないかも しれません。

## 練習問題

I. 意向形に変えてください。

例. 行く<sup>い</sup> → 行こう<sup>い</sup>

- |       |         |
|-------|---------|
| ① 買う→ | ⑧ 作る→   |
| ② 書く→ | ⑨ 乗る→   |
| ③ 話す→ | ⑩ 寝る→   |
| ④ 勝つ→ | ⑪ 出かける→ |
| ⑤ 急ぐ→ | ⑫ 帰る→   |
| ⑥ 飲む→ | ⑬ 来る→   |
| ⑦ 遊ぶ→ | ⑭ する→   |

II. 適切な方を選んでください。

- ① あしたは <sup>にちようび</sup> 日曜日です。 わたしは <sup>とも</sup> 友だちの <sup>あそ</sup> うちへ 遊びに  
 { (a) <sup>い</sup> 行く と <sup>おも</sup> と思っています。  
 (b) <sup>い</sup> 行こう

② 田中さんは 6時ごろ { (a) 来る (b) 来よう } と 思います。

③ 私は きのうの 午後は 図書館で 勉強 { (a) する (b) しよう } と 思います

### Ⅲ. 適当な形に変えてください。

例. きょう 田中さんは 学校へ (来ません→ 来ない) かもしれません。

① 日曜日は 家で (勉強します→ ) つもりですけど、  
友だちが 遊びに (来ます→ ) かもしれないので、  
(勉強できません→ ) かもしれません。

② 7月に 近くに デパートが (できます→ ) 予定なので、  
にぎやかに (なります→ ) かもしれません。

③ あのひと、先生の (奥さんです→ ) かもしれません。

④ 今度の 土曜日は どこへも (出かけません→ ) つもりです。

⑤ 来週の 月曜日に (引っ越しします→ ) 予定です。

⑥ 駅から 私の うちまでは バスが いちばん (便利です→ )  
かもしれません。

### Ⅳ. 「予定です」か「つもりです」か「かも しれません」を入れてください。

例. 飛行機は 10時に 出発する (予定です )。

① あしたは 雨が 降る ( )。

② 新しいデパートが 来月の 1日に オープンする ( )。

③ 陳さんは わたしの 電話番号を 知らない ( )。



- ④ スミスさんは フランス語が<sup>ご</sup>話せる<sup>はな</sup>（ ）。
- ⑤ 来月は 仕事<sup>しごと</sup>が<sup>らいげつ</sup>たいへん（ ）。
- ⑥ ゴールデンウィークは 九州<sup>きゅうしゅう</sup>へ 行く<sup>い</sup>（ ）が、飛行機<sup>ひこうき</sup>の切符<sup>きっぷ</sup>は もう どれない（ ）。
- ⑦ A: 来月の 田中<sup>たなか</sup>さんの 結婚式<sup>けっこんしき</sup>に 出<sup>で</sup>ますか。  
 B: 出<sup>で</sup>る（ ）けど、来月<sup>らいげつ</sup> 大阪<sup>おおさか</sup>へ 出張<sup>しゅっちょう</sup>する（ ）  
 ) ので、まだ よく わからないんです。

V. 下の文を読んで 質問に答えてください。

来月<sup>らいげつ</sup>の 2日<sup>ふつか</sup>に 国<sup>くに</sup>から 友達<sup>ともだち</sup>が 来<sup>く</sup>る 予定<sup>よてい</sup>です。私<sup>わたし</sup>は 成田<sup>なりた</sup>まで 迎<sup>むか</sup>えに 行く<sup>い</sup> つもりです。でも 私<sup>わたし</sup>の 国<sup>くに</sup>の 飛行機<sup>ひこうき</sup>は よく 遅<sup>おく</sup>れますし、成田<sup>なりた</sup>空港<sup>くうこう</sup>は いつも 混<sup>こ</sup>んでいますから、うまく 会<sup>あ</sup>えないかも しれません。とても 心配<sup>しんぱい</sup>ですから、私<sup>わたし</sup>は 友達<sup>ともだち</sup>の 名前<sup>なまえ</sup>を 大き<sup>おお</sup>く 書<sup>か</sup>いた 紙<sup>かみ</sup>を 持<sup>も</sup>っていこうと 思<sup>おも</sup>っています。

- この 人<sup>ひと</sup>は どんな 事<sup>こと</sup>を 心配<sup>しんぱい</sup>していますか。
- 成田<sup>なりた</sup>空港<sup>くうこう</sup>へ 何<sup>なに</sup>を 持<sup>も</sup>っていきますか。

## 20 課

### I. \_\_\_\_\_ ながら (一人の人が同時にする二つの動作)

わたし あさ いそが しんぶん よ ちようしょく た  
私は 朝 忙しいので 新聞を 読みながら 朝食を 食べます。

わたし まいばん の み  
私は 毎晩 ウィスキーを 飲みながら テレビを 見ます。

わたし うた うた  
私は よく 歌を 歌いながら そうじを します。

わたし き くるま うんてん  
私は いつも ラジオを 聞きながら 車を 運転します。

リーさんは レストランでアルバイトを しながら に ほんご べんきよう  
日本語を 勉強しています。

### II. \_\_\_\_\_ た まま (普通ではない状態)

わたし ね  
私は きのうの 晩 窓を 開けたまま 寝ました。

わたし ね  
私は きのう テレビを つけたまま 寝ました。

わたし まど あ がいしゅつ  
私は ときどき 窓を 開けたまま 外出します。

わたし しごと で  
私は よく ふとんを しいたまま 仕事に 出かけます。

### III. \_\_\_\_\_ 間に (期間中のある時)

わたし らいねん くに かえ よ てい に ほん あいだ いちど  
私は 来年 国へ 帰る 予定です。 日本に いる 間に、1度  
ふじさん のぼ おも  
富士山に 登りたいと 思っています。

わたし ね あいだ しゅじん かえ  
私が 寝ている 間に 主人が 帰ってきました。

ははおや みせ かいもの あいだ こ  
母親が 店で 買物を している 間に 子どもが いなくなりました。

わたし がっこう べんきよう あいだ に ほんご のうりょくしけん ごうかく  
私は この 学校で 勉強している間に 日本語能力試験に 合格しました。

IV. 間 (期間中ずっと)

わたし こ 私は 子どもと いっしょに デパートへ 行きました。 わたし かいもの 私か 買物を している 間、子どもは おもちゃ売り場で 遊んでいました。

ブラウンさんは に ほん 日本に あいだ いる 間、ずっと い 生け花を なら 習っていました。  
林さんは はやし かぶきを やっている あいだ 間、ずっと ね 寝ていました。  
しゅじん ご主人か あ ゴルフを している あいだ 間、奥さんは おく テニスを していました。

V. まえ 前に (何か行為をする前)

わたし げつまえ に ほん き 私は 2か月前に 日本へ 来ました。 に ほん 日本へ く 来る まえ くに 前に 国で げつ 3か月 に ほんご 日本語を べんきょう 勉強しました。

わたし に ほん く 私は 日本へ 来る まえ 前に テレビで よく に ほん 日本 ばんぐみ の 番組を み 見ました。  
スミスさんは た 食べる まえ 前に いつも いの お祈りを します。  
くに 国へ かえ 帰る まえ 前に もう 1度 ど 先生に あ 会いたいです。

練習問題

I. 「ながら」を使ってひとつの文にしてください。

例. おんがく 音楽を き 聞く / ほん 本を よ 読む → おんがく 音楽を き 聞きながら ほん 本を よ 読みます。

① たばこ を す 吸う / くるま 車を うんてん 運転する →

② ほん 本を み 見る / りょうり 料理を する する →

③ うた 歌を うた 歌う / せんたく 物を ほ 干す →

④ さけ お酒を の 飲む / たばこ を す 吸う →

- ⑤ 話を<sup>はなし</sup>する / 食べる<sup>た</sup> →
- ⑥ 日本語を<sup>にほんご</sup>勉強する<sup>べんきょう</sup> / 仕事を<sup>しごと</sup>している →
- ⑦ 貿易会社で<sup>ぼうえきかいしゃ</sup>働く<sup>はたら</sup> / 勉強を<sup>べんきょう</sup>している →
- ⑧ 子どもを<sup>こ</sup>育てる<sup>そだ</sup> / 大学に<sup>だいがく</sup>行っている<sup>い</sup> →

II. 「ながら」または「まま」を使ってひとつの文にしてください。

例1. 新聞を<sup>しんぶん</sup>読む<sup>よ</sup> / 食べる<sup>た</sup> → 新聞を<sup>しんぶん</sup>読みながら<sup>よ</sup> 食べる<sup>た</sup>。

例2. 窓を<sup>まど</sup>開ける<sup>あ</sup> / 寝る<sup>ね</sup> → 窓を<sup>まど</sup>開けたまま<sup>あ</sup> 寝る<sup>ね</sup>。

- ① めかねを<sup>めがね</sup>かける / お風呂に<sup>はい</sup>入った →
- ② 地図を<sup>ちず</sup>見る<sup>み</sup> / 歩いている<sup>ある</sup> →
- ③ ストープを<sup>ストーブ</sup>つける / 外出する<sup>がいしゅつ</sup> →
- ④ スーツを<sup>き</sup>着る / 寝る<sup>ね</sup> →
- ⑤ 泣く<sup>な</sup> / 話す<sup>はな</sup> →
- ⑥ くつをはく / 家の<sup>うち</sup>中に<sup>なか</sup>入る<sup>はい</sup> →
- ⑦ 電気を<sup>でんき</sup>つける / 寝る<sup>ね</sup> →

III. 「間に」を使ってひとつの文にしてください。

例1. 子ども・遊ぶ<sup>あそ</sup>ている / 私は<sup>わたし</sup>家事<sup>かじ</sup>をする  
→ 子どもが<sup>こ</sup>遊ぶ<sup>あそ</sup>ている 間に<sup>あいだ</sup> 私は<sup>わたし</sup>家事<sup>かじ</sup>を します。

例2. 陳さん・日本に<sup>ちん</sup>いる<sup>にほん</sup> / 陳さんは<sup>ちん</sup>日本語が<sup>にほんご</sup> とても 上手に<sup>じょうず</sup> ました。  
→ 陳さんは<sup>ちん</sup>日本に<sup>にほん</sup> いる 間に<sup>あいだ</sup> 日本語が<sup>にほんご</sup> とても 上手に<sup>じょうず</sup> ました。

- ① 私・外出<sup>わたし</sup>している<sup>がいしゅつ</sup> / だれか<sup>ひと</sup> 人が<sup>き</sup> 来た →
- ② 私・日本に<sup>わたし</sup>いる<sup>にほん</sup> / 私は<sup>わたし</sup> いろいろな<sup>ところ</sup> 所を<sup>りょこう</sup> 旅行したいと<sup>おも</sup> 思っている  
→

- ③ 私・旅行に 行っている／母から 手紙が 来た →  
 ④ 子ども・寝ている／リーさんは 買物に 行く →  
 ⑤ 社長・あいさつを している／秘書が お茶を いれた →

IV. 適当な方を選んでください。

- ① 友だち { (a) は 面接試験を 受けている (a) 間 間は 私に 待っていました。  
 (b) が (b) 間に
- ② 私 { (a) は 切符を 買っている (a) 間 間は 電車が 出発しました。  
 (b) が (b) 間に
- ③ ヤンさん { (a) は 飛行機が 飛んでいる (a) 間 間は ずっと 寝ていました。  
 (b) が (b) 間に
- ④ リーさん { (a) は 日本に いる (a) 間 間は 10キロ やせました。  
 (b) が (b) 間に

V. 適当な方を選んでください。

- ① 日本では { (a) 食べる (a) 前に 「いただきます」と 言います。  
 (b) 食べた (b) 後で
- ② 日本では { (a) 食べる (a) 前に 「ごちそうさま」と 言います。  
 (b) 食べた (b) 後で
- ③ 旅行に { (a) 行く (a) 前に ホテルの 予約を とりました。  
 (b) 行った (b) 後で

VI. 文を完成させてください。

- ① 日本へ 来る 前に \_\_\_\_\_。
- ② 日本に いる 間に \_\_\_\_\_ たいと 思っています。

VII. 下の文を読んで 質問に答えてください。

日本の 食事の マナーは 西洋の マナーと とても ちがいます。  
 西洋では いすに すわって 食べますが、日本の 伝統的な やり方では  
 たたみに すわって 食べます。 食べる ときは 左手に 茶碗などの  
 食器を 持って、右手に はしを 持って 食べるのが 正しい 食べ方  
 ですが、最近の 若い人は ときどき 食器を テーブルの 上に 置いて  
 食べています。 昔は 食べている 間、おしゃべりを しないのが  
 礼儀でしたが、今は 話しながら 楽しく 食事を します。

1. 日本の 食事の やり方は 西洋の やり方と どう ちがいますか。  
 また、今と 昔と どう ちがいますか。

	日 本	西 洋
すわり方		

	今	昔
食器の 使い方		
食事の 会話		

## 2 1 課

### 1. 名詞修飾

わたし なつやす いしがきじま い よ てい いしがきじま おきなわ  
私は 夏休みに 石垣島へ 行く 予定です。 石垣島は 沖縄の  
みなみ しま うみ きれいな ところ  
南に ある 島です。 海が きれいな 所です。

モナ・リザは レオナルド・ダ・ビンチが 描いた 絵です。  
ゆきぐに 「雪国」は かわばたやすなり が 書いた 小説です。  
さいしゅうとう 済州島は かんこく みなみ 韓国の 南に ある 島です。  
きゅうでん バッキンガム宮殿は せいき 18世紀に できた 宮殿です。  
わいふはす アメリカの だいてうりょう す 大統領が 住んでいる 建物です。

きのう み 見た 映画は とても よかったです。  
せんしゅう よ 読んだ 本は ほんとうに おもしろかったです。  
にちようび い 行った レストランは サービスが よかったです。  
この え か 描いた 人は ゆうめい が か 有名な 画家です。  
りーさんが つく 作った ケーキは おいしかったです。

さいきん べんきよう 勉強する じ かん 時間が ありません。  
に ほんじん はな き かい 日本人と 話す 機会が ほしいです。  
に ほん い 行きたい ところ 日本で 行きたい 所が たくさん あります。  
いま か もの 今 買いたい 物が たくさん あります。

### 練習問題

#### I. ひとつの文にしてください。

例. ばんり ちょうじょう じょうへき ちゅうごく きた ほう  
万里の長城は 城壁です。 中国の 北の方に あります。  
→ ばんり ちょうじょう ちゅうごく きた ほう じょうへき  
万里の長城は 中国の 北の方に ある 城壁です。

① 「戦争と平和」は 小説です。 トルストイが 書きました。

→

② ハワイは 観光地です。 日本人が よく 行きます。

→

③ 東大寺は お寺です。 8世紀に できました。

→

④ 上野動物園は 動物園です。 パンダが います。

→

⑤ 上野動物園には パンダが います。 中国から 来ました。

→

## II. ひとつの文にしてください。

例. あの ケーキは おいしかったです。 グリーンさんが 作りました。

→ グリーンさんが 作った ケーキは おいしかったです。

① きノウ あの お茶を 飲みました。 中華街で 買いました。

→

② あの 人は だれですか。 あそこで 電話を かけています。

→

③ あの 飲み物は なんですか。 周さんが 飲んでいます。

→

④ あの 辞書は 役に 立ちます。 陳さんから 借りました。

→

⑤ 去年 あの 町へ 行きました。 シェークスピアが 生まれました。

→



Ⅲ. 文を 完成してください。

① <sup>さいきん</sup>最近 \_\_\_\_\_ <sup>じ かん</sup>時間がありません。

例. <sup>さいきん</sup>最近 <sup>べんきょう</sup>勉強する <sup>じ かん</sup>時間がありません。

② \_\_\_\_\_ <sup>き かい</sup>機会がありません。

例. <sup>に ほんじん</sup>日本人と <sup>はな</sup>話す <sup>き かい</sup>機会がありません。

③ \_\_\_\_\_ <sup>たい</sup>たい \_\_\_\_\_ <sup>が</sup>がたくさんあります。

例. <sup>よ</sup>読みたい <sup>ほん</sup>本ががたくさんあります。

Ⅳ. 文を 完成してください。

例. <sup>せんせい</sup>先生は <sup>ひと</sup>人に <sup>なに</sup>何かを <sup>おし</sup>教える <sup>ひと</sup>人です。

① <sup>こうきょ</sup>皇居は \_\_\_\_\_ です。

② <sup>ゆうびんきょく</sup>郵便局は \_\_\_\_\_ です。

③ <sup>ぎんこう</sup>銀行は \_\_\_\_\_ です。

④ <sup>えきいん</sup>駅員は \_\_\_\_\_ です。

V. あなたの<sup>しゅっしんち</sup>出身地、あなたの<sup>くに</sup>国の<sup>かんこうち</sup>観光地、<sup>めいしょなど</sup>名所等を<sup>せつめい</sup>説明してください。

VI. 下の文を読んで 質問に答えてください。

みな さんは 日本の 小説を 読んだ ことが ありますか。 きょうは  
 「雪国」という 小説を 紹介します。 これは 川端康成が 書いた  
 小説です。 川端は ノーベル文学賞を 受賞した 日本の 有名な  
 小説家です。  
 小説の 舞台は 新潟県の 湯沢温泉で 冬は とても 雪の 多い  
 ところです。 主人公の 芸者 「駒子」は、東京から ときどき 湯沢へ  
 来る 小説家を 愛します。 その 小説家の モデルは 川端自身です。  
 皆さんも 読んで みてください。

1. この 小説の 作者は だれですか。
2. 小説の 舞台は どこですか。
3. 主人公は どんな 人ですか。

## 2 2 課

- I. \_\_\_\_\_ そうだ (人やテレビ・ラジオで聞いたこと、新聞で読んだことを他者に伝える)

しんぶん よ かわさき でんしゅうこ  
新聞で読みましたが、きのう川崎で電車事故があったそうです。

きょう、テレビで見ましたが、アメリカで地震があったそうです。

きのう、山田さんから聞きましたが、キムさんが来月国へ帰るそうです。

てんき よほう あしたは 雪が 降るそうです。

- II. \_\_\_\_\_ ようだ (見たことや聞いたことから自分なりの判断をする)

びょうき なに た  
うちのねこは病気のようです。きのうから何も食べません。

た なか かえ  
田中さんは もう 帰ったようです。かばんもコートもあります。

ぶ ちょう す ちゅうもん  
部長は ワインが 好きなようです。レストランでいつもワインを注文します。

しゅじん さいきん いそが まいばん じ ごろかえ  
となりのご主人は 最近 忙しいようです。毎晩12時頃帰ってきます。

さいきん にほん にんき ようひん  
最近日本ではテニスが人気があるようです。スポーツショップにテニス用品がいっぱいいます。

- III. \_\_\_\_\_ らしい (見たこと、聞いたことを根拠に推測する。かなり確かな根拠がある)

ちん かいしゃ や しゅう い  
陳さんは会社を辞めるらしいです。周さんがそう言っていました。

すずき しゅじん えいご じょうず かいぎ つうやく  
鈴木さんのご主人は 英語が上手らしいです。会議で通訳をしたそうです。

ことし なつ すず わたし ともだち も  
今年の夏、ヨーロッパは涼しいらしいです。私の友達にはコートを持っていくそうです。

さいきん わかもの しる きら いじょう きら こと  
最近の若者はみそ汁が嫌いらしい。あるアンケートで50%以上が嫌いだと答えた。

あめ そと ある ひと  
もう 雨は やんだらしい。外を歩いている人が少さをさしていない。

しょうがっこう せ お こども  
あれは 小学校らしい。ランドセルを背負った子供たちがたくさんいる。

## 練習問題

### I. 適当な形に変えてください。

例. 鈴木<sup>すずき</sup>さんは来月<sup>らいげつ</sup> (結婚<sup>けっこん</sup>します→ 結婚<sup>けっこん</sup>する ) そうです。

- ① あした<sup>あした</sup>漢字<sup>かんじ</sup>テストが (あります→ ) そうです。
- ② き<sup>き</sup>のうニュー<sup>お</sup>ヨークで大きい<sup>おお</sup>火事<sup>かじ</sup>が (ありました→ ) そうです。
- ③ 周<sup>しゅう</sup>さんはさしみ<sup>さしみ</sup>が (嫌い<sup>きら</sup>です→ ) そうです。
- ④ スミス<sup>スミス</sup>さんのおとう<sup>おとう</sup>さんは大学<sup>だいがく</sup>の (教授<sup>きょうじゅ</sup>です→ ) そうです。
- ⑤ あした<sup>あした</sup>の会議<sup>かいぎ</sup>は (9時<sup>じ</sup>からです→ ) そうです。
- ⑥ 陳<sup>ちん</sup>さんはきょう<sup>きょう</sup>は (休み<sup>やす</sup>です→ ) ようです。
- ⑦ 日本<sup>にほん</sup>の男性<sup>だんせい</sup>はあまり家事<sup>かじ</sup>を (しません→ ) ようです。
- ⑧ 結婚<sup>けっこん</sup>式<sup>しき</sup>が (始<sup>はじ</sup>まります→ ) ようです。音楽<sup>おんがく</sup>が鳴<sup>な</sup>り始<sup>はじ</sup>めました。
- ⑨ 最近<sup>さいきん</sup>の若い<sup>わか</sup>人達<sup>ひとたち</sup>はファースト<sup>ファースト</sup>フード<sup>フード</sup>が (好き<sup>す</sup>です→ ) ようです。
- ⑩ 周<sup>しゅう</sup>さんの仕事<sup>しごと</sup>は (たいへん<sup>たいへん</sup>です→ ) ようです。毎日<sup>まいにち</sup>残業<sup>ざんぎょう</sup>を  
(しています→ ) そうです。
- ⑪ あれ<sup>あれ</sup>は市川<sup>いちかわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>の (お子<sup>こ</sup>さんです→ ) らしいです。
- ⑫ 外<sup>そと</sup>は (暑<sup>あつ</sup>いです→ ) らしい。人<sup>ひと</sup>が汗<sup>あせ</sup>をふきながら歩<sup>ある</sup>いている。

### II. 文を完成してください。

- ① き<sup>き</sup>のう新聞<sup>しんぶん</sup>で読<sup>よ</sup>みましたが、 \_\_\_\_\_ そうです。
- ② 友達<sup>ともだち</sup>の話<sup>はなし</sup>によると \_\_\_\_\_ そうです。
- ③ 日本<sup>にほん</sup>では \_\_\_\_\_ ようです。
- ④ となりのうち<sup>うち</sup>の人<sup>ひと</sup>は \_\_\_\_\_ ようです。
- ⑤ 先生<sup>せんせい</sup>は \_\_\_\_\_ らしいです。

⑥ 東京は らしいです。

Ⅲ. 下の文を読んで 質問に答えてください。

やまだ にっき  
〈山田の日記 4月10日〉

どうりょう か とう      さいきん すこ    へん      い    ぜん      まいにちおな      おな    せ    ひろ  
同僚の加藤さんは最近少し変だ。    以前は毎日同じネクタイ、同じ背広  
だったが、最近<sup>さいきん</sup>はとてもおしゃれになった。毎日<sup>まいにち</sup>違うネクタイ、それも  
すてきな<sup>ときどき</sup>の<sup>ひるやす</sup>をしている。時々<sup>おんな</sup>、昼休み<sup>ひと</sup>に女の人<sup>でんわ</sup>から電話がある。とても  
たの      はな      か とう      かのじょ  
楽しそうに話している。加藤さんは彼女ができてうれしい。

〈5月15日〉

かとう                      さいきんげんき                      し    こと                      ひるやす  
加藤さんは最近元気がない。仕事でもよくミスをするし、昼休みはぼん  
やりと座って考え事をしている。話しかけても、あまり人の話を聞いてい  
ない。ため息ばかりついている。どうしたのだろう。

1. <sup>かとう</sup>加藤さんはどうしたのでしょうか。

## 2 3 課

### I. \_\_\_\_\_なくてはならない (必要・義務)

わたし らいしゅう き こうしん  
私は来週ビザが切れるので、更新しなくてはなりません。

わたし らいげつ けっこん さが  
私は来月結婚するので、アパートを探さなくてはなりません。

わたし らいげつくに かえ ひ こうき きつぷ  
私は来月国へ帰るので、飛行機の切符をとらなくてはなりません。

あしたは テストなので、 きょうは勉強しなくてはなりません。

\* あしたはテストなので、きょうは勉強しなくちゃなりません。(口語的)

### II. \_\_\_\_\_なければならない (義務・必要・責任のある事柄)

こくみん ぜいきん はら こくみん きむ  
国民は税金を払わなければなりません。これは国民の義務です。

せいかつ わたし はたら  
生活のために、 私たちは 働かなければなりません。

しゃかいせいかつ しゃかい まも  
社会生活では、 社会のルールを 守らなければなりません。

き そく こうじょう  
〈規則〉 この工場ではヘルメットをかぶらなければなりません。

### III. \_\_\_\_\_なくてもいい (不必要)

わたし ひとり く おや どうきょ じ ぶん しょくじ じゅんび  
私は1人で暮らすより、親と同居するほうがいいです。自分で食事の準備を  
しなくてもいいし、洗濯もしなくてもいいですから。

りょこうかいしゃ りょこう じ ぶん ひ こうき よ やく  
旅行会社のグループ旅行は、自分でホテルや飛行機の予約をしなくてもいいです。

しんかんせん つうろ じ どう じ ぶん あ  
新幹線の通路のドアは 自動ドアですから、自分で 開けなくてもいいです。

わたし りょう で ひとり く ひとり ぐ もんげん まも  
私は寮を出て、1人で暮らしたいです。1人暮らしは門限を守らなくてもいい  
ですから。

## 練習問題

### I. 例にならって、形を変えてください。

例. 行く → 行かなくてはなりません / 行かなければなりません /  
行かなくてもいいです

- ① 読む →
- ② 話す →
- ③ する →
- ④ おぼえる →
- ⑤ 働く →
- ⑥ 見る →
- ⑦ とる →
- ⑧ やる →
- ⑨ 探す →
- ⑩ 会う →
- ⑪ 待つ →
- ⑫ 食べる →
- ⑬ 来る →

### II. 適当な形に変えてください。

例. きょうは区役所へ（行く → 行か）なくてはなりません。

- ① きょうは買物を（する → ）なくちゃならないし、手紙も（出す → ）なくちゃならないし、たいへんです。
- ② きょうはちょっと早く失礼します。新宿で人に（会う → ）なくてはならないので。
- ③ 来年、大学の試験を（受ける → ）なければなりません。
- ④ この漢字は（おぼえる → ）なくともいいそうです。

- ⑤ 日本の子供は家事を（手伝う→ ）なくてもいいんですか。

### Ⅲ. 文を完成してください。

- ① 来週国から弟が来るので \_\_\_\_\_ なくてはなりません。
- ② 来月北海道へ旅行に行くので \_\_\_\_\_ なくてはなりません。
- ③ 子供は \_\_\_\_\_ なければなりません。
- ④ 私達は人類のために \_\_\_\_\_ なければなりません。
- ⑤ 日曜日は \_\_\_\_\_ なくてもいいから、楽です。
- ⑥ 私の国では \_\_\_\_\_ なくてはなりませんか、  
日本では \_\_\_\_\_ なくてもいいです。

### Ⅳ. 下の文を読んで質問に答えてください。

日本の法律では、親は6歳から子供を学校へ入れなければならない。公立の  
小学校や中学校は誰でも入れるし、授業料もとても安い。ただし、高校や大学  
へ行く時は、きびしい受験勉強をしなくてはならない。

私立の小・中学校は入学試験があるし、教科書代や授業料にお金がかかる。

しかし、小学校から大学まで続いている学校では、そのまま上に上られるので  
子供は楽だ。

1. 公立の学校と私立の学校、それぞれの長所、短所は何ですか。



	長 所	短 所
公立		
私立		

## 2 4 課

### 1. 自動詞・他動詞

#### (1) 自動詞

(物の変化に注目して言う)

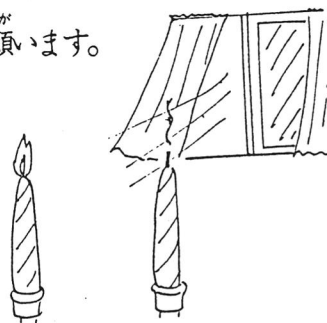
ステージのライトが つきました。もうすぐ演奏が はじまります。

風で、ろうそくの火が き消えました。

この電車は次は錦糸町に と止まります。

エレベーターのドアが あ開いて、子供がエレベーターに の乗りました。

〈駅のアナウンス〉ドアが し閉まりますので、ご注意ください。



#### (2) 他動詞

(人の動作に注目して言う)

母は料理をするときは、いつも台所の電気を つけます。うちの台所は  
昼間でも少し暗いので。

グリーンさんは パースデーケーキのろうそくの火を ひ一息で消しました。

田中さんは、ねこが道に飛び出してきたのを見て、急いで車を と止めました。

誰かが うちの外で よ呼んだので、

私は ドアを あ開けました。

となりが 工事中で うるさいので、

私は 窓を し閉めました。

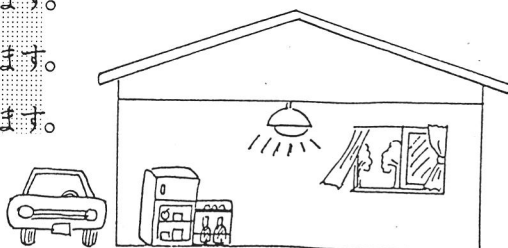


自 動 詞	他 動 詞
<sup>あ</sup> 開く	<sup>あ</sup> 開ける
<sup>し</sup> 閉まる	<sup>し</sup> 閉める
つく	つける
<sup>き</sup> 消える	<sup>け</sup> 消す
<sup>はい</sup> 入る	<sup>い</sup> 入れる
<sup>で</sup> 出る	<sup>だ</sup> 出す
<sup>と</sup> 止まる	<sup>と</sup> 止める
かかる	かける

## II. (自動詞) ている (物の状態)

きのう<sup>た なか</sup>田中さんのお宅へ行きました。ドアが<sup>あ</sup>開いていました。<sup>でんき</sup>電気も  
ついていましたし、テレビもついていました。でも、<sup>だれ</sup>誰もいませんでした。

<sup>でんき</sup>電気が <sup>き</sup>ついていました。  
<sup>でんき</sup>電気が <sup>き</sup>消えていました。  
<sup>まど</sup>窓が <sup>あ</sup>開いていました。  
<sup>まど</sup>窓が <sup>し</sup>閉まっています。  
<sup>まえ</sup>うちの前に<sup>くるま</sup>車が <sup>と</sup>止まっています。  
<sup>れいぞうこ</sup>冷蔵庫の中に<sup>なか</sup>ビールが <sup>はい</sup>入っています。



## III. \_\_\_\_\_ ておく

(1) 後のことを考えて予め準備する

きょう 2時に山本さんがうちへ来ます。私はきのうビールを買って、  
冷やしておきました。これから、山本さんが来るまでに部屋をかたづけ、  
食器を出しておこうと思います。

あしたうちでパーティーをするので、きょうお酒を買っておきます。  
あさってから旅行に行くので、今日中に荷物をつめておきます。  
忘年会の会場は 11月中旬に 予約しておきます。  
お客様が いらっしゃるまでに 食器を 並べておきます。

(2) 何も変化させないでそのままにしておく、放置

朝忙しくて食器を洗う時間がなかったので、水につけておきました。

窓を閉めないで、一晩中 ずっと開けておきました。  
母親は立っている子供をそのまま放っておきました。

#### IV. (他動詞) てある

(1) 物がどんな状態で存在しているかを言う

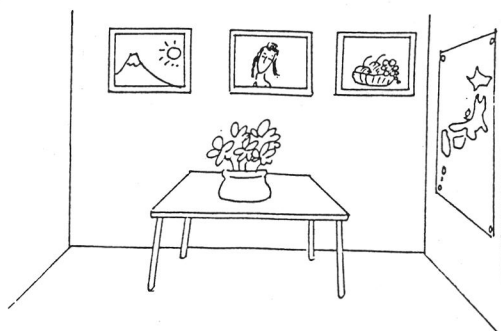
佐藤さんは美術品を集めるのが好きです。佐藤さんのうちの玄関には象  
の置物が置いてありますし、壁には絵がたくさんかけてあります。

壁に 絵がかけてあります。

壁に 地図がはってあります。

テーブルの上に花が飾ってあります。

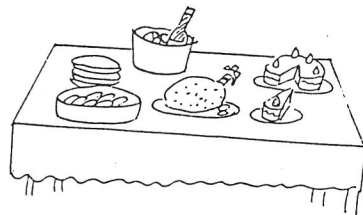
玄関に 置物が置いてあります。



(2) 準備ができた状態

いま じ ふんまえ 今、2時5分前です。もうすぐ山本さんがうちへ来ます。山本さんの  
す もの 好きな物はわかりませんが、お酒はいろいろ用意してあるし、料理も  
いろいろつくってありますから、だいじょうぶでしょう。

ビールが 冷やしてあります。  
へ や 部屋が 暖めてあります。  
おおさか しんかんせん きっぷ か 大阪までの新幹線の切符が買ってあります。  
おおさか よ やく 大阪のホテルが 予約してあります。



練習問題

I. 「～ています」または「～てあります」を使って、絵に書かれている状態を描写してください。

例. まど 窓 / あ 開く → まど あ 窓が開いています。

① でんき 電気 / つく →

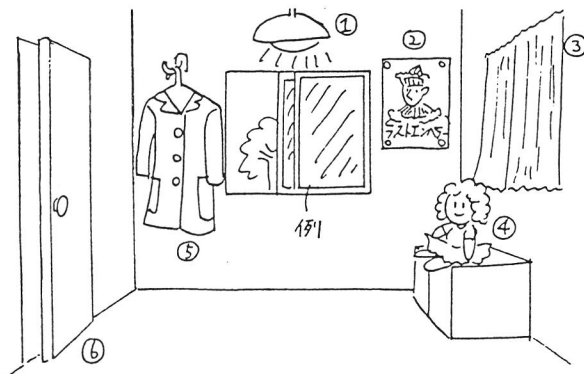
② ポスター / はる →

③ カーテン / し 閉まる →

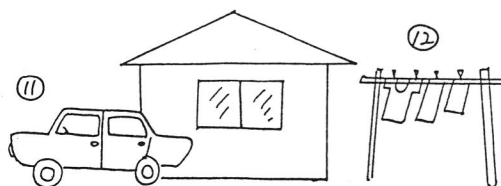
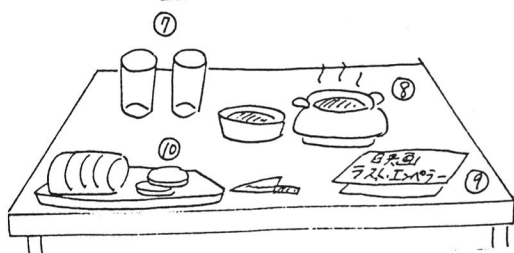
④ にんぎょう 人形 / かざ 飾る →

⑤ コート / かかる →

⑥ ドア / あ 開く →



- ⑦ コップ / <sup>お</sup>置く →  
 ⑧ スープ / <sup>つく</sup>作る →  
 ⑨ 映画の切符 / <sup>えいが きっぷ</sup>買う →  
 ⑩ ハム / <sup>き</sup>切る →  
 ⑪ 車 / <sup>くるま</sup>止まる →  
 ⑫ 洗濯物 / <sup>せんたくもの</sup> / <sup>ほ</sup>干す →



## II. 正しい方を選んでください。

- ① 車はどなりの<sup>ちゅうしやじょう</sup>駐車場に { (a) <sup>と</sup>止まってください。 (b) <sup>と</sup>止めてください。 }  
 ② ドアを { (a) <sup>し</sup>閉まりますよ。 (b) <sup>し</sup>閉めますよ。 }  
 ③ トイレの水が { (a) <sup>で</sup>出ない (b) <sup>だ</sup>出さない } んですけど、どうしたんでしょう。  
 ④ おさしみは<sup>れいぞうこ</sup>冷蔵庫に { (a) <sup>はい</sup>入った (b) <sup>い</sup>入れた } ほうがいいです。  
 ⑤ きこの夜の<sup>よる</sup>は雷<sup>かみなり</sup>が鳴って、<sup>でんき</sup>電気が { (a) <sup>き</sup>消えて (b) <sup>け</sup>消して } たいへんでした。  
 ⑥ テレビ、うるさいんですけど、 { (a) <sup>き</sup>消えても (b) <sup>け</sup>消しても } いいですか。

## III. 適切な方を選んでください。

- ① わたしは1週間前<sup>しゅうかんまえ</sup>にホテルを<sup>よやく</sup>予約して { (a) おきました。 (b) あります。 }

- ② 結婚式けっこんしきの1カ月前いっかげつまえまでに、お客様きやくさまに招待状しょうたいじょうを { (a) 出してだおいて (b) 出でていて } ください。
- ③ 料理力りょうりもいろいろつく作つくって { (a) あります (b) います } から、どうぞたくさん食たべてください。
- ④ お茶ちやががいって { (a) あります (b) います } ので、どうぞ。
- ⑤ テレビががついて { (a) ある (b) いる } けど、だれかみ見みているの。

#### IV. 文を完成してください。

- ① うちにお客様きやくさまが来るときは、その前まえに\_\_\_\_\_ておきます。
- ② 旅行りょこうに行くときは、その前まえに\_\_\_\_\_ておきます。
- ③ 私の部屋へやには\_\_\_\_\_てあります。

#### V. 下の文を読んで質問に答えてください。

わたし せんげつ けっこん いま ひ こ  
私は先月結婚して、今のアパートに引っ越しました。まだ荷物にもつを整理せいりして  
いないので、部屋へやの隅すみに箱はこがたくさん積つんであります。壁かべには結婚式けっこんしきの写真しやしん  
がはってあります。

らいねん こども つく しゅじん こども  
来年子供を作つくるつもりですが、主人しゅじんはもうベビーベッドや子供のおもちゃ  
を買かいました。子供こどもの名前なまえももう決きめてあります。男おとこなら和夫かずお、女おんななら和子かずこ  
です。子供こどもの将来しょうらいのために今いまから少すこしずつ貯金ちよきんをしておこうと思おもっています。

1. この人ひとの部屋へやの中なかにはどんな様子ようすですか。
2. 子供こどものためにどんな準備じゅんびをしていますか。

## 2 5 課

### 1. \_\_\_\_\_ていく / \_\_\_\_\_てくる

- (1) 「一て」の部分が、行く前または来る前にする動作を表す

あした<sup>はやし</sup>林さんのお宅<sup>たく</sup>でパーティーがあります。私<sup>わたし</sup>はサラダ<sup>つく</sup>を作<sup>つく</sup>っていきます。

あした<sup>たなか</sup>田中さんのお宅<sup>たく</sup>へ 行<sup>い</sup>くとき、 ワイン<sup>か</sup>を買<sup>か</sup>っていきます。

先週<sup>せんしゅう</sup>、先生<sup>せんせい</sup>のお宅<sup>たく</sup>に おじゃま<sup>たく</sup>したとき、 ケーキ<sup>つく</sup>を作<sup>つく</sup>っていきました。

あした<sup>りょこうかいしゃ</sup>旅行会社<sup>りょこうだいじん</sup>へ旅行代金<sup>はら</sup>を払<sup>い</sup>い、行<sup>い</sup>くとき、銀行<sup>ぎんこう</sup>に寄<sup>よ</sup>っていきます。

けさ、学校<sup>がっこう</sup>へ来<sup>く</sup>るとき、駅<sup>えき</sup>で新聞<sup>しんぶん</sup>を買<sup>か</sup>ってききました。

文房具屋<sup>ぶんぼうぐや</sup>へ行<sup>い</sup>ってコピー用紙<sup>ようし</sup>を買<sup>か</sup>ってきます。

ちょっと 駅<sup>えき</sup>前<sup>まえ</sup>の 銀行<sup>ぎんこう</sup>まで行<sup>い</sup>ってきます。

駅<sup>えき</sup>で 立ち食<sup>たぐ</sup>いそば<sup>そば</sup>を 食<sup>た</sup>べてききましたので、おなか<sup>なか</sup>がいっぱい<sup>いっぱい</sup>です。

学校<sup>がっこう</sup>へ来<sup>く</sup>る前<sup>まえ</sup>に 大使館<sup>たいし かん</sup>に 寄<sup>よ</sup>ってきたので、少し<sup>すこ ち</sup>遅刻<sup>こく</sup>しました。

- (2) 「一て」の部分が、行くときまたは来るときの方法を表す

田中<sup>た なか</sup>さんのお宅<sup>たく</sup>は中野<sup>なかの</sup>駅<sup>えき</sup>から10分<sup>ぶん</sup>ぐらいだそうですので、私<sup>わたし</sup>は駅<sup>えき</sup>から  
あある  
歩<sup>ある</sup>いていきます。

毎<sup>まい</sup>朝<sup>あさ</sup>、うち<sup>うち</sup>から 会<sup>かい</sup>社<sup>しゃ</sup>まで歩<sup>ある</sup>いていきます。

駅<sup>えき</sup>から ホテルまで タクシー<sup>の</sup>に乗<sup>の</sup>っていきます。

きのう<sup>あさ</sup>の朝<sup>あさ</sup>、ね<sup>えき</sup>ぼうして、駅<sup>えき</sup>まで走<sup>はし</sup>っていきました。



きょうは<sup>ち こく</sup>遅刻しそうだったので、<sup>えき</sup>駅からここまで<sup>はし</sup>走ってきました。

わたし まいあきりよう がっこう じ てんし の  
私は毎朝寮から学校まで自転車に乗ってきます。

きょうは <sup>えき</sup>駅から ゆっくり <sup>ある</sup>歩いてきた <sup>ぶん</sup>ので、20分かかりました。

(3) 「一て」の部分から、行くときまたは来るときの状態を表す

らいげつともだち けっこんしき わたし くに みんなぞくいしょう き おも  
来月友達の結婚式があります。私は国の民族衣装を着ていこうと思って  
います。

らいしゅう かいし ともだち つ  
来週の会社のパーティーに友達を連れていきます。

りょこう い も  
旅行に行くときはいつもカメラを持ていきます。

なつ がいしゅつ  
夏、外出するときは、ぼうしをかぶっていった ほうがいいです。

しゅうまつ し こく い も  
週末に四国へ行ってきました。あしたおみやげを持てきます。

けさは <sup>さむ</sup>寒かったので、 <sup>き</sup>コートを着てきました。

きょうは <sup>あき</sup>朝、 <sup>おおあめ</sup>大雨だったので、 <sup>ながぐつ</sup>長靴をはいてきました。

らいしゅう  
来週うちでするパーティーには、ぜひ<sup>おくさま</sup>奥様も連れてきてください。

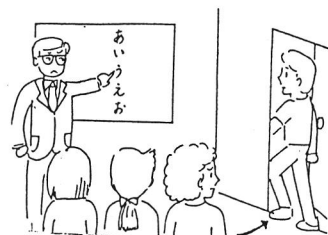
(4) 話者から離れる動作または話者に向かう動作

じゅぎょうちゅう しゅう きょうしつ で い  
授業中に周さんが教室から出ていきました。どこへ行ったのでしょうか。

グリーンさんが <sup>しやうしつ</sup>社長室へ <sup>はい</sup>入っていました。

ねこは <sup>おお いぬ み</sup>大きい犬を見て、どこかへ <sup>に</sup>逃げていきました。

<sup>えきまえ</sup>駅前であいさつをして、<sup>かれ えき なか はい</sup>彼は駅の中へ入っていました。



しゅっちよう 出張でニューヨークへ行っていた<sup>い</sup>高橋さん<sup>たかはし</sup>が、きのう帰<sup>かえ</sup>ってきました。

はは 母<sup>はは</sup>が 突然<sup>とつぜん</sup> 私<sup>わたし</sup>の部屋<sup>へや</sup>に入<sup>はい</sup>ってきました。

グリーンさん<sup>かいぎ</sup>が会議室<sup>しつ</sup>から出<sup>で</sup>てきました。

けさ、友達<sup>ともだち</sup>から電話<sup>でんわ</sup>が<sup>か</sup>かってきました。



## II. \_\_\_\_\_ てしまう

(1) 残念・後悔の気持ち、とり返しがつかないという気持ち

きょうはうちにさいふ<sup>わす</sup>を忘<sup>わす</sup>れてしまいました。学校<sup>がっこう</sup>に着<sup>つ</sup>いて、気<sup>き</sup>がつかま  
した。お金<sup>かね</sup>がないので、昼食<sup>ちゅうしょく</sup>が食<sup>く</sup>べられません。

かいぎ 会議<sup>かいぎ</sup>の時間<sup>じかん</sup>を まちかえ<sup>まちかえ</sup>てしまいました。

どこか<sup>どこか</sup>で定期券<sup>ていきけん</sup>をなくしてしまいました。

しゅうごうじかん 集合時間<sup>しゅうごうじかん</sup>に おく<sup>おく</sup> 遅<sup>おく</sup>れてしまいました。

えいが 映画<sup>えいが</sup>の途中<sup>とちゅう</sup>で ね<sup>ね</sup> 寝<sup>ね</sup>てしまいました。

A: わる 悪い<sup>わる</sup>けど、鉛筆<sup>えんぴつ</sup>、か 貸<sup>か</sup>して。うち<sup>うち</sup>に忘<sup>わす</sup>れちゃったんだ。

B: ああ、いいよ。

\* 「忘<sup>わす</sup>れちゃった」は「忘<sup>わす</sup>れてしまった」の口語形

(2) 完了したことを強調する

きのう買<sup>か</sup>った本<sup>ほん</sup>はとてもおもしろかったので、私<sup>わたし</sup>は1日<sup>いちにち</sup>で最<sup>さいご</sup>後<sup>ご</sup>まで読<sup>よ</sup>んで  
しまいました。

あに 兄<sup>あに</sup>はみかんをみつ、ひとくち 一口<sup>ひとくち</sup>で食<sup>た</sup>べてしまいました。

きょうの仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>は もう全<sup>ぜん</sup>部<sup>ぶ</sup>終<sup>お</sup>わってしまいました。

かんが 考<sup>かんが</sup>えていたことを課長<sup>かちょう</sup>に全<sup>ぜん</sup>部<sup>ぶ</sup>話<sup>はな</sup>してしまいました。

# 練習問題

## I. 適当な方を選んでください。

- ① きょうは、うちからここまでタクシーに<sup>の</sup>乗って { (a) いきました。  
 (b) きました。
- ② 来週、先生のお宅へ行くとき、クッキーを<sup>や</sup>焼いて { (a) いきます。  
 (b) きます。
- ③ 東京ホテルでのパーティーに<sup>くに</sup>国の民族衣装を<sup>いしょう き</sup>着て { (a) いこう <sup>おも</sup>と思います。  
 (b) しよう
- ④ この山小屋へ来る前に、町で2週間分の食料を買って { (a) いきました。  
 (b) きました。
- ⑤ ちょっと15分<sup>ふん</sup>ぐらい<sup>で</sup>出かけて { (a) いきます。  
 (b) きます。
- ⑥ き<sup>よる</sup>のうの夜、うちにお客<sup>きやくさま</sup>様が<sup>き</sup>来て、10時<sup>じ</sup>頃<sup>ごろ</sup>帰って { (a) いきました。  
 (b) きました。
- ⑦ ちょっと飲<sup>の</sup>み物<sup>もの</sup>を買<sup>か</sup>って { (a) いっても  
 (b) きても よろしいでしょうか。
- ⑧ 先週、旅行<sup>せんしゅう りょこう</sup>に行<sup>い</sup>って、た<sup>しやうしん</sup>くさん<sup>と</sup>写<sup>し</sup>真<sup>しん</sup>を撮<sup>と</sup>って { (a) いきました。  
 (b) きました。
- ⑨ 授業中、教室<sup>じゅぎょうちゅうきょうしつ</sup>に犬<sup>いぬ</sup>が<sup>はい</sup>入<sup>い</sup>って { (a) い<sup>った</sup>た  
 (b) きた <sup>ので、みんなびっくりしました。</sup>
- ⑩ となりのねこがわたしのうち<sup>はい</sup>に入<sup>い</sup>って { (a) い<sup>って</sup>て、  
 (b) きて、 <sup>さかなを2匹<sup>ひき</sup>食<sup>た</sup>べて</sup>
- { (a) いきました。  
 (b) きました。

II. 「－てしまう」を使って文を完成してください。  
[－てしまった、－てしまって、等]

例. 授業中、ねむく（なる→ なってしまいました）。

- ① 今月分の生活費をもう全部（使う→ ）。
- ② きょうは教科書をうちに置いて（くる→ ）。
- ③ 新宿で火事があった、家が3軒（焼ける→ ）そうです。
- ④ きょうの台風でうちの窓ガラスが（こわれる→ ）。
- ⑤ このケーキ、（食べる→ ）もおいしいですか。
- ⑥ きょう上野で道に（まよ→ ）んです。
- ⑦ けさ、駅まで行って、お金を（忘れる→ ）のに気がつきました。
- ⑧ けさはねぼう（する→ ）、朝食を食べる時間がありませんでした。
- ⑨ 早く本当のことを（話す→ ）ほうがいいですよ。
- ⑩ 私はすぐ日本語の単語を（忘れる→ ）んです。忘れない方法、あります。

III. 文を完成してください。

- ① 私は日本へ来る前に、\_\_\_\_\_ できました。
- ② 私はうちから学校まで \_\_\_\_\_ できます。
- ③ 結婚式に出るときは \_\_\_\_\_ ていきます。
- ④ 私はときどき \_\_\_\_\_ てしまいます。

IV. 下の文を読んで質問に答えてください。

わたし  
私はそそっかしい<sup>せいかく</sup>性格<sup>しつぱい</sup>なので、よくいろいろな失敗<sup>せんじつ</sup>をしてしまう。先日、  
かのじょ けっこん けっしん かのじょ でんわ かのじょ でんわ  
彼女と 結婚しよう<sup>けっこん</sup>と決心<sup>けっしん</sup>して、彼女のうちに電話<sup>でんわ</sup>をかけた。彼女が電話<sup>でんわ</sup>に  
で 出たので、<sup>ぼく けっこん</sup>「僕と結婚<sup>けっこん</sup>してください。必ず<sup>かなら</sup>幸せ<sup>しあわ</sup>にします。」と言<sup>い</sup>った。彼女が<sup>かのじょ</sup>  
なに い 何も言<sup>い</sup>わないので、「だめ<sup>き</sup>でしょう<sup>ひと</sup>か。」と聞<sup>き</sup>いた。その人<sup>ひと</sup>は「すみせんか<sup>か</sup>  
あなたとは結婚<sup>けっこん</sup>できません。わたし <sup>しゅじん むすめ</sup>主人<sup>しゅじん</sup>も娘<sup>むすめ</sup>もいますから。いま <sup>むすめ よ</sup>娘<sup>むすめ</sup>を呼<sup>よ</sup>びます  
から、ちよ<sup>ま</sup>っと待<sup>まち</sup>ってください。」と言<sup>い</sup>った。

1. この人<sup>ひと</sup>は先日<sup>せんじつ</sup>、どんな失敗<sup>しつぱい</sup>をしましたか。

## 26 課

### I. \_\_\_\_\_ なくて

わたし はんとしまえ に ほん き いま に ほんご すこ  
私は半年前に日本へ来ました。今は日本語が少しわかりますが、はじめは  
ぜんぜん  
全然わからなくて、とても くるま 困りました。

#### (1) 原因・理由

うちの 子供は や さい た こま  
野菜を 食べなくて、困ります。

きょうしつ こくばん じ み こま  
教室の 黒板の 字が 見えなくて、困ります。

ひ こ て つだ  
引っ越しの 手伝い が できなくて、すみません。

みな りょこう い ざんねん  
皆さんといっしょに 旅行に 行けなくて、残念です。

きょう は ゆっくり お話 する じかん が なくて、ざんねん 残念です。

きょう の パーティー に 鈴木 さん が い なくて、さびしいです。

いま や ちん たか  
今のアパートは 家賃があまり高くなくて、いいです。

この テープレコーダー は あまり おも くて、もちやすいです。

#### (2) 並列

おいしく なくて、たか きゃく はい  
高い レストラン には、お客が 入りません。

かいしゃ とお しず ところ す おも  
会社からあまり遠く なくて、静かな 所に 住みたい と思います。

あまり ゆうめい お おんせん さが  
有名 じゃ なくて、落ちつける 温泉 を 探しています。

### II. \_\_\_\_\_ ないで

#### (1) 普通すること、普段することをしないで、別のことをする

へ や ひと だいがくせい ぜんぜん べんきょう だいがく  
となりの部屋の人は大学生ですが、全然勉強しないようです。大学へ  
い  
行か ないで アルバイト ばかり しています。

わたし すいようび かいしゃ い 私 は 水曜日は 会社へ行かないで、うちで仕事をします。

いざかや しゅう さけ の 私 は 居酒屋で周さんはお酒を飲まないで、お茶を飲みます。

りーさん はきのう、じゅぎょう で 授業に出ないで、ひとりで勉強していました。

わたし き の う の よる べんきょう 私 は きのうの夜は 勉強しないで、一晩中テレビを見てしまいました。

うちの めすめ そと あそ 娘 は 外で 遊ばないで、うちでまんがばかり読んでいます。

## (2) ある動作をしない状態

わたし に ほんご て がみ か い ぜん なんつう か 私 はきのう日本語で手紙を書きました。以前、何通か書いたことがありますか、そのときは辞書を使って書きました。きのう初めて辞書を使わないで書きました。

わたし ときどき よ しゅう に ほんご じゅぎょう で 私 は ときどき 予習を しないで、日本語の授業に出ます。

わたし くに ひと かわ た 私 の 国 の 人 た ち は りんご の 皮 を む か な い で 食 べ ま す。

わたし かいしゃ ぼ こくご つか に ほんご はな 私 は 会社では 母国語を使わないで、日本語だけ話します。

## III. \_\_\_\_\_ ないでください (事務的な警告、注意、制止)

なか ひょうじ <バスの中の標示>

あぶないですから、バスの窓から手や顔を出さないでください。

けいさつかん みち ちゅうしゃ <警察官> この道に 駐車しないでください。

てんいん に もつ お <店員> すみませんが、荷物はこちらに置かないでください。

きょうし き みる み <教師> テープを 聞くときはテキストを見ないでください。

けいじ か ようび もくようび い がい だ <パートの掲示> ごみは 火曜日と木曜日以外は出さないでください。

IV. 命令形 (1) (養育・教育上の目上から目下への命令、事務的な標示、標識)

(1) 肯定

ちち あそ はや べんきょう  
父： 遊んでいないで、早く勉強しろ。  
むすこ  
息子： うるさいなあ。わかったよ。

ちち お  
<父> 起きろ。 もう8時だよ。  
どうろ ひょうしき と  
<道路標識> 止まれ。

(2) 否定

むすこ  
息子： これ、おいしくないよ。  
ちち もんく い なん た  
父： 文句を言うな。何でも食べろ。

た ふだ しばふ はい  
<立て札> 芝生に入るな。  
ひょうじ ろうか はし  
<標示> 廊下を走るな。

V. 命令形 (2) (設問の指示、教育上の命令や指示)

はは じ はや お  
母： もう8時ですよ。早く起きなさいよ。  
こ  
子： はあいよ。

もんだい つぎ ふん よ しつもん こた  
<テスト問題> 次の文を読んで質問に答えなさいよ。  
きょうし ねんせい ぜんいん こうてい しゅうごう  
<教師> 1年生は全員 校庭に集合しなさいよ。



《命令形》

		命 令 形		
		肯 定	否 定	一なさい
I	行く か書く よ読む はな話す た立つ い言う かえ帰る はし走る	行け か書け よ読め はな話せ た立て い言え かえ帰れ はし走れ	行くな か書くな よ読みな はな話すな た立つな い言うな かえ帰るな はし走るな	行きなさい か書きなさい よ読みなさい はな話しなさい た立ちなさい い言いなさい かえ帰りなさい はし走りなさい
II	み見る た食べる お起きる おぼえる	み見ろ た食べろ お起きろ おぼえろ	み見るな た食べるな お起きるな おぼえるな	み見なさい た食べなさい お起きなさい おぼえなさい
III	く来る する	こ来い しろ	く来るな するな	き来なさい しなさい

練習問題

I. 「一なくて」または「一ないで」を使ってひとつの文にしなさい。

- ① <sup>かんじ</sup>漢字が<sup>おぼえ</sup>られない / <sup>こま</sup>困っている

→

② 計画けいかくを立てない / 旅行りょこうをする

→

③ 日本語にほんごは全然ぜんぜん上手じょうずにならない / テレビゲームばかり上手じょうずになる

→

④ 子供こどもは手てを洗あらわない / 食事しょくじを食たべ始はじめる

→

⑤ 会社かいしゃのそばの食堂しょくどうはあまり高たかくない / まあまあおいしい

→

⑥ 体からだの調子ちょうしがあまりよくない / 1週間しゅうかん会社かいしゃを休やすんだ

→

⑦ 周しゅうさんは自分じぶんで料理りょうりをしない / レストランで食たべる

→

⑧ 社長しゃちょうは会社かいしゃに来こない / ゴルフばかりしている

→

## II. 例にならって形を変えなさい。

例. 書かく→書かけ 書かくな 書かきなさい 書かいてください 書かかないでください

① 行いく →

② 入はいる →

③ 買かう →

④ 寝ねる →

⑤ 食たべる →

⑥ 来くる →

⑦ する →

Ⅲ. 「～ないでください」の形に変えなさい。

- ① 芝生しばふの中なかに入はいる →
- ② ここでたばこすを吸う →
- ③ ここにごみすを捨てる →
- ④ このめかねで太陽たいようを見みる →
- ⑤ テーブをストーブなど等のそばおに置く →
- ⑥ この箱はこを上下じょうげさかさまにする →
- ⑦ コンセントいを入れたままにする →

Ⅳ. 文を完成しなさい。

- ① 私わたしは \_\_\_\_\_ なくこまて困っています。
- ② \_\_\_\_\_ なくざんねんて残念です。
- ③ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ なくいて \_\_\_\_\_ ます。
- ④ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ なくいて \_\_\_\_\_ ばかり \_\_\_\_\_ ています。

Ⅴ. 下の文を読んで質問に答えなさい。

わたし ちち きび ひと こども とき まいにち まいにち しょくじ のこ  
 私の父はとても厳しい人です。子供の時は毎日、毎日、「食事しょくじは残のこさないで  
 ぜんぶ た もの た はなし かなら じ かえ  
 全部ぜんぶ食たべろ」、「物ものを食たべながら話はなしをするな」、「必ず8時までにうちへ帰かえれ  
 わたし おとうと い わたし ちち まえ きんちょう  
 」と、私や弟にいろいろなことを言いました。私は父の前でいつも緊張して  
 はなし こま  
 うまく話はなしがでこまきなくて困りました。  
 いま ぐ すべ じゆう ときどきちち ごえ  
 今はひとり暮ぐらしてすから全すべて自由じゆうですが、時々父のどなり声ときどきちちがなつかしく  
 なります。

1. この人のお父ひとさんとうは、子供こどもにどんなこといを言いましたか。

## 2 7 課

1. \_\_\_\_と\_\_\_\_ (前件が起ると、それに伴っていつも後件が起る。一般的事実)

(1) 季節や自然の変化に伴って必ず起る自然現象・人の行動

に ほん がっこう がつ にゅうがくしき に ほん がつ さくら さ  
日本の学校は4月に入学式をします。日本では4月になると、桜が咲きますから  
にゅうがくしき と き さくら  
入学式の時には桜がきれいです。

に ほん なつ あつ  
日本は 夏になると、とてもむし暑くなります。

に ほん やま あき こ は こうよう  
日本の 山は 秋になると、木の葉が紅葉して、きれいです。

に ほん きた ほう ふゆ  
日本の北の方は冬になると、スキーができます。

かわ おおあめ みず  
この川は 大雨がふると、水があふれます。

(2) 習性、性癖、習慣

A: ビール、もう1杯いかがですか。

B: いやあ、もう結構です。私はお酒が弱くて...。 お酒を飲むと、すぐ  
むね  
胸がどきどきするんですよ。

(a) わたし さけ の ようき  
私は お酒を飲むと、陽気になります。

わたし たか ところ た あし ふる  
私は高い所に立つと、足が震えます。

しゅじん ねつ で  
主人はかぜをひくと、いつも熱が出ます。

(b) に ほん おとこ こ さい しちご さん いわ  
日本では男の子が5歳になると、七五三のお祝いをします。

に ほん いわ かえ  
日本では お祝いをもらうと、お返しをします。

に ほん こども う し ごと じょせい おお  
日本では 子供が生まれると、仕事をやめる女性が多いです。

- (3) 薬の効能や副作用、機械の使用法、道順の説明等で、前件の行為をするとその結果どうなるかを言う

A: すみません、このコピー機き つか かた おしの使い方を教えてください。

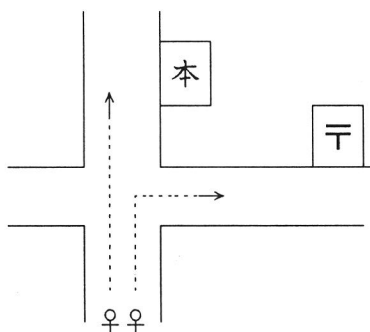
B: はい。まず、このスイッチを押すと、電源でんげんが入ります。それから、ここに原稿げんこうを置いて、スタートボタンを押すと、コピーができます。

〈使用法〉 この機械き かいは ここを押すと、ふたが開きます。

〈注意書き〉 この薬を の飲むと、ねむくなります。

〈道順〉 郵便局はあの角を右に曲がると、左側にあります。

〈道順〉 本屋はこの道をまっすぐ行くと、右側にあります。



## 練習問題

I. 「と」を使ってひとつの文にきなさい。

① 春はるになります／いろいろな花はなが咲さきます →

② 夏なつになります／人ひとは海うみや山やまへ遊びあそびに行いきます →

③ 12月がつになります／クリスマス・ツリーを飾かざります →

④ おなかがいっぱいになります／眠<sup>ねむ</sup>くなります →

⑤ 塩分<sup>えんぶん</sup>をとり過ぎ<sup>す</sup>ます／血圧<sup>けつあつ</sup>が<sup>たか</sup>高くなります →

⑥ 花<sup>はな</sup>に水<sup>みず</sup>をやり過ぎ<sup>す</sup>ます／くさってしまいます →

⑦ 後楽園<sup>こうらくえん</sup>駅<sup>えき</sup>で電車<sup>でんしゃ</sup>を降<sup>お</sup>ります／すぐ、東京ドーム<sup>とうきょう</sup>が<sup>み</sup>見えます →

⑧ 駅<sup>えき</sup>を出<sup>で</sup>て右<sup>みぎ</sup>に行<sup>い</sup>きます／つきあたりに学校<sup>がっこう</sup>が<sup>あ</sup>ります →

## II. 文を完成しなさい。

① 私の国<sup>わたくし くに</sup>では \_\_\_\_\_ になると、 \_\_\_\_\_ 。

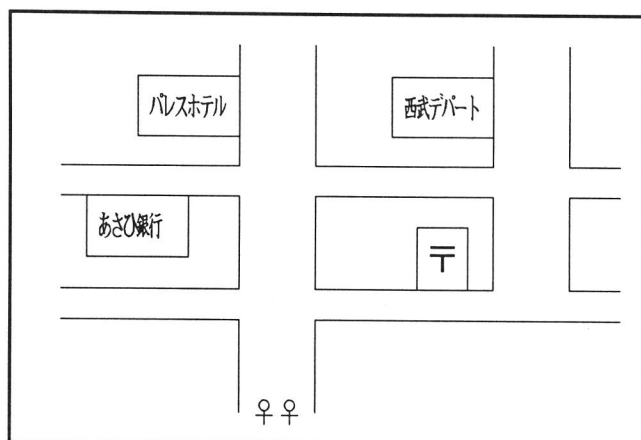
② 私はお酒<sup>わたし さけ の</sup>を飲<sup>の</sup>むと、 \_\_\_\_\_ 。

③ 私は \_\_\_\_\_ と、 \_\_\_\_\_ 。

④ 私の国<sup>わたくし くに</sup>では子供<sup>こども</sup>が<sup>う</sup>生まれると、 \_\_\_\_\_ 。

⑤ 私の国<sup>わたくし くに</sup>では子供<sup>こども</sup>が \_\_\_\_\_ 歳<sup>さい</sup>になると、 \_\_\_\_\_ 。

III. 地図を見て道順を説明しなさい。



例. A: 近くに郵便局はありますか。

B: ええ、次の角を右に曲がると、左側にあります。

① A: あさひ銀行はどこにありますか。

B: \_\_\_\_\_。

② A: 西武デパートはどちらでしょう。

B: \_\_\_\_\_。

③ A: パレスホテルへ行きたいんですが。

B: \_\_\_\_\_。

IV. あなたのうちのテレビや洗濯機等の使い方を説明しなさい。

V. 下の文を読んで質問に答えなさい。

わたしきゅうしゅう <sup>ながさき</sup> う <sup>ながさき</sup> れきし <sup>まち</sup> はる  
私は九州の長崎で生まれました。長崎は歴史のある、すてきな町です。春に  
なると <sup>やま</sup> <sup>しゃめん</sup> <sup>さくら</sup> <sup>はな</sup> <sup>さ</sup> <sup>やま</sup> <sup>み</sup> <sup>あき</sup>  
なると山の斜面に桜やつつじの花が咲いて、山がピンクに見えます。秋になる  
<sup>かいる</sup> <sup>じゅ</sup> <sup>は</sup> <sup>お</sup> <sup>あか</sup> <sup>き</sup> <sup>いる</sup> <sup>は</sup> <sup>ほ</sup> <sup>どう</sup>  
と街路樹の葉が落ちて、赤や黄色の葉で歩道にじゅうたんかできます。  
<sup>よる</sup> <sup>やま</sup> <sup>ちようじようのぼ</sup> <sup>まち</sup>  
夜、ロープウェーで山の頂上に登ると、町のあかりがとてもきれいです。み  
なさんもぜひ <sup>どい</sup> 1度行ってみてください。

1. <sup>ながさき</sup> <sup>はる</sup> 長崎の春はどうですか。 <sup>あき</sup> 秋は、そして <sup>よる</sup> 夜はどうですか。



## 28課

### 1. たら

- (1) ある出来事、状況を仮定して、自分の意志、意向、願望を述べたり、人に依頼や勧誘をしたりする。

あしたは友達とハイキングに行く予定ですが、雨が降るかもしれません。  
雨が降ったら、やめようと思っています。

あした 晴れたら、海へ遊びに行こうと思っています。

この仕事が今日中に終わったら、あしたの社内旅行に行きたいと思っています。

あした ひまだったら、友達のうちへ遊びに行こうと思っています。

あした 寒かったら、長袖の服を着ていこうと思っています。

もし 最終電車に乗れなかったら、タクシーでうちへ帰ります。

もし仕事が1人でたいへんだったら、同僚に手伝いを頼みます。

もし 映画がおもしろくなかったら、途中で帰ります。

5時までに手紙が書き終わったら、今日中に郵便局へ持って行ってください。

私が もし 大学入試に 合格したら、ごちそうしてください。

その本、読んでみておもしろかったら、私に貸してください。

あした ひまだったら、うちへ遊びに来ませんか。

あした 天気がよかったら、いっしょにドライブに行きませんか。

あした 寒かったら、コートを持っていったほうがいいですよ。

- (2) 未来の時点であることが起こったり、ある事をしたりした後で何をするか言う

私は来月国へ帰ります。帰ったら、母の手料理を食べたいです。

くに へ かえ たら ともだち あ へ 国へ 帰ったら、友達に会いたいです。

だいがく そつぎょう たら に ほん き ぎょう しゅうしよく おも 大学を卒業したら、日本の企業に就職したいと思っています。

ちょうじょう つ たら ちゅうしよく 頂上に 着いたら、すぐ昼食にします。

つ でんわ ホテルに 着いたら、電話してください。

### (3) 事実に反する仮定

わたし さかな ねったい うみ およ 私か魚だったら、熱帯の海を泳ぎまわりたいです。

もし おくえん おお いえ か もし 1億円あったら、大きい家を買いたいです。

わたし に ほんじん に ほん せいじ か 私か日本人だったら、日本の政治を変えたいです。

わたし わか りゅうがく 私かもっと若かったら、アメリカへ留学したいです。

### (4) 過去に何かをした後、偶然、予期しない出来事があったことを表現する

せんしゅう にちようび ち か てつ の ぐうぜんおおき せんせい あ 先週の日曜日、地下鉄に乗っていたら、偶然大木先生に会いました。

びっくりしました。

つくえ なか せいり むかし しゃしん で 机の中を 整理していたら、昔の写真が出てきました。

まいあさ げつ 毎朝ジョギングをやったら、1か月で3キロもやせました。

きのう かい た いた きのう 貝を 食べたら、おなかか痛くなりました。

## 練習問題

### I. 「-たら」の形に変えなさい。

① やす 安い →

② やす 安くない →

③ げんき 元気 →

- ④ 元気<sup>げんき</sup>じゃない →
- ⑤ おもしろい<sup>えいが</sup>映画 →
- ⑥ おもしろい<sup>えいが</sup>映画じゃない →
- ⑦ 来る<sup>く</sup> →
- ⑧ 来ない<sup>こ</sup> →
- ⑨ 終わる<sup>お</sup> →
- ⑩ 終わらない<sup>お</sup> →
- ⑪ ある →
- ⑫ ない →

## II. 「-たら」の形に変えなさい。

- ① あした(い<sup>てんき</sup>天気 → )、ピクニックに行こうと思<sup>おも</sup>っています。
- ② 田中さんか<sup>たなか</sup>お宅<sup>たく</sup>に(い<sup>ゆうびんう</sup>ない → )、郵便受けにメモを入れておきます。
- ③ 大木先生か<sup>おおき</sup> (来る<sup>く</sup> → )、このメモを渡<sup>わた</sup>してください。
- ④ もし(寒<sup>さむ</sup>い → )、ヒーターをつけてください。
- ⑤ あしたの朝(あ<sup>あさ</sup>起き<sup>お</sup>る → )、すぐ電話<sup>でんわ</sup>をします。
- ⑥ デパートへ行<sup>い</sup>ってみて、もしあまり(高<sup>たか</sup>くない → )買<sup>か</sup>います。
- ⑦ あしたあのアパ<sup>い</sup>ートへ行<sup>い</sup>ってみて、あまり(きれ<sup>い</sup>いじゃない → )  
他<sup>ほか</sup>のアパ<sup>さが</sup>ートを探<sup>さが</sup>します。
- ⑧ 仕事<sup>しごと</sup>か(終<sup>お</sup>わる → )すぐ<sup>かえ</sup>に帰<sup>かえ</sup>ってきます。
- ⑨ き<sup>せいぶ</sup>のう西武デパートへ(行<sup>い</sup>く → )休<sup>やす</sup>みでした。

## III. 文を完成しなさい。

- ① 大<sup>だいがく</sup>学院<sup>いん</sup>に入<sup>はい</sup>ったら、\_\_\_\_\_。
- ② 国<sup>くに</sup>へ帰<sup>かえ</sup>ったら、\_\_\_\_\_。

③ 年をとったら、\_\_\_\_\_。

④ もし1億円あったら、\_\_\_\_\_。

⑤ もしわたしが鳥だったら、\_\_\_\_\_。

⑥ 今度の日曜日、天気がよくったら、\_\_\_\_\_。

⑦ 友達のうちへ遊びに行き、友達がいないかったら、\_\_\_\_\_。

IV. 下の文を読んで質問に答えなさい。

来月、北海道旅行に行きます。札幌と摩周湖へ行く予定です。札幌へ  
行ったら、ぜひみそラーメンを食べようと思っています。札幌のラーメンは  
とてもおいしいと評判ですから。  
摩周湖はいつも霧でよく見えないそうです。もし、天気がよくてきれいに  
見えたら、たくさん写真を撮ろうと思っています。

1. この人は北海道旅行で何をしようと思っていますか。

## 29課

### 1. (動詞・い形容詞) ば (前件は後件が成立するための条件)

#### (1) 期待する目標を達成するための条件、何か問題を解決するための条件

A: わたし げつ に ほんご べんきょう しているんですけど、なかなか <sup>じょうず</sup>上手に  
ならないんですよ。何か <sup>な</sup>いい方法、ありますか。

B: まいにちに ほんじん はな 毎日日本人と話せば、<sup>じょうず</sup>じょうずになりますよ。

〈<sup>ねつ</sup>熱のある人〈<sup>ひと</sup>に〉〉 この薬を <sup>くすり</sup>飲めば、<sup>ねつ</sup>熱が <sup>さ</sup>すぐ下がりますよ。

〈<sup>よる</sup>夜、<sup>ねむ</sup>眠れない人〈<sup>ひと</sup>に〉〉 <sup>ね</sup>寝る前に あた <sup>まへ</sup>たか <sup>ぎゅうにゅう</sup>牛乳を <sup>の</sup>飲めば、よく <sup>ねむ</sup>眠れます。

〈<sup>やす</sup>ラジカセを <sup>か</sup>安く <sup>ひと</sup>買いたい人〉 <sup>い</sup>ディスカント・ショップへ行けば、<sup>やす</sup>ラジカセが <sup>か</sup>安く買えます。

〈<sup>なご</sup>名古屋まで <sup>はや</sup>速く <sup>い</sup>行きたい人〉 <sup>しんかんせん</sup>新幹線に <sup>の</sup>乗れば、<sup>とうきょう</sup>東京から <sup>なご</sup>名古屋まで <sup>じ</sup>1時間半で <sup>い</sup>行けます。

#### (2) 承諾、承認するための条件、一番大切な条件

A: <sup>いま</sup>今、<sup>たか</sup>アパートはどこも <sup>やす</sup>高くて...。安いの <sup>やす</sup>はなかなかありませんよ。

B: <sup>がっこう</sup>学校に <sup>ちか</sup>近ければ <sup>ところ</sup>どんな所でも <sup>い</sup>いいです。どこか <sup>ところ</sup>いい所、ありませんか。

アパートは <sup>やす</sup>安ければ、どこでも <sup>い</sup>いいです。

<sup>けっこんあいて</sup>結婚相手は <sup>やさ</sup>やさしければ、<sup>かお</sup>顔や <sup>もんだい</sup>スタイルは問題じゃありません。

<sup>に</sup>日本語学校は <sup>がっこう</sup>先生が <sup>せんせい</sup>よければ、<sup>すこ</sup>少し <sup>じゅぎょうりょう</sup>ぐらい <sup>たか</sup>授業料が高くて <sup>い</sup>もかまいません。

アパートは <sup>ふろ</sup>風呂が <sup>すこ</sup>あれば、<sup>や</sup>少し <sup>ちん</sup>ぐらい <sup>たか</sup>家賃が高くて <sup>い</sup>もかまいません。

## II. (名詞・な形容詞) なら (前件は後件が成立するための条件)

### (1) 期待する目標を達成するための条件

A: ラジカセを<sup>か</sup>買いたいですけど、どこかて<sup>やす</sup>安く買えますか。

B: ディスカウントショップなら、<sup>やす</sup>安く買えますよ。

<sup>しんかんせん</sup>新幹線なら、<sup>とうきょう</sup>東京から<sup>なごや</sup>名古屋まで<sup>じかんはん</sup>1時間半で<sup>い</sup>行けます。

<sup>たなか</sup>田中さんなら、<sup>コンピユーター</sup>コンピューターの<sup>つか</sup>使い方が<sup>かた</sup>わかります。

<sup>こうがい</sup>郊外なら、<sup>にわ</sup>庭つきの家に<sup>いえ</sup>住めるかもしれません。<sup>と</sup>都内では<sup>むり</sup>無理でしょうかと。

<sup>どようび</sup>土曜日の<sup>ごご</sup>午後なら<sup>あそ</sup>ひまで<sup>き</sup>ですから、<sup>あそ</sup>遊びに来てください。

### (2) 承諾、承認するための条件、一番大切な条件を言う

A: <sup>いま</sup>今は、あまり<sup>いい</sup>いいアパートはありませんよ。

B: <sup>ねが</sup>お願いします。<sup>やす</sup>安いアパートなら、どこでも<sup>いい</sup>いいです。

<sup>がっこう</sup>学校に<sup>ちか</sup>近い、<sup>アパート</sup>アパートなら、どんなところでも<sup>いい</sup>いいです。

<sup>きゅうりよう</sup>給料が<sup>しごと</sup>いい仕事なら、<sup>なん</sup>何でも<sup>いい</sup>いいです。

<sup>けっこんあいて</sup>結婚相手は、<sup>ひと</sup>やさしい人なら、<sup>かお</sup>顔や<sup>もんだい</sup>スタイルは問題じゃありません。

<sup>じゅぎょうりよう</sup>授業料が<sup>やす</sup>安い、<sup>がっこう</sup>学校なら、どんな学校でも<sup>いい</sup>いいです。

## 練習問題

### I. 「一ぱ」形に変えなさい。

① A: この頃<sup>ごろ</sup>からだの<sup>ちょうし</sup>調子がよくないんです。どうすればよくなるでしょうね。

B: 毎日<sup>まいにち</sup>ビタミン剤を<sup>ざい</sup>(飲む→<sup>の</sup>) よくなりますよ。

② A: もう少し<sup>すこ</sup>やせたいんですけど、何か<sup>なに</sup>いい方法<sup>ほうほう</sup>、あるでしょうか。

B: 毎日<sup>まいにち</sup>、運動<sup>うんどう</sup>を(する→) やせるんじゃないませんか。

- ③ A: 日本人の普通の話がなかなか聞きとれないんですけど、どうすればいいでしょう。
- B: 毎日、テレビのドラマを（見る→ ）聞く力がつくと思いますよ。
- ④ A: このテレビ、つかないんですけど、こわれたんでしょうか。
- B: ほら、ここを（押す→ ）つきますよ。
- ⑤ A: 周さんはもう日本語の新聞が読めますか。
- B: 辞書を（使う→ ）読めます。
- ⑥ A: 皆さん、タクシーで行きませんか。
- B: タクシーは高いでしょう。バスで行きましょうよ。
- A: 4人いっしょに（乗る→ ）タクシーの方が安いですよ。
- ⑦ A: 図書館で本を借りたいんですが、何か許可証が必要ですか。
- B: いいえ。住所と名前と電話番号を用紙に書いて（出す→ ）借りられますよ。簡単ですよ。
- ⑧ A: あ、もう12時だ。最終電車に乗れますか。
- B: 急いで（行く→ ）乗れますよ。
- ⑨ A: 赤ちゃん、いつ生まれるんですか。
- B: 来月なんです。
- A: 山田さんのお子さんだから、きっと頭のいい子が生まれるでしょうね。
- B: いいえ。無事に（生まれる→ ）、どんな子供でもいいと思いますよ。

II. 「一ぱ」または「一なら」の形に変えなさい。

- ① 息子の結婚相手に誰か<sup>だれ</sup>いい人<sup>ひと</sup>、いませんか。健康で<sup>けんこう</sup>（明る<sup>あか</sup>い人<sup>ひと</sup>→<sup>ひと</sup>）、  
どんな人でもいい<sup>おも</sup>と思っているんですか。
- ② 何か仕事<sup>しごと</sup>はないでしょうか。うちから（近<sup>ちか</sup>い→<sup>すこ</sup>）、少しぐらい  
たいへんな仕事<sup>しごと</sup>でもいい<sup>おも</sup>んですか。
- ③ A: このタクシー、6人乗<sup>にん</sup>れますか。  
B: ちょっと無理<sup>むり</sup>ですね。（5人<sup>にん</sup>→<sup>の</sup>）、乗<sup>の</sup>れますか。
- ④ A: 誰か<sup>だれ</sup>、コンピューターの使<sup>つか</sup>い方<sup>かた</sup>がわかりますか。  
B: （陳<sup>ちん</sup>さん→<sup>おも</sup>）、わかん<sup>おも</sup>と思いますよ。
- ⑤ A: おかあさん、新<sup>あたら</sup>しい自<sup>じ</sup>転<sup>てん</sup>車<sup>しゃ</sup>、買<sup>か</sup>ってよ。  
B: 2万円<sup>まんえん</sup>より（安<sup>やす</sup>い→<sup>か</sup>）、買<sup>か</sup>ってもいい<sup>おも</sup>わよ。

III. 文を完成しなさい。

- ① \_\_\_\_\_ ば、日本語<sup>にほんご</sup>がじょうずになるとおも<sup>おも</sup>います。
- ② \_\_\_\_\_ ば、日本の大学<sup>にほん だいがく</sup>に入<sup>はい</sup>れるとおも<sup>おも</sup>います。
- ③ アパートは \_\_\_\_\_、どこでもいい<sup>おも</sup>です。
- ④ 仕事<sup>しごと</sup>は \_\_\_\_\_、何<sup>なん</sup>でもいい<sup>おも</sup>です。



IV. 下の文を読んで質問に答えなさい。

わたし いま さが まいにち じ じ はん がっこう じゅぎょう  
私は今、アルバイトを探している。毎日9時から12時半まで学校の授業が  
あるので、午後しか働けない。時間が合えばどんな仕事でもいいから、本当は  
できれば日本語を使う機会の多い仕事をしたいと思っている。例えばレストラ  
ンのウェ이터とか、コンビニエンス・ストアの店員とか。そういう仕事なら  
に ほんじんどうし かいわ き じ ぶん はな れんしゅう おも  
日本人同士の会話を聞いたり、自分でも話す練習ができるのでいいと思う。  
それに、しょくひんかんけい し ごと みせ しょくじ で あま しょうひん やす か  
それに、食品関係の仕事なら、店で食事が出たり、余った商品が安く買えると  
き 聞いたことがある。もしほんとう いったきに ちょう  
聞いたことがある。もし本当なら、一石二鳥だ。

1. レストランのウェ이터やコンビニエンス・ストアの店員のアルバイトを  
すると、どんな点で便利ですか。

### 30 課

#### I. (動詞現在形) とき (変化、移動、動作がすっかり完了していない時期)

に ほん ぶつ か たか やす に ほん く わたし  
日本は物価が高いですが、ホンコンは安いです。日本へ来るとき、私は  
ホンコンで服をたくさん買ってきました。

わたし に ほん く の  
私は 日本へ 来るとき、JALに乗ってきました。  
ともだち くにかえ わたしたち そうべつかい  
友達 国へ 帰るとき、(私達) 送別会をしました。  
わたし かいしゃ どうりょう てんきん おく  
私の会社では同僚が転勤するとき、みんなでせんべつを贈ります。

#### II. (動詞過去形) とき (変化、移動、動作が完了した直後)

わたし はんとしまえ に ほん き に ほん ひと おお おも  
私は、半年前に日本に来たとき、日本は人が多くていやだと思いましたが、  
いま な  
今はもう慣れました。

わたし きょねん くにかえ だいがく ともだち あ  
私は 去年、国へ帰ったとき、大学の友達に会いました。  
に ほん ひ こ きんじょ い  
日本では引っ越しをしたとき、近所のうちにあいさつに行きます。  
ともだち けっこん わたし ともだち いわ も  
友達 結婚したとき、(私は) 友達のうちにお祝いを持って行きました。

#### III. \_\_\_\_\_ してから (前件の動作、変化のあとに後件の動作をする、又は後件が起こる)

しゅう に ほん く まえ に ほんご べんきょう はじ わたし に ほん き  
周さんは日本へ来る前に日本語の勉強を始めたそうですが、私は日本へ来て  
べんきょう はじ かれ ほう きかん なが に ほんご じょうず  
から勉強を始めました。彼の方が期間が長いので、日本語が上手です。

わたし て あら しょくじ  
私は いつも 手を 洗ってから食事をします。  
ひと いえ ほうもん とし でんわ い  
人の家を訪問する時は、電話をしてから行きます。  
わたし いま し ごと はじ まいにち せいかつ たの  
私は 今の仕事を 始めてから毎日の生活が楽になりました。

練習問題

I. 適当な形に変えなさい。

- ① 昼間、人<sup>ひるま ひと あ</sup>と（会います→ ）ときは、「こんにちは<sup>い</sup>」と言います。
- ② 私<sup>わたし</sup>は人<sup>ひと あ</sup>と（会います→ ）ときは、約束<sup>やくそく</sup>の時間<sup>じ かん</sup>の15分<sup>ふん</sup>前<sup>まえ</sup>に行きます。
- ③ 大阪<sup>おおさか</sup>から帰<sup>かえ</sup>って（きます→ ）とき、新幹線<sup>しんかんせん</sup>の中<sup>なか</sup>で林<sup>はやし</sup>さん<sup>あ</sup>に会いました。
- ④ 大阪<sup>おおさか</sup>から帰<sup>かえ</sup>って（きます→ ）とき、郵便<sup>ゆうびん</sup>受け<sup>うけ</sup>に母<sup>はは</sup>からの手紙<sup>てがみ</sup>が<sup>はい</sup>入<sup>い</sup>って  
いました。
- ⑤ 去年<sup>きょねん</sup>、ワイへ（行きます→ ）とき、おみやげ<sup>かい</sup>に貝<sup>かい</sup>のネックレスを  
買<sup>か</sup>いました。
- ⑥ 去年<sup>きょねん</sup>、ワイへ（行きます→ ）とき、成田<sup>なりた</sup>空港<sup>くうこう</sup>の近<sup>ちか</sup>くのホテルに  
と泊<sup>と</sup>まりました。
- ⑦ そうじを（します→ ）ときは、窓<sup>まど</sup>を開<sup>あ</sup>けたほうかいいです。
- ⑧ そうじを（します→ ）ときは、部屋<sup>へや</sup>の中<sup>なか</sup>がきれい<sup>きれい</sup>になっています。

II. 「一てから」を使ってひとつの文にしてください。

例. 朝<sup>あさ</sup>、着替<sup>きが</sup>えます／食事<sup>しょくじ</sup>をします → 朝<sup>あさ</sup>、着替<sup>きが</sup>えてから食事<sup>しょくじ</sup>をします。

- ① 私<sup>わたし</sup>は毎朝<sup>まいあさ</sup>歯<sup>は</sup>をみ<sup>か</sup>がきます／顔<sup>かお</sup>を洗<sup>あら</sup>います →
- ② 他<sup>ほか</sup>の会社<sup>かいしや</sup>の人<sup>ひと あ</sup>と会<sup>あ</sup>うときは電話<sup>でんわ</sup>で約束<sup>やくそく</sup>をします／会<sup>あ</sup>います  
→
- ③ ティーポット<sup>なか</sup>の中<sup>こうちや</sup>に紅茶<sup>は</sup>の葉<sup>ゆ</sup>とお湯<sup>ゆ</sup>をい<sup>い</sup>れて30秒<sup>びよう</sup>ぐら<sup>ま</sup>い待ちます／  
カップ<sup>い</sup>に入<sup>い</sup>れてください →
- ④ カップ<sup>い</sup>をあたためます／スープ<sup>い</sup>を入<sup>い</sup>れたほうかいいです  
→

- ⑤ 全員会議室に集まります／部長を呼んだほうがいいです

→

### Ⅲ. 文を完成しなさい。

- ① (私は) 日本へ来るとき、\_\_\_\_\_。
- ② 日本へ来たとき、\_\_\_\_\_。
- ③ 日本へ来てから\_\_\_\_\_。

### Ⅳ. 下の文を読んで質問に答えなさい。

わたし ひとり むすめ けっこん むすめ いま さい こ う まえ わたし  
私の一人娘がもうすぐ結婚する。娘は今25歳。この子が生まれる前、私は  
おとこ こ ほ おとこ な まえ かんが おんな き すこ  
男の子が欲しかったので、男の名前しか考えていなかった。女だと聞いて少し  
がっかりしたが、つま うれ かお おお こえ な こども み かんどう  
妻の嬉しそうな顔と、大きな声で泣く子供を見たとき、感動  
なみだ で  
して涙が出た。  
むすめ う まえ ざんぎょう ざんぎょう まいにち う ざんぎょう へ  
娘が生まれる前は、残業、残業の毎日だったが、生まれてからは残業を減ら  
した。あか ぼう かお ようす まいにちすこ か み たの  
赤ん坊の顔や様子は毎日少しずつ変わるので、それを見るのが楽しみだ  
だった。だいす  
大好きなたばこもやめた。  
らいげつむすめ で なみだ で むすめ けっこんしき で  
来月娘がうちを出るとき、涙が出るかもしれない。娘の結婚式には出たいが  
で 出たくない。いま うれ さび ま ふくざつ き も  
今は嬉しさと寂しさの交じった複雑な気持ちだ。

1. この人は娘が生まれる前と生まれた後で、どう変わりましたか。
2. 今、この人はどんな気持ちですか。

### 3 1 課

#### 1. \_\_\_\_\_ か / \_\_\_\_\_ かどうか

らいしゅう しゅないりょこう はこね い わたし いま いそが  
来週の社内旅行はバスで箱根へ行きます。私は今とても忙しいので、みんな  
いっしょ い どうか わかりません。あと ひとり でんしゃ の い  
ど一緒に行けるかどうか。後から1人で電車に乗って行くかも  
しれないので、どこに泊まるか、何時の電車があるか、調べておかなくちや  
なりません。

(1)

なんにんしゅないりょこう い  
何人社内旅行に行くか まだわかりません。 ← { なんにんしゅないりょこう い  
あした なんじ あつ し (私は) まだわかりません。  
あした何時に集まるか 知っていますか。

しゅうごうばしょ  
集合場所はどこか わかりません。  
かんじ だれ し  
幹事は 誰か 知っていますか。

なに き おし  
あしたのパーティーに何を着ていけばいいか 教えてください。  
き かい つか し  
この機械は どう使えばいいか 知っていますか。

(2)

わたし りょこう い  
(私は) 旅行に 行けるかどうか わかりません。 ← { りょこう い  
わたし (私は) わかりません。

まど  
けさ 窓に かぎを かけたかどうか おぼえていません。  
おおや しんせつ し  
あのアパートの大家さんは親切かどうか 知っていますか。  
かいしゃ きゅうりょう し  
あの会社は 給料がいくらかどうか 知っていますか。

II. \_\_\_\_\_のか / \_\_\_\_\_のかどうか (強い疑問の気持ちを表す)

あいだりょこう　とき　やま　なか　みち　まよ　ちず　み  
この間旅行をした時、山の中で道に迷ってしまいました。地図を見ましたが  
じぶん　ばしょ　い  
自分のいる場所もよくわかりませんでした。どう行けばいいのかわからなくて  
ほんとう　こま  
本当に困りました。

(1)

な　まえ　なん　よ  
この名前は何と読めばいいのか　わかりません。

← {　な　まえ　なん　よ  
この名前は何と読めばいいんですか。  
わかりません。

だれ　つぎ　だいとうりょう　きょうみ  
誰が　次の　大統領になるのか　興味があります。

(2)

やまもと　ほんとう　く　ぎ　もん  
山本さんが本当に来るのかどうか　疑問です。← {　やまもと　ほんとう　く  
山本さんは本当に来るんですか。  
ぎ　もん  
疑問です。

さんこうしょ　か　まよ  
参考書を買ったほうがいいのかどうか　迷っています。

練習問題

I. ふたつの文をひとつにしてください。

例. あしたのパーティーに何人来ますか／知っていますか

→ あしたのパーティーに何人来るか／知っていますか。

① あしたどこに集まりますか／わかりません

→

② あのアパートは静かですか／知っていますか

→

③ 会議<sup>かいぎ</sup>が<sup>お</sup>終わりましたか／秘書<sup>ひしよ</sup>にききました

→

④ 日<sup>ひ</sup>当たりか<sup>あ</sup>いいてすか／自分<sup>じぶん</sup>で<sup>たし</sup>確かめてからアパート<sup>き</sup>を決めました

→

⑤ 来週<sup>らいしゅう</sup>のスピーチ<sup>なに</sup>で何を<sup>はな</sup>話せばいいんですか／わかりません

→

⑥ 私<sup>わたし</sup>は何<sup>なに</sup>をしたんですか／きのう<sup>よ</sup>酔っていたのでおぼえていません

→

⑦ この電車<sup>でんしゃ</sup>は何時<sup>なんじ</sup>に東京<sup>とうきょう</sup>に着<sup>つ</sup>きますか／車掌<sup>しゃしょう</sup>にききました

→

⑧ 入学<sup>にゅうがく</sup>願書<sup>がんしょ</sup>の書き方<sup>か</sup>はこれでいいんですか／先生<sup>せんせい</sup>にきいてみたほうがいいです

→

## II. 次の文を読んで下の質問に答えなさい。

来月<sup>らいげつ</sup>、日本人<sup>にほんじん</sup>の友人<sup>ゆうじん</sup>が結婚<sup>けっこん</sup>するのですか、お祝<sup>いわ</sup>いにどんなものを贈<sup>おく</sup>れたいでしょう。日本<sup>にほん</sup>ではお金<sup>かね</sup>もあげると聞<sup>き</sup>きましたか、普通<sup>ふつう</sup>いくらぐらいあげるのでしょう。結婚<sup>けっこん</sup>式<sup>しき</sup>の時<sup>とき</sup>には、出席<sup>しゅっせき</sup>者はどんな服<sup>ふく</sup>を着<sup>き</sup>るのでしょう。私<sup>わたし</sup>はその日<sup>ひ</sup>会社<sup>かいしゃ</sup>から行<sup>い</sup>くので普段<sup>ふだん</sup>の服<sup>ふく</sup>です。スーツで出席<sup>しゅっせき</sup>してもいいでしょうか。

質問<sup>しつもん</sup> この人は今<sup>ひと いま</sup>、どんなことがわかりませんか。四<sup>よつ</sup>つ書きなさい。

①

②

③

④

Ⅲ. あなたは日本の生活や習慣の中で何かわからないことがありますか。

「一か」、「一のか」、「一かどうか」、「一のかどうか」を使って書きなさい。

①

②

③

Ⅳ. 下の文を読んで質問に答えなさい。

いま しんり わか ひとたち あいだ りゅうこう かんたん しつもん  
今、心理テストが若い人達の間で流行している。簡単な質問をして、その  
こた ひと せいかく いまなに ほ  
答えからその人がどんな性格かとか、今何が欲しいか、などかかるといふ。  
たと め まえ なか みず はい  
例えば、「あなたの目の前にコップがあります。その中に水はどれくらい入っ  
ていますか。想像してみてください。」これで、その人が今の生活にどれくらい  
まんぞく ほんとう あ  
満足しているかかかるといふ。このテストが本当に当たるかどうかはよく  
わからないか、あそ おも  
遊びでやってみるのはおもしろいと思う。

1. 心理テストでどんなことがわかりますか。



## 3 2 課

### 1. 敬語 (1)ー 尊敬語 (相手、または話題の人に尊敬の気持ちを表す)

(1)

〈パーティーで〉

この方は周さんとおっしゃいます。周さんは東洋電機の研修生で、先月日本へいらっしゃいました。料理が大好きで、よくご自分でイタリア料理をお作りになるそうです。

陳さんはいつ日本へいらっしゃいましたか。 ← 来る

陳さんは京都へいらっしゃったことがありますか。 ← 行く

陳さんはどちらに住んでいらっしゃいますか。 ← いる

陳さんはご兄弟はいらっしゃいますか。 ← いる

陳さんはよくスポーツをなさいますか。 ← する

陳さんはよく映画をごらんになりますか。 ← 見る

陳さんは日本語の新聞をお読みになりますか。 ← 読む

(2)

〈デパートのアナウンス〉

今日は7時まで営業しておりますので、ごゆっくりとごらんください。  
お子様連れのお客様は、お手をひいて、エレベーターにお乗りください。

少々お待ちになってください。 / 少々お待ちください。 ← 待つ

このかさをお使いになってください。 / このかさをお使いください。 ← 使う

この地図をごらんになってください。 / この地図をごらんください。 ← 見る

またいらっしゃってください。 ← 来る

《尊敬語》

	尊 敬 語		
聞 <sup>き</sup> きます	お聞 <sup>き</sup> きになります	お聞 <sup>き</sup> きになる	お聞 <sup>き</sup> きになってください お聞 <sup>き</sup> きください
読 <sup>よ</sup> みます	お読 <sup>よ</sup> みになります	お読 <sup>よ</sup> みになる	お読 <sup>よ</sup> みになってください お読 <sup>よ</sup> みください
入 <sup>はい</sup> ります	お入 <sup>はい</sup> りになります	お入 <sup>はい</sup> りになる	お入 <sup>はい</sup> りになってください お入 <sup>はい</sup> りください
待 <sup>ま</sup> ちます	お待 <sup>ま</sup> ちになります	お待 <sup>ま</sup> ちになる	お待 <sup>ま</sup> ちになってください お待 <sup>ま</sup> ちください
行 <sup>い</sup> きます 来 <sup>き</sup> ます います	いらっしゃいます	いらっしゃる	いらっしゃってください
言 <sup>い</sup> います	おっしゃいます	おっしゃる	おっしゃってください
し <sup>し</sup> ます	なさいます	なさる	なさってください
*食 <sup>た</sup> べます の *飲 <sup>の</sup> みます	め 召 <sup>め</sup> し上 <sup>あ</sup> がります	め 召 <sup>め</sup> し上 <sup>あ</sup> がる	め 召 <sup>め</sup> し上 <sup>あ</sup> がってください め 召 <sup>め</sup> し上 <sup>あ</sup> がりください
見 <sup>み</sup> ます	ごらんになります	ごらんになる	ごらんになってください ごらんください

- \* 食<sup>た</sup>べます→ お食<sup>た</sup>べになります  
 \* 飲<sup>の</sup>みます→ お飲<sup>の</sup>みになります

} この形<sup>かたち</sup>も使<sup>つか</sup>います。

## II. 敬語 (2) - 謙讓語

(1) 自分及び身内の行為をへりくだって表現し、相手への尊敬の気持ちを表す

しゅう もう      せんげつに      ほん           とうようでんき      けいり      し      こと  
周と申します。先月日本へまいりました。東洋電機で經理の仕事をして  
おります。今、小岩の社員寮に住んでおります。

わたし      ことし      がつ      に      ほん  
(私は) 今年の4月に日本へまいりました。

わたし      せんげつ           きょうと  
(私は) 先月、      京都へまいりました。

わたし      あに      ふたり      いもうと      ひとり  
(私は) 兄が2人と妹が1人おります。

あに      いま      ふなばし      す  
兄は 今、 船橋に住んでおります。

(2) 相手に対する自分の行為をへりくだって表現し、相手への尊敬の気持ちを表す

てんいん      きやくさま                とど  
店員： お客様、このテレビは、いつお届けしましょうか。

きやく                こんしゅう      ど      ようび      とど  
客：      そうですね。今週の土曜日に届けてください。

わたし                     おく  
(私は) あしたテーブルを      お送りします。

わたし      かいぎ      じ      かん      ぎ      だい           し  
(私は) 会議の時間と議題をお知らせします。

わたし                     か  
私の かさを      お貸ししましょうか。

えき                ちかみち                おし  
駅までの 近道を      お教えしましょうか。

せんせい                                    しょうかい  
いい先生を      ご紹介しましょうか。

《謙讓語》

		謙 讓 語	
(1)	いきます } 来ます }	まいります	まいる
	います	おります	おる
	いいます	もう 申します	もう 申す
	します	いた 致します	いた 致す
	た 食べます } の 飲みます }	いただきます	いただく
	み 見ます	はいけん 拝見します	はいけん 拝見する
	ほうもん 訪問します	うかがいます	うかがう
(2)	もちます } も 持っています }	もちます	もちする
	も 持ってきます }		
	ま 待ちます	お待ちします	お待ちする
	おし 教えます	お教えします	お教えする
	み 見せます	お見せします	お見せする
	おく 送ります	お送りします	お送りする
	か 貸します	お貸しします	お貸しする
	か 借ります	お借りします	お借りする
	かえ 返します	お返しします	お返しする
	あんない 案内します	ご案内します	ご案内する
	しょうかい 紹介します	ご紹介します	ご紹介する
	そうだん 相談します	ご相談します	ご相談する

### 練習問題

I. 次の語の尊敬語を例にならって書きなさい。

例. 見る→<sup>み</sup>ごらんになる      ごらんになった      ごらんになります  
ごらんになってください

- ① 行く、来る、いる →
- ② する →
- ③ 食べる →
- ④ 言う →
- ⑤ 読む →
- ⑥ する →
- ⑦ 書く →
- ⑧ 話す →
- ⑨ 聞く →
- ⑩ 入る →

II. 次の語の謙譲語を例にならって書きなさい。

例. 行く → まいる まいった まいります まいりましょうか

- ① <sup>おし</sup>教える →
- ② <sup>い</sup>言う →
- ③ する →
- ④ <sup>しょうかい</sup>紹介する →
- ⑤ <sup>し</sup>知らせる →
- ⑥ <sup>も</sup>持ってくる →
- ⑦ <sup>つ</sup>連れてくる →
- ⑧ <sup>あんない</sup>案内する →

⑨ <sup>て つだ</sup> 手伝う →

⑩ <sup>か</sup> 貸す →

Ⅲ. ( ) の中のことばを適当な尊敬語または謙讓語に変えなさい。

① <sup>ちん</sup> 陳: <sup>か ちょう わたし くに き</sup> 課長は私の国へ (来た→ ) ことがありますか。

<sup>か ちょう</sup> 課長: ええ、ありますよ。2年前に上海へ行きました。

② <sup>か ちょう</sup> 課長: <sup>ちん きょうと い</sup> 陳さんは京都へ行ったことがありますか。

<sup>ちん</sup> 陳: ええ、先月出張で (行きました→ )。

③ <sup>ちん</sup> 陳: <sup>ぶ ちょう ちゅうかりようり た</sup> 部長はよく中華料理を (食べますか→ )。

<sup>ぶ ちょう</sup> 部長: ええ、私は大好きで、1週間に1回ぐらい食べますよ。

④ <sup>た なか</sup> 田中: こんにちは。

<sup>ちん</sup> 陳: あ、<sup>た なか</sup> 田中さん、よく (来ました→ )。

どうぞ (入ってください→ )。

<sup>た なか</sup> 田中: <sup>しつれい</sup> 失礼します。きれいなアパートですね。

<sup>ちん</sup> 陳: いいえ。どうぞこちらに (すわってください→ )。

<sup>た なか</sup> 田中: はい、ありがとうございます。

⑤ <sup>ちん</sup> 陳: <sup>わたし つく りようり</sup> これ、私が作った料理なんですが、どうぞ (食べてください→

)。

<sup>た なか</sup> 田中: あ、おいしそうですね。 (食べます→ )。

⑥ <sup>ちん</sup> 陳: <sup>くに も</sup> これ、国から持ってきたアルバムですが、 (見ますか→ )。

<sup>た なか</sup> 田中: あ、 (見ます→ )。

<sup>きょうだい なんにん</sup> ご兄弟は何人 (いますか→ )。

ちん 陳：<sup>にん</sup> 3人です。<sup>あにふたり</sup> 兄2人と<sup>いもうと</sup> 妹です。

た なか 田中：<sup>にい</sup> お兄さんは<sup>ちゅうごく</sup> 中国に（いるんですか→）。

ちん 陳：<sup>うえ</sup> 上の兄は<sup>あに</sup> 北京で<sup>べ ぎん</sup> レストランを<sup>けいえい</sup>（経営しています→）。

<sup>した</sup> 下の兄は<sup>あに</sup> アメリカの<sup>だいがく</sup> 大学に<sup>い</sup>（行っています→）。

- ⑦ 客：<sup>きやく</sup> すみません、<sup>わたくしみついで</sup> 私、<sup>ぎんこう</sup> 三井銀行の<sup>はやし</sup> 林と<sup>い</sup>（言います→）、  
<sup>じ</sup> 2時に<sup>いしだ</sup> 石田部長と<sup>あ</sup>（会う→）<sup>やくそく</sup> 約束なんですが、<sup>ぶ ちょう</sup> 部長  
（いますか→）

しゃいん 社員：<sup>しょうしょうま</sup> はい。少々（待ってください→）。

.....  
<sup>いま</sup> ただ今、<sup>せき</sup> 席を（はずしています→）が、<sup>もと</sup> すぐ戻ります  
ので、<sup>こちらに</sup>（ゆけて→）しばらく<sup>ま</sup>（待ってください  
→）。

- ⑧ 客：<sup>きやく</sup> <sup>こうざ</sup> 口座を作りたいんですか。

<sup>ぎんこういん</sup> 銀行員：<sup>はい</sup> はい。では、<sup>じゅうしょ</sup> こちらにご住所と<sup>な まえ</sup> お名前を<sup>か</sup>（書いてください→  
）。

- ⑨ 部長：<sup>ぶ ちょう</sup> 陳さん、<sup>ちん</sup> 日中辞典を<sup>にっちゅうじてん</sup> 買いたいと思っ<sup>おも</sup>（ているんだけど、<sup>なに</sup> 何か<sup>なんに</sup> の、  
ないかな。

ちん 陳：<sup>うち</sup> うちにありますから、<sup>あした</sup> あした<sup>も</sup>（持ってきてましょうか→

ぶ ちょう 部長：<sup>そう</sup> そう、じゃあ、<sup>たの</sup> 頼むよ。

- ⑩ 陳：<sup>ぶ ちょう</sup> 部長、<sup>にっちゅうじてん</sup> 日中辞典、<sup>も</sup>（持ってきました→）。

ぶ ちょう 部長：<sup>あ</sup> あ、ありがとう。

ちん 陳：<sup>か</sup>（貸します→）から、<sup>ゆっくり</sup> ゆっくり<sup>み</sup>（見てください→）。

ぶ ちょう 部長：<sup>じゃあ</sup> じゃあ、しばらく<sup>か</sup> 借りるよ。

IV. 下の文を読んで質問に答えなさい。

すずき せんせい  
鈴木先生

ごぶさたしております。お元気（げんき）でいらっしゃいますか。わたし（わたし）は日本（にほん）へ来てもう

半年（はんとし）になります。だいふ（にほん）日本の生活（せいかつ）にも慣（な）れました。日本語（にほんご）の勉強（べんきょう）と大学院（だいがくいん）の

入学試験（にゅうがくしけん）の準備（じゅんび）で毎日（まいにち）忙しい（いそが）です。生活（せいかつ）のためにアルバイト（アルバイト）もしなければなり

ません。先生（せんせい）もお忙（いそが）しいですか。

先生（せんせい）が今年（ことし）の秋（あき）頃（ころ）にアメリカ（アメリカ）の大学（だいがく）へい（おく）らっしゃると奥様（おくさま）からお聞（き）きしまし

た。むこうで日本文学（にほんぶんがく）をお教（おし）えになるそう（そう）ですね。先生（せんせい）が出發（しゅっぱつ）なさる前（まえ）に、1

度（ど）お宅（たく）にうか（わ）がってもよろ（わ）しいで（わ）しょうか。私（わたし）の研究（けんきゅう）のこ（そ）とで、ご相（そう）談（だん）したい

こ（こ）とが（わ）あります。またご連（れん）絡（らく）いた（わ）します。よろ（わ）しくお願（ねが）い（わ）いたします。では、

お体（からだ）にお気（き）をつけて。

ねん がつ はつか  
1996年7月20日

し せい  
史 晴

1. 史（し）さん（さん）の日本（にほん）の生活（せいかつ）は（わ）どう（どう）で（で）す（す）か（か）。

2. 史（し）さん（さん）は（わ）どう（どう）して（して）先生（せんせい）に（に）会（あ）いた（いた）い（い）の（の）で（で）す（す）か（か）。



### 3 3 課

#### I. もらう / くれる / あげる

きのうは私の17歳の誕生日だった。両親に時計をもらった。ボーイフレンドに赤いバラを17本もらった。とてもうれしかった。でも、弟は何もくれなかった。来週は母の誕生日なので、ブラウスをあげようと思っている。

##### (1) もらう

わたし (私は) 両親に 時計を もらいました。

わたし (私は) ボーイフレンドに赤いバラを17本もらいました。

##### (2) くれる

姉が (私に) レコードを くれました。

友達が (私に) ブローチを くれました。

弟は (私に) 何も くれませんでした。

##### (3) あげる

わたし (私は) 母にブラウスを あげます。

わたし (私は) 父にセーターを あげようと思っています。

#### II. いただく / くださる / さしあげる

きょう、課長カシワイのおみやげだと言って、チョコレートをごいただきました。先月は、課長の奥さんにブローチをいただきました。来月、私は出張で北海道へ行きますので、帰ってきたら課長ご夫妻におみやげをさしあげたいと思います。

(1) いただく

わたし かちょう おく  
(私は) 課長の奥さんにブローチを いただきました。

わたし せんせい  
(私は) 先生にハンカチを いただきました。

(2) くださる

かちょう わたし  
課長が (私に) チョコレートを くださいました。

たなか わたし  
田中さんが (私に) フランスのおみやげを くださいました。

(3) さしあげる

わたし ぶちょう ちゅうごく ちゃ  
(私は) 部長に中国のお茶を さしあげました。

わたし せんせい おも  
(私は) 先生に おみやげを さしあげたい と思います。

- III. \_\_\_\_\_ てもらう / \_\_\_\_\_ ていただく  
\_\_\_\_\_ てくれる / \_\_\_\_\_ てくださる  
\_\_\_\_\_ てあげる / \_\_\_\_\_ てさしあげる

がつ ふくおか だいがく はい きゅうしゅう きゅうしゅう  
4月に福岡の大学に入ります。九州ははじめてです。九州のことはよく  
わからないので、行く前に福岡出身の友達にいろいろ教えてもらいました。  
とても助かりました。友達はいいアパートも紹介してくれました。友達が夏に  
福岡に帰省したら、こんどは私がいろいろごちそうしてあげようと思っています。  
す。

- (1) \_\_\_\_\_ てもらう / \_\_\_\_\_ ていただく (自分の希望、要望に相手が応えた  
ことに感謝の気持ちを添えて表す。)

わたし ともだち ほうげん おし  
(私は) 友達に 方言を教えてもらいました。

わたし せんせい しょうかいじょうか  
(私は) 先生に紹介状を書いていただきました。

- (2) \_\_\_\_\_ てくれる / \_\_\_\_\_ てくださる (自分に対する人の行為を好意と感じ、感謝の気  
持ちを添えて表す。他者が自発的に行った場合)

ひと わたし さそ  
となりの人が (私を) パーティーに誘ってくれました。

だいがく せんせい わたし すいせんじょう か  
大学の先生が (私のために) 推薦状を書いてくださいました。

- (3) \_\_\_\_てあげる／\_\_\_\_てさしあげる (他人に対する自分の行為を、人を助ける)  
 気持ちを添えて表す

みな (皆さん) お年寄りに としよ せき 席をゆずってあげましょう。

わたし (私は) さとう 佐藤さんのたんじょうび 誕生日に つく ケーキを作ってさしあげたいと思います。 おも

#### IV. \_\_\_\_てもらえませんか／\_\_\_\_ていただけませんか (人にお願いや依頼をする)

えき  
 <駅で>

A: すみません。こ ぜに 小銭がないので、くずしてもらえませんか。

B: はい、わかりました。

がっこう  
 <学校で>

がくせい せんせい じ よ かた おし  
 学生: 先生、この字の読み方を教えてくださいませんか。

せんせい  
 先生: あ、それは「ゆうかた」と読みます。 よ

がくせい  
 学生: はい、わかりました。どうもありがとうございました。

ともだち  
 <友達に>

ち ず か  
 地図を 書いてもらえませんか。

みせ  
 <店で>

せんたくき とど  
 この洗濯機を 届けてもらえませんか。

かいしゃ  
 <会社で>

しよるい た なか わた  
 この書類を田中さんに渡していただけませんか。

かんり にん  
 <アパートの管理人に>

に もつ き あず  
 荷物が 来たら、 預かっていただけませんか。

#### 練習問題

##### I. 正しい方を選びなさい。

- ① わたし ことし はは ぼうし  
 私は今年のクリスマスに母に帽子を (a) あげよう  
 (b) さしあげよう と思っています。 おも  
 (c) くれよう

- ② わたし たんじょうび しゅじん と けい  
 私は誕生日に、主人に時計を (a) くれました。  
 (b) もらいました。  
 (c) いただきました。

- ③ 日本へ来る前に、友達がこのボールペンを { (a) くださったんです。  
(b) もらったんです。  
(c) くれたんです。
- ④ 会社の部長にパリののおみやげを { (a) くださいました。  
(b) いただきました。  
(c) くれました。
- ⑤ 大学卒業の時、友達3人とお金を出し合って、先生にネクタイを  
{ (a) さしあげました。  
(b) いただきました。  
(c) くださいました。
- ⑥ 京都で道に迷ってしまったとき、親切な中学生が地図を書いて { (a) あげた  
(b) くれた  
(c) くださった  
ので、本当に助かりました。
- ⑦ 日本へ来る前に、友達に仕事を探して { (a) くれました。  
(b) いただきました。  
(c) もらいました。
- ⑧ 私か先生に日本語の本を買いたいと言ったら、先生は本屋の電話番号と地図を  
書いて { (a) いただきました。  
(b) くださいました。  
(c) さしあげました。
- ⑨ 先生、この間はいろいろ教えて { (a) もらって  
(b) いただいて ありがとうございます。  
(c) さしあげて
- ⑩ これ、田中さんに { (a) くれた  
(b) くださった ワインなんですけど、召し上がりませんか。  
(c) いただいた

II. 「一てもらえませんか」又は「一ていただけませんか」を使って人に依頼をなさい。

① 駅で： 友人同士

陳： 細かへお金がないんですけど、ちょっと (貸す→) 。

周： ええ、いいですよ。

② 〈会社で〉

陳： 田中はただ今、電話中ですので、ちょっと（待つ→）。

客： はい。

③ 〈学校で〉

陳： 先生、日本語の辞書を買いたいんですが、本屋を（教える→）。

先生： 日本橋に丸善という本屋がありますよ。

陳： 日本橋ですか。よろしかったら、地図を（書く→）。

④ 〈学校で： 友人同士〉

陳： リーさん。教科書を忘れてしまったんですけど、（見せる→）。

リー： ええ、いいですよ。どうぞ。

⑤ 〈会社で： 同僚〉

陳： 田中さん。日本語でレポートを書いたんですけど、ちょっと（見る→）。

田中： ええ、いいですよ。

Ⅲ. 文を完成しなさい。

① 誕生日に \_\_\_\_\_ に \_\_\_\_\_ をもらいました

② 去年のクリスマスに \_\_\_\_\_ に \_\_\_\_\_ をあげました

③ 日本へ来たばかりの時、 \_\_\_\_\_ が わからなかったので  
\_\_\_\_\_ てもらいました。

④ 日本へ来たばかりの時に、

でも、てくれました。

IV. 下の文を読んで質問に答えなさい。

5月の連休に京都と奈良へ3泊の旅行をした。京都にいる友人に案内して  
もらった。京都や奈良は千年以上も前から日本の中心だった所なので、歴史的  
な建物がたくさんある。日本の歴史の勉強にいい所だと思う。東京と違うのは  
それだけではない。関西の人と東京の人では、少し気質が違うと思う。関西の  
人は東京より親しみやすいと思った。

タクシーの運転手はおもしろい店やおいしいレストランをいろいろ教えてく  
れたし、電車の中ではどなりの人々が「旅行ですか」、「どちらから」等と話し  
かけてきた。寺のお坊さんはお茶とお菓子でもてなしてくれた。東京では他人  
と話す機会が少ないから、関西へ行っているいろいろな人と話ができて、本当に  
よかったと思う。

1. 関西の人達<sup>かんさい　ひとたち</sup>はどんな事<sup>こと</sup>をしてくれましたか。

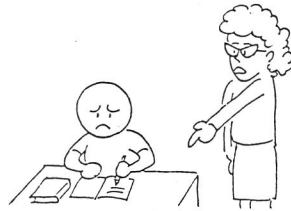
### 3 4 課

#### 1. 使役 (他者の行為や感情の変化を引き起こす)

##### (1) 強制

こども ふ つう べんきょう きら      こども じ ぶん べんきょう      おや せんせい  
子供は普通、勉強が嫌いだ。子供は自分が勉強したいのではない。親や先生  
こども べんきょう      おも  
が子供に勉強させるのだと思う。

わたし こども      て つだ  
私は 子供に うちの手伝いをさせます。  
しゅじん むすこ      くるま あら  
主人は息子に 車を 洗わせます。  
せんせい がくせい      はつおん れんしゅう  
先生は学生に 発音の練習を させました。  
じょうし ぶ か      レポートを か  
上司は部下に レポートを 書かせました。



はやし      ともだち      ま           ともだち      はやし      ま  
\*林さんは 友達を 待たせました。 ← 友達は林さんを待ちました。

わたし      こども      かいもの      い  
私は 子供を 買物に 行かせます。  
せんせい ち こく      がくせい      ろうか      た  
先生は遅刻した学生を 廊下に 立たせました。  
やまだ      ぶ か      よるおそ      はたら  
山田さんは 部下を夜遅くまで 働かせます。  
やまだ      ぶ か      あさはや      かいし      こ  
山田さんは 部下を朝早く会社に来させました。

##### (2) 許容

わたし むすめ らいねん      りゅうがく      か ない      ほんたい      むすめ  
私の娘は来年アメリカへ留学します。家内は反対しましたが、娘がどうして  
い      い      わたし おも      き      い      けっしん  
も行きたいと言うので、私は思い切って行かせてみようと決心しました。

しゅじん      むすこ      す      もの      なん      た  
主人は 息子に 好きな物を何でも 食べさせました。  
やまだ      ぶ か           し ごと  
山田さんは 部下に やりたい仕事をさせます。  
おや      ちい      こども      の  
親は 小さい子供に コーヒーを 飲ませません。

おや      こども      よる      そと      あそ  
親は 子供を 夜、外で 遊ばせません。  
わたし      いぬ      の      はら      じ ゆう      はし  
私は 犬を 野原で自由に走らせました。

(3) ある行為の結果が他者に及ぼす影響

だいがく にゅうがくし けん ごうかく はっぴよう み りょうしん し いま おや  
大学の入学試験に合格した。発表を見てすぐ両親に知らせた。今まで親を  
しんぱい おお よろこ  
心配させることが多かったが、やっと喜ばせることができた。これからは  
おや こま おも  
あまり親を困らせないようにしたいと思う。

やまだ こども とき いえで おや こま  
山田さんは 子供の時、家出をして 親を 困らせました。  
かくせい じゅぎょうちゅうさわ せんせい こま  
このクラスは学生が授業中 騒いで先生を 困らせます。  
さ とう こうつうじ こ お か ぞく かな  
佐藤さんは 交通事故を起こして 家族を 悲しませました。  
わたし ともだち よろこ  
(私は) プレゼントをして 友達を 喜ばせました。  
わたし じょうだん い みんな わら  
(私は) 冗談を 言って みんなを 笑わせました。

《使役形》

		使 役 形	
		肯 定	否 定
I	か 書く	か 書かせる	か 書かせない
	よ 読む	よ 読ませる	よ 読ませない
	き 聞く	き 聞かせる	き 聞かせない
	はな 話す	はな 話させる	はな 話させない
	い 言う	い 言わせる	い 言わせない
II	た 食べる	た 食べさせる	た 食べさせない
	み 見る	み 見させる	み 見させない
	おぼ 覚える	おぼ 覚えさせる	おぼ 覚えさせない
	き 着る	き 着させる	き 着させない
III	く 来る	こ 来させる	こ 来させない
	する	させる	させない



II. (使役) てください／(使役) ていただきたいんですが (話者がしたいことを願ひ出る)

部下： 課長、きょうの午後、ちょっと外出させていただきたいんですが。  
 実は、歯が痛いので、歯医者へ行きたいんです。  
 課長： ああ、いいですよ。

〈先生に〉 きょうは早く帰らせてください。

〈電車の中で〉 そこに荷物を置かせてください。

〈上司に〉 あした1日、休ませていただきたいんですが、よろしいでしょうか。

〈上司に〉 その仕事は私にやらせていただけないですか。

練習問題

I. 例にならって形を変えなさい。

例. 書く → 書かせる 書かせない 書かせた 書かせなかった

① 読む →

② 会う →

③ おぼえる →

④ 聞く →

⑤ する →

⑥ 話す →

⑦ 食べる →

⑧ 帰る →

⑨ 来る →

⑩ 行く →

## II. 例にならって文を使役形に変えなさい。

例 <sup>がくせい さくぶん か</sup> 学生は作文を書いた / <sup>せんせい</sup> 先生 → <sup>せんせい がくせい さくぶん か</sup> 先生は学生に作文を書かせました。

- ① <sup>がくせい</sup> 学生は <sup>なんど き</sup> テープを何度も聞いた / <sup>せんせい</sup> 先生 →
- ② <sup>こども</sup> 子供は <sup>へや</sup> 部屋の <sup>ははおや</sup> そうじをした / 母親 →
- ③ <sup>むすこ</sup> 息子は <sup>くるま あら</sup> 車を洗う / <sup>しゅじん</sup> 主人 →
- ④ <sup>ぶ か</sup> 部下は <sup>くわ ほうこく</sup> 詳しい報告を出した / <sup>さ とう</sup> 佐藤さん →
- ⑤ <sup>じょせいしゅいん</sup> 女性社員は <sup>ちや</sup> お茶をいれる / <sup>わたし かいしや じょうし</sup> 私の会社の上司 →
- ⑥ <sup>こども</sup> 子供は <sup>じ いこう</sup> 9時以降 <sup>み</sup> テレビを見ない / <sup>わたし</sup> 私 →
- ⑦ <sup>がくせい</sup> 学生は <sup>にちようび</sup> 日曜日に <sup>うんどうじょう</sup> 運動場を <sup>つか</sup> 使わない / <sup>がっこう</sup> 学校 →
- ⑧ <sup>ぶ か</sup> 部下は <sup>よるおそ</sup> 夜遅くまで <sup>はたら</sup> 働く / <sup>じょうし</sup> 上司 →
- ⑨ <sup>ちちおや</sup> 父親は <sup>よろこ</sup> 喜んだ / <sup>こども</sup> 子供 →
- ⑩ <sup>かのじょ</sup> 彼女は <sup>な</sup> 泣いた / <sup>かれ</sup> 彼 →

## III. 使役形を使って文を作りなさい。

(1) <sup>こども きょういく</sup> 子供の教育のために <sup>おや</sup> 親は <sup>こども</sup> 子供にどんなことをさせますか。

- ①
- ②
- ③

(2) <sup>がっこう きょうし</sup> 学校で教師は <sup>がくせい</sup> 学生にどんなことをさせますか。

- ①
- ②
- ③

(3) <sup>おや</sup> 親は <sup>こども</sup> 子供にどんなことをさせませんか。

- ①

②

③

IV. 文を完成させなさい。

① 病気<sup>びょうき</sup>になって親<sup>おや</sup>を\_\_\_\_\_せた。

② おもしろい<sup>はなし</sup>話をして\_\_\_\_\_を\_\_\_\_\_せた。

③ 自動車<sup>じ どうしや</sup>事故<sup>じ こ</sup>を起こして\_\_\_\_\_を\_\_\_\_\_せた。

V. 上司<sup>じょうし</sup>に<sup>い</sup>ねいに<sup>い</sup>依頼<sup>い</sup>をしなさい。

① 頭<sup>あたま</sup>が<sup>いた</sup>痛い<sup>いた</sup>ので<sup>はや</sup>早く<sup>かえ</sup>帰<sup>かえ</sup>りたい。→

② 来月<sup>らいげつ</sup>結<sup>けつ</sup>婚<sup>こん</sup>するので<sup>しゅうかん</sup>1週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>休<sup>やす</sup>みたい。→

③ 新<sup>あたら</sup>しい<sup>し</sup>仕<sup>ごと</sup>事<sup>たん</sup>を<sup>とう</sup>担<sup>とう</sup>当<sup>とう</sup>したい。→

VI. 下の文を読んで質問に答えなさい。

こども きょういく おや おお もんだい に ほん がくれきしゃかい よ  
子供の教育は親にとって大きな問題である。日本のような学歴社会では、良  
がっこう い ちい とく とくべつ べんきょう じゅく かよ  
い学校に行かせるために小さい時から特別の勉強をさせたり、塾に通わせたり  
する親が最近<sup>おや さいきん おお</sup>は多い。その他にピアノや習字<sup>ほか しゅうじ</sup>も習<sup>なら</sup>わせたりするので、子供<sup>こども</sup>の生<sup>せい</sup>  
かつ いそが あそ じかん すく じ どうも じ ゆう  
活はとても忙しくなる。遊ぶ時間<sup>あそ じかん</sup>はとても少ないようだ。子供をもっと自由<sup>じ ゆう</sup>に  
ともだち あそ す ほん よ ひつよう  
友達と遊ばせたり、好きな本を読ませたりすることが必要<sup>ひつよう</sup>ではないだろうか。

1. 最近<sup>さいきん</sup>の親<sup>おや</sup>は子供<sup>こども</sup>にどんなことをさせますか。

### 3 5 課

#### 1. 受け身 (他者から受けた行為を表す)

(1)

しょうがっこう とき わたし げんき こども  
 小学校の時、私はとても元気な子供だった。あまりほめられたことはなかつたが、運動ができたのでスポーツの試合の時はよく選手に選ばれた。

わたし せんせい  
 私は 先生に ほめられました。  
 わたし ともだち  
 (私は) 友達に パーティーに 誘われました。  
 わたし ともだち  
 私は 友達に 「恵子」と 呼ばれています。

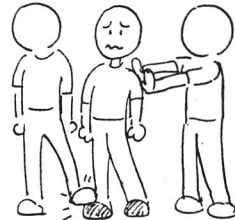


山田 恵子

(2) 迷惑

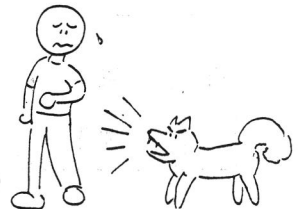
に ほん き おどろ あきゆう えき ひと おお  
 日本に来て、まず驚いたのは朝夕のラッシュアワーの駅だ。人が多いし、とても危険だ。足を踏まれたり、押されたりするのは普通のことで、時々電車のドアに体をはさまれる。会社に行くのはたいへんなことだ。

わたし  
 (私は) だれかに 押されました。  
 わたし ともだち  
 (私は) 友達に 笑われました。  
 うちの子はとなりの人に しかられました。



わたし はは わたし て かみ  
 (私は) 母に (私の) 手紙を 読まれました。  
 わたし  
 (私は) だれかに 足を 踏まれました。  
 わたし  
 私は (だれかに) ひとり娘を 殺されてしまった。  
 しゅじん  
 主人は すりに さいふを すられて、たいへんだった。

わたし きのうち あめ  
 (私は) きのう 雨に 降られました。  
 わたし いぬ  
 私は 犬に ほえられました。  
 ははおや こども  
 母親は 子供に な 泣かれて、こま 困ってしまった。



かいしゃ しゃいん きゅう や こま  
会社は 社員に 急に 辞められると、困る。

### (3) 事物についての情報

がっこう ねん せつりつ よくねん に ほんご きょういく はじ  
この学校は1991年に設立されました。翌年から日本語の教育が始められ  
ました。まだ歴史はあまりありませんが、多くの人(おお ひと)に(がっこう い)学校だと言われてい  
ます。

たてもの ひゃくねんまえ た  
この建物は 百年前に 建てられた。  
ふじ さん こくりつこうえん し てい  
富士山は 国立公園に 指定されている。  
うた  
この歌はよくカラオケで歌(うた)われる。

#### 《受け身形》

		受 け 身 形	
		肯 定	否 定
I	か 書く	か 書かれる	か 書かれない
	き 聞く	き 聞かれる	き 聞かれない
	い 言う	い 言われる	い 言われない
	はな 話す	はな 話される	はな 話されない
	よ 読む	よ 読まれる	よ 読まれない
	はい 入る	はい 入られる	はい 入られない
II	み 見る	み 見られる	み 見られない
	た 食べる	た 食べられる	た 食べられない
	ほめる	ほめられる	ほめられない
III	く 来る	こ 来られる	こ 来られない
	する	される	されない

## II. 使役受け身 (他者から強制されて行う行為)

わたし うた 私は歌かへた。でも、ぶ ちょう の 部長と飲みにい くと、かなら 必ずカラオケで歌わさせられ  
る。お酒もあまり飲めな いか、つきあ いて何杯も飲ませられる。

こ ども と き 子供の時 (わたし) おや 親に や さい 野菜を た く さん たくさん 食べさせられました。  
このがっこうのがくせい 学校は每学期、(せんせい 先生に) おおぜい まえ 大勢の前でスピーチをさせられます。  
やまだ 山田さんは じょうし 上司に にちようび 日曜日も かいし 会社へ 来させられました。



### 《使役受け身》

		使役形	使 役 受 け 身	
			肯 定	否 定
I	か 書く	か 書かせる	か 書かせられる／か 書かされる	か 書かせられない／か 書かされない
	き 聞く	き 聞かせる	き 聞かせられる／き 聞かされる	き 聞かせられない／き 聞かされない
	い 言う	い 言わせる	い 言わせられる／い 言わされる	い 言わせられない／い 言わされない
	はな 話す	はな 話させる	はな 話させられる／ ———	はな 話させられない／ ———
	よ 読む	よ 読ませる	よ 読ませられる／よ 読まされる	よ 読ませられない／よ 読まされない
	かえ 帰る	かえ 帰らせる	かえ 帰らせられる／かえ 帰らされる	かえ 帰らせられない／かえ 帰らされない
II	み 見る	み 見させる	み 見させられる	み 見させられない
	た 食べる	た 食べさせる	た 食べさせられる	た 食べさせられない
	おぼ 覚える	おぼ 覚えさせる	おぼえさせられる	おぼえさせられない
III	く 来る	こ 来させる	こ 来させられる	こ 来させられない
	する	させる	させられる	させられない

## 練習問題

### I. 例にならって形を変えなさい。

例. 書く → 書かれる 書かれない 書かせられる 書かせられない  
書かされる 書かされない

- ① 食べる →
- ② 聞く →
- ③ 来る →
- ④ 言う →
- ⑤ 笑う →
- ⑥ とる →
- ⑦ 泣く →
- ⑧ 見る →
- ⑨ 帰る →
- ⑩ 話す →

### II. [ ] の中に助詞を入れ、( ) の動詞を受け身形または使役受け身形に変えなさい。

- ① けさ、電車の中で足 [ ] (踏む → )。
- ② ときどき駅のホームで後ろから人 [ ] (押す → )。
- ③ きのう、となりの犬 [ ] (かむ → )。
- ④ 5年前、父 [ ] (死ぬ → )。
- ⑤ けんかで顔 [ ] (なぐる → ) ことがあります。
- ⑥ 私はいつも友達からニックネームで (呼ぶ → )。
- ⑦ コンサート [ ] (誘う → ) て、うれしかった。
- ⑧ この雑誌はサラリーマン [ ] よく (読む → ) ています。
- ⑨ この学校は去年 (建てる → ) 。
- ⑩ 高校の時、よく宿題を忘れて先生 [ ] (しかる → ) 。

- ⑪ 日本の会社では平社員は夜遅くまで（働く→）。
- ⑫ 中学生や高校生は入学試験のために嫌でも（勉強する→）。

### Ⅲ. 文を完成させなさい。

- ① ゆうべは全然眠れなかった。一晩中となりの犬に\_\_\_\_\_。
- ② 戦争で家を\_\_\_\_\_たり、家族を\_\_\_\_\_たりして  
たぐさんの人が困っている。
- ③ この辞書はとても使いやすいので、たぐさんの大学生に\_\_\_\_\_。
- ④ 電車の中でよっぱらいに\_\_\_\_\_て、困った。
- ⑤ あの作家の小説は外国語に\_\_\_\_\_、多くの人に\_\_\_\_\_ている。
- ⑥ 新入社員はいろいろな雑用を\_\_\_\_\_ても、がまんしなければならぬ。
- ⑦ 観光地ではさいふを\_\_\_\_\_ないように注意したほうがいい。

### Ⅳ. 下の文を読んで質問に答えなさい。

いま わたしたち せいかつ なか ところ つか まいにち  
今、コンピューターは私達の生活の中でいろいろな所で使われている。毎月  
のように新製品が発売されて、古いものはどんどん捨てられている。  
さいきん へいじつ かいしゅ い つか かいしゅ し  
最近では平日も会社へ行かないで、うちでコンピューターを使って会社の仕  
ごと ひと ふ あさはや しゅっしゅ よるおそ ざんぎょう  
事をする人も増えている。朝早く出社させられたり、夜遅くまで残業させられ  
ることはないが、いちにちじゅうだれ あ し ごと すこ  
一日中誰にも会わないで仕事をするというのも少しさびしい  
きがする。

1. うちでコンピューターを使って仕事をするときのいい点、悪い点は何ですか。



### 36課

#### I. \_\_\_\_\_ように (目標、良い結果を目指す。望ましくない事態を防ぐ)

わたし ねん まえ えいご べんきょう はじ もくひょう くに ひと  
私は10年ぐらゐ前に英語の勉強を始めました。目標は「いろいろな国の人  
じ ゆう はなし いま えいご じ ゆう はなし べんきょう  
と自由に話ができること」です。今でも、英語で自由に話ができるように勉強  
つづ  
を続けています。

に ほんご し ごと つか に ほんご べんきょう  
日本語が 仕事で使えるように、日本語を勉強しています。

せんせい はなし き きょうしつ まえ ほう せき  
先生の話がよく聞こえるように、教室の前の席にすわりました。

さいしゅうでんしゃ ま あ えき はし  
最終電車に 間に合うように、駅まで走りました。

かぜが はやく なおるように、オレンジジュースをたくさん飲<sup>の</sup>みました。

かぜを ひかないように、毎日ビタミ<sup>まいにち</sup>ン<sup>ざい</sup>剤<sup>の</sup>を飲んでいます。

#### II. (意志動詞) ために (目的)

わたし しょうらい に ほん し ごと おも に ほん かいしゅ はたら  
私は将来、日本で仕事をしたいと思っています。日本の会社で働<sup>はたら</sup>くために、  
に ほんご べんきょう  
日本語を勉強しています。

アレルギーを なおすために毎日薬<sup>まいにちくすり</sup>のを飲んでいます。

ゆうめい せんせい はなし き ひと あつ  
有名な先生の話を 聞くために、たくさん<sup>ひと あつ</sup>の人が集まりました。

に ほん こうこうせい だいがく はい べんきょう  
日本の高校生は 大学に入るために勉強しています。

わたし くに ひとたち じんせい たの はたら  
私の国の人達は 人生を楽しむために働<sup>はたら</sup>いています。

#### III. \_\_\_\_\_ようにしている (いつも心に留めてできるだけ努めていること)

けんこう いちばん よ ね ぶ そく おも わたし  
健康のために一番良<sup>い</sup>くないのは寝不足だ<sup>ね ぶ そく</sup>と思いますので、私はできるだけ  
じ まえ ね し ごと  
12時より前に寝<sup>ね</sup>るようにしています。たまには、仕事<sup>し ごと</sup>がたくさんあつて12  
じ す  
時を過ぎることもありますか。

健康のために できるだけ あまい物は食べないようにしています。

平日は忙しいですが、休みの日には家事を手伝うようにしています。

日本語で話すときは 日本語で考えるようにしています。

\*日本語で話すときは日本語で考えるようにしてください。

#### IV. \_\_\_\_\_ように言う (第三者の指示や命令を聞き手に伝える)

私は先月たばこをやめました。恋人が私の健康のことを心配して、たばこをやめるように言ったからです。

課長が あしたの朝8時に成田へ行くように言ったので、6時に家を出ます。

医者が 2、3日 お酒を飲まないように言いました。

おとうさん、医者が お酒を飲まないように言っていましたよ。

課長に 早く 報告書を書くように言われました。

国の母に、週に1度うちに電話をするように言われています。

#### V. \_\_\_\_\_ように伝えてください／言ってください (自分の指示や命令を第三者に伝えるように聞き手に頼む)

A: もしもし、田中の家内ですが、主人、おられますか。

B: 今、電話中ですか。

A: そうですか。では、自宅に電話するようにお伝えください。

陳さんに、あしたは7時に来るように伝えてください。

田中さんに、すぐ人事課へいらっしゃるようにお伝えください。

リーさんに、集合時間に遅れないように伝えてください。

皆さんに、ここにゴミを捨てないように言ってください。

## 練習問題

### I. 適当な方を選びなさい。

- ① かぜをひかない { (a) ように 毎日12時まで<sup>まいにち じ ね</sup>に寝るようにしています。  
 (b) ために
- ② 食べる { (a) ように 働<sup>はたら</sup>かなければなりません。  
 (b) ために
- ③ かぜを早く<sup>はや</sup>なおす { (a) ように 野菜ジュース<sup>や さい</sup>をたくさん飲<sup>の</sup>みました。  
 (b) ために
- ④ かぜが早く<sup>はや</sup>なおる { (a) ように 野菜ジュース<sup>や さい</sup>をたくさん飲<sup>の</sup>みました。  
 (b) ために
- ⑤ 国で旅行ガイドになる<sup>くに りょこう</sup> { (a) ように 日本語<sup>に ほんご</sup>を勉強<sup>べんきょう</sup>しています。  
 (b) ために
- ⑥ 日本語で商談<sup>に ほんご しょうだん</sup>ができる { (a) ように ビジネスの日本語<sup>に ほんご</sup>を勉強<sup>べんきょう</sup>したいです。  
 (b) ために
- ⑦ オリンピックで金メダル<sup>きん</sup>をとる { (a) ように 毎日練習<sup>まいにちれんしゅう つづ</sup>を続けた。  
 (b) ために
- ⑧ オリンピックで金メダル<sup>きん</sup>がとれる { (a) ように 毎日練習<sup>まいにちれんしゅう つづ</sup>を続けた。  
 (b) ために

### II. 文を完成させなさい。

- ① 私<sup>わたし</sup>はかぜをひかないように \_\_\_\_\_ ようにしています。
- ② 上司<sup>じょうし</sup>と話<sup>はな</sup>すときは \_\_\_\_\_ ようにしたほうがいいです。
- ③ 日本語<sup>に ほんご</sup>が早く<sup>はや</sup>上手<sup>じょうず</sup>になりたかったら、 \_\_\_\_\_ ように  
 したほうがいいです。
- ④ 私<sup>わたし</sup>は \_\_\_\_\_ ために日本語<sup>に ほんご</sup>を勉強<sup>べんきょう</sup>しています。

### III. 例にならって文を書き換えなさい。

例. 課長<sup>か ちょう</sup>: あしたの朝8時<sup>あさ じ</sup>に成田<sup>なりた</sup>へ行<sup>い</sup>ってください。

→ (私<sup>わたし</sup>は) 課長<sup>か ちょう</sup>にあしたの朝8時<sup>あさ じ</sup>に成田<sup>なりた</sup>へ行<sup>い</sup>くように言<sup>い</sup>われました。

① 医者： <sup>いしや</sup> <sup>さけ</sup> しばらくお酒をやめてください。

→

② 課長： <sup>か ちょう</sup> <sup>きょう じゅう</sup> 今日中に <sup>て がみ</sup> <sup>へんじ</sup> この手紙の返事 <sup>か</sup> を書いてください。

→

③ 先生： <sup>せんせい</sup> <sup>きんようび</sup> 金曜日までに <sup>さくぶん</sup> <sup>か</sup> 作文を書いてください。

→

④ 山田： <sup>やまだ</sup> <sup>かいぎ</sup> <sup>おく</sup> あしたの会議に遅れないでください。

→

⑤ 先生： <sup>せんせい</sup> <sup>きょうかしょ</sup> <sup>わす</sup> あしたは教科書を忘れないでください。

→

#### IV. 例にならって文を書き換えなさい。

例. <sup>た なか</sup> 田中さん / <sup>じんじ か</sup> すぐ人事課へいらっしゃってください。

→ <sup>た なか</sup> 田中さんに <sup>じんじ か</sup> すぐ人事課へ <sup>つた</sup> いらっしゃるように伝えてください。

① <sup>やまだ</sup> 山田さん / <sup>わたし</sup> 私のうちに <sup>でんわ</sup> 電話してください。

→

② <sup>しゅう</sup> 周さん / <sup>も</sup> あしたレポートを持ってきてください。

→

③ <sup>ちん</sup> 陳さん / <sup>やす</sup> 休むときは <sup>れんらく</sup> 連絡してください。

→

④ <sup>むり</sup> キムさん / 無理をしないでください。

→

- ⑤ 課長／心配しないでください。

→

V. 下の文を読んで質問に答えなさい。

きゅうか す      べっそう    ながの    た      こうげん    と    ち    か      じ    ぶん    いえ  
休暇を過ごすための別荘を長野に建てた。高原に土地を買って、自分で家の  
せっけい  
設計をした。まず、まわ    はやし    みずうみ    けしき      み      まど    おお  
周りの林や湖の景色がよく見えるように窓を大きくした。  
ともだち    と      きょくしつ      つく      ふゆ      さむ      つめ    かぜ  
友達が泊まれるように、客室もひとつ作った。冬はとても寒いので、冷たい風  
はい      に    じゅうまど  
が入らないように二重窓にした。  
いそが    せいかつ    おく      きゅうかちゅう    し    ぜん    なか  
ふだんは忙しい生活を送っているので、休暇中は自然の中でゆっくりとして  
しんしん    つか      と      おも  
心身の疲れを取るようにしたいと思っている。

1. 別荘はどんな設計になっていますか。

### 37課

#### I. \_\_\_\_\_てくる (変化が始まって現在まで続いている)

2週間前は寒くてコートを着ていましたが、きのうは最高気温が24度でした。だいぶ、あたたかくなってきました。

この頃寒くなって、コートを着る人が増えてきました。

この川は水が汚れて、魚の数が減ってきました。

だんだん おなかかすいてきました。

ちょっと ねむくなってきました。

#### II. \_\_\_\_\_ていく (今後の変化)

12月に入って、だいぶ寒くなってきました。これからもっと寒くなっていきます。

夜が明けて、星がだんだん消えていきます。

年をとると、体力がだんだんなくなっていくます。

日本ではこれからますます子供の数が減っていくでしょう。

世界の人口はこれからも増えていくと思います。

#### III. \_\_\_\_\_ようになる (行動や生活のパターン、考え方や能力の変化。以前は) できなかった、できなかったが今はする、できる

私は2年前に日本へ来ました。はじめは日本語がぜんぜんわかりませんでした。が、この頃は何でもわかるようになりました。

息子は中学校に入って、よく勉強するようになりました。

最近、文書を書くときはワープロを使うようになりました。

れいぞうこ ふ きゅう た もの なが ほ ぞん  
冷蔵庫が普及して、食べ物<sup>もの</sup>が長く保存<sup>ほぞん</sup>できるようになりました。

に ほんご べんきょう はじ ねん しんぶん よ  
日本語の勉強<sup>べんきょう</sup>を始めて2年<sup>ねん</sup>で新聞<sup>しんぶん</sup>が読めるようになりました。

IV. \_\_\_\_\_ なくなる (行動や生活のパターン、考え方や能力の変化)  
(以前はした、できたが、今はしない、できない)

わたし ねんまえ に ほん き えきいん ちか てつ の か  
私は1年前<sup>ねんまえ</sup>に日本<sup>ほん</sup>へ来<sup>き</sup>ました。はじめはよく駅員<sup>えきいん</sup>に地下鉄<sup>ちか てつ</sup>の乗り換え<sup>の か</sup>をききました<sup>き</sup>が、最近<sup>さいきん</sup>は全然<sup>ぜんぜん</sup>きかなくなりました。

むすこ ちゅうがっこう はい わたし はなし  
息子<sup>むすこ</sup>は中学校<sup>ちゅうがっこう</sup>に入<sup>はい</sup>って、私<sup>わたし</sup>とあまり話<sup>はなし</sup>をしなくなりました。

ふ きゅう つか  
ワープロ<sup>ふ きゅう</sup>が普及<sup>ふ</sup>して、タイプライター<sup>つか</sup>を使<sup>つか</sup>わなくなりました。

ちか かわ みず よご さかな す  
うちの近く<sup>ちか</sup>では川<sup>かわ</sup>の水<sup>みず</sup>が汚<sup>よご</sup>れて、魚<sup>さかな</sup>が注<sup>す</sup>めなくなりました。

そ ぼ さいきん は よわ かた もの た  
祖母<sup>そ ぼ</sup>は最近<sup>さいきん</sup>歯<sup>は</sup>が弱<sup>よわ</sup>くなって、固<sup>かた</sup>い物<sup>もの</sup>が食<sup>た</sup>べられなくなりました。

練習問題

I. 適当な方を選びなさい。

- ① ここ1週間<sup>しゅうかん</sup>の間にだいふ寒<sup>さむ</sup>くなって { (a) いきました。  
(b) きました。

- ② 私は日本<sup>わたし に ほん</sup>へ来て3か月<sup>きげつ</sup>ぐらいたって、急に日本語<sup>きゅう に ほんご</sup>が話<sup>はな</sup>せるようになって  
{ (a) いきました。  
(b) きました。

- ③ 息子<sup>むすこ</sup>も社会人<sup>しゃかいじん</sup>になって、だんだんおとな<sup>おとな</sup>っぽくなって { (a) いきました。  
(b) きました。

- ④ コアラやパンダ<sup>など どうぶつ</sup>等の動物<sup>ずく</sup>はますます少<sup>すく</sup>なくなっていて { (a) いく でしょう。  
(b) くる

- ⑤ おなか<sup>なにか</sup>がすいて { (a) いった から、何か<sup>なに た</sup>食<sup>た</sup>べましょう。  
(b) きた

II. 適当な方を選びなさい。

- ① この1か<sup>げつ</sup>月で3キロ { (a) ふどりました。 (b) ふどるようになりました。
- ② き<sup>のう</sup>のはテニスをしておな<sup>か</sup>か { (a) すいた (b) すくようになった <sup>ので、</sup>
- すしを2人<sup>にんまえ</sup>前<sup>た</sup>食べてしまいました。
- ③ 最近、家庭のビデオで映画<sup>えいが</sup>が { (a) 見られて (b) 見られるように <sup>なりました。</sup>
- ④ 洗濯<sup>せんたく</sup>機を { (a) 使うに (b) 使うように <sup>な</sup>って、洗濯<sup>せんたく</sup>が { (a) 簡単<sup>かんたん</sup>に (b) 簡単<sup>かんたん</sup>なように <sup>なりました。</sup>
- ⑤ 私は最近、日本語<sup>にほんご</sup>の発音<sup>はつおん</sup>が { (a) よく (b) いいように <sup>な</sup>ったと言<sup>い</sup>われました。

III. 適当な形に変えなさい。

- ① 日本<sup>にほん</sup>へ来<sup>き</sup>て、お酒をたくさん<sup>の</sup> (飲む<sup>のむ</sup>→ ) になりました。
- ② この頃<sup>ごろ</sup>日本語を話<sup>はな</sup>すの<sup>が</sup> (たいへん<sup>へん</sup>じゃない→ ) になりました。
- ③ 日本語で話<sup>はな</sup>すときは、日本語で<sup>にほんご</sup> (考<sup>かんが</sup>える→ ) になりました。
- ④ 最近、あまり手紙<sup>てがみ</sup>を (書<sup>か</sup>かない→ ) になりました。
- ⑤ 携帯電話<sup>けいたいでんわ</sup>ができて、どこでも電話<sup>でんわ</sup>が (かけられる→ ) になりました。
- ⑥ うちの近<sup>ちか</sup>くに高速道路<sup>こうそくどうろ</sup>ができて、空<sup>くう</sup>気が (きたない→ ) になりました。
- ⑦ 将来<sup>しょうらい</sup>、日本語の<sup>にほんご</sup> (教<sup>きょうし</sup>師<sup>し</sup>→ ) になりたいと思<sup>おも</sup>っています。
- ⑧ 文明<sup>ぶんめい</sup>が進<sup>すす</sup>んで、生活<sup>せいかつ</sup>は (便<sup>べんり</sup>利<sup>り</sup>→ ) になりましたか、自然環境<sup>しぜんかんきょう</sup>はどんどん  
(悪<sup>わる</sup>い→ ) なっていくようです。

IV. 文を完成させなさい。

- ① 日本<sup>にほん</sup>へ来<sup>き</sup>て \_\_\_\_\_ になりました。



② わたし さいきん 私<sup>わたし</sup>は最近、 \_\_\_\_\_ になりました。

③ さいきん 最近、 \_\_\_\_\_ が<sup>ふ</sup>増えてきました。

④ ぶんめい すす 文明<sup>ぶんめい</sup>が<sup>すす</sup>進んで \_\_\_\_\_ になりました。

V. 下の文を読んで質問に答えなさい。

さいきん ち きゅう し ぜんかんきょう かん 最近、地球の自然環境<sup>ち きゅう し ぜんかんきょう かん</sup>に関していろいろな問題<sup>もんだい</sup>が<sup>で</sup>出てきている。例えば森林<sup>たと しんりん</sup>が<sup>へ</sup>減ってきたこと、大気<sup>たいき</sup>中のオゾン<sup>ちゅう</sup>が<sup>へ</sup>減ってきたことなどである。人間<sup>にんげん</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>は<sup>か</sup>すぐには変えられないから、このような問題<sup>もんだい</sup>はこれからも<sup>つづ</sup>続いていくのだらう。しかし、<sup>わたしたち</sup>私達<sup>たいせつ</sup>の大切な地球<sup>ち きゅう</sup>を守るために、自然<sup>し ぜん</sup>との共生<sup>きょうせい</sup>を<sup>かんが</sup>考えて生活<sup>せいかつ</sup>を変えていくことが<sup>ひつよう</sup>必要である。

1. し ぜんかんきょう 自然環境<sup>し ぜんかんきょう</sup>は<sup>か</sup>どう変わってきましたか。

### 38課

#### I. \_\_\_\_\_ても

やまだ 山田さんはとても酒が強い<sup>さけ つよ</sup>です。いくら飲んでも<sup>の ぜんぜんよ</sup>全然酔っぱらい<sup>よ</sup>ません。

#### (1)

いもうと 妹は いくら<sup>た</sup> 食べても ふとりません。

わたし 私 いくら<sup>べんきょう</sup> 勉強しても 日本語が上手<sup>に ほんご じょうず</sup>になりません。

やまだ 山田さんは いつ<sup>でんわ</sup> 電話しても いません。

た なか 田中さんのうち いつ<sup>い</sup> 行っても きれいです。

わたし 私 いくら<sup>いそが</sup> 忙しくても 毎日自分で食事<sup>まいにちじ ぶん しょくじ つく</sup>を作ります。

いくら<sup>じ ぶん し ごと さいご じ ぶん</sup> たいへんでも 自分の仕事は最後まで自分でやります。

すこ 少しくらい 給料<sup>きゅうりょうやす</sup>が安くても おもしろい仕事<sup>し ごと</sup>をしたいです。

すこ 少しくらい 不便<sup>ふ べん</sup>でも 静かな所<sup>しず ところ す</sup>に住みたいです。

#### (2)

いま 今 11時<sup>じ</sup>です。新幹線<sup>しんかんせん</sup>で 行<sup>い</sup>っても 12時には大阪<sup>じ おおさか</sup>に着<sup>つ</sup>けません。

いま 今から 急<sup>いそ</sup>いで 行<sup>い</sup>っても 約束<sup>やくそく</sup>の時間<sup>じ かん</sup>には間<sup>ま</sup>に合<sup>あ</sup>いません。

このことばの意味<sup>い み</sup>は辞書<sup>じ しょ</sup>で調<sup>しら</sup>べても わかりませんでした。

この漢字<sup>かんじ</sup>なら 辞書<sup>じ しょ</sup>で 調<sup>しら</sup>べなくても わかります。

きょうは暖か<sup>あたた</sup>い<sup>あ</sup>ですから、コート<sup>やくそく</sup>を 着<sup>き</sup>なくても 大丈夫<sup>だいじょうぶ</sup>です。

#### II. \_\_\_\_\_のに

きょう田中<sup>た なか</sup>さんに会<sup>あ</sup>う約束<sup>やくそく</sup>でした。田中<sup>た なか</sup>さんは絶対<sup>ぜったい</sup>来<sup>い</sup>ると言<sup>い</sup>ったのに、来<sup>き</sup>ませんでした。

まえ ひ じ かん べんきょう ぜんぜん  
前の日に 5時間も 勉強したのに、テストは全然できませんでした。  
しゅじん す りょうり つく すこ た  
主人の好きな料理をいろいろ 作ったのに、少ししか食べてくれませんでした。  
ねん に ほん す に ほんご ひとこと はな  
リーさんは10年も日本に住んでいるのに、日本語か一言も話せません。

わたし あたら あまも  
私のアパートはまた新しいのに雨漏りがします。  
かれ あし いた むり つづ  
彼は 足が 痛いのに無理をしてマラソンを続けた。

もう がつ さむ  
もう 4月なのにまだ寒いんです。  
かれ さい おとな かんが かんた  
彼はまだ12歳なのに大人のような考え方をします。

## 練習問題

I. ( )の中を「一ても」の形に変えなさい。

- ① ① 何度 (聞く → )、彼の名前が**おぼ**えられない。
- ② ② 中国との貿易の**仕事**だけはどんなに (たいへんだ → )、**かん**ばってやってみます。
- ③ ③ 彼女は私**か**何も (言**わ**ない → )、私の**きもち**を全部**か**ってくれる。
- ④ ④ いくら**きゅうりょう**が (い**く** → )、**きけん**な**しごと**はしたくない。
- ⑤ ⑤ この**はなし**は誰に (話**す** → )、**しん**じてもらえなかった。
- ⑥ ⑥ どんなに (ハンサムだ → )、い**く**か**ぜん**な人とは**けっこん**したくないです。
- ⑦ ⑦ あまり (広**く**ない → ) い**い**ですから、**やす** **へや** **さが** **あ**い部屋を探しています。
- ⑧ ⑧ A: 2時に渋谷に行きたい**い**んですか、**いま** **い** **ま** **あ**今から行ければ間に合うでしょうか。  
B: ここから1時間ぐ**ら**い**か**かりますから、**いま** **い** **ま** **あ**今から (行**く** → **ま** **あ** **おも**間に合**わ**ないと思**い**ますよ。

- ⑨ A: あさってのパーティーまでに5キロやせたいんです。  
 B: 1か月ぐら<sup>げつ</sup>いダイエットすれば、やせられるかもしれませんが、  
 2、3日<sup>にち</sup>で?はいくら(がんばる→ )無理<sup>むり</sup>だと思いますよ。

II. ( )の中を「-のに」の形に変えなさい。

- ① き<sup>い</sup>のう、「あしたからは絶対<sup>ぜったい</sup>に遅刻<sup>ちこく</sup>しない」と(言<sup>い</sup>いました→ )、  
 きょう、また遅刻<sup>ちこく</sup>してしまった。  
 ② 菜<sup>くすり</sup>を(飲<sup>の</sup>みました→ )、病氣<sup>びようき</sup>が治<sup>なお</sup>らない。  
 ③ 田中<sup>たなか</sup>さんは胃<sup>い</sup>が(弱<sup>よわ</sup>い→ )、よく酒<sup>さけ</sup>を飲<sup>の</sup>む。  
 ④ 外<sup>そと</sup>は(雨<sup>あめ</sup>です→ )、サッカーをやっている。  
 ⑤ 鈴木<sup>すずき</sup>さんはいつもは(穏<sup>おだ</sup>やかです→ )、一度怒<sup>いちど</sup>ると人<sup>ひと</sup>が変<sup>か</sup>わる。  
 ⑥ 私<sup>わたし</sup>はき<sup>すこ</sup>のう、少<sup>すこ</sup>し頭<sup>あたま</sup>が痛<sup>いた</sup>かったので、会<sup>かいし</sup>社<sup>しゃ</sup>を休<sup>やす</sup>みましたが、周<sup>しゅう</sup>さん<sup>ど</sup>は、40度<sup>ど</sup>も  
 熱<sup>ねつ</sup>が(ありまし<sup>あ</sup>→ )、10時<sup>じ</sup>まで残<sup>ざんぎよう</sup>業<sup>ぎよう</sup>をし<sup>し</sup>たそうです。  
 ⑦ うち<sup>なりた</sup>から成<sup>じ</sup>田<sup>かん</sup>まで3時<sup>は</sup>間<sup>や</sup>ぐら<sup>で</sup>い<sup>じ</sup>か<sup>かん</sup>かるので、早<sup>はや</sup>くうちを出<sup>で</sup>まし<sup>じ</sup>た。4時<sup>かん</sup>間<sup>まえ</sup>前<sup>え</sup>に  
 リムジ<sup>の</sup>ンバ<sup>こ</sup>スに(乗<sup>こう</sup>りまし<sup>こう</sup>→ )、交<sup>こう</sup>通<sup>つう</sup>渋<sup>じゅう</sup>滞<sup>たい</sup>で飛<sup>ひ</sup>行<sup>こう</sup>機<sup>き</sup>に遅<sup>おく</sup>れて  
 しま<sup>し</sup>いまし<sup>ま</sup>た。

III. ( )の中を「-ても」か「-のに」に変えなさい。

- ① 病氣<sup>びようき</sup>の時<sup>とき</sup>は何<sup>なに</sup>を(食<sup>た</sup>べる→ )おいしく<sup>ない</sup>。  
 ② もうすぐ10月<sup>がつ</sup>に(なる→ )、まだ暑<sup>あつ</sup>い日<sup>ひ</sup>が続<sup>つづ</sup>いている。  
 ③ 来<sup>らい</sup>週<sup>しゅう</sup>、(結<sup>けつ</sup>婚<sup>こん</sup>式<sup>しき</sup>だ→ )、何<sup>なに</sup>も準<sup>じゅん</sup>備<sup>び</sup>をし<sup>て</sup>い<sup>ない</sup>。  
 ④ 少<sup>すこ</sup>しぐら<sup>たか</sup>い(高<sup>い</sup>→ )、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>のた<sup>め</sup>に<sup>ほん</sup>なる本<sup>か</sup>なら買<sup>か</sup>います。  
 ⑤ あの子<sup>こ</sup>はま<sup>さい</sup>だ(10歳<sup>さい</sup>だ→ )、4か<sup>こくご</sup>国<sup>こく</sup>語<sup>ご</sup>が話<sup>はな</sup>せる。  
 ⑥ い<sup>い</sup>くら(急<sup>いそ</sup>ぐ→ )、この仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>は今日<sup>きょう</sup>中<sup>じゅう</sup>には終<sup>お</sup>わら<sup>ない</sup>ないでし<sup>ょう</sup>。  
 ⑦ 今日<sup>きょう</sup>は(日<sup>にち</sup>曜<sup>よう</sup>日<sup>び</sup>だ→ )、このデ<sup>で</sup>パ<sup>ぱ</sup>ー<sup>と</sup>はす<sup>い</sup>いて<sup>いる</sup>。

IV. 下の文を読んで質問に答えなさい。

とうきょう さが むずか すこ せま つうきん  
 東京でアパートを探すのはなかなか難しい。少しぐらい狭くても、通勤に  
 べんり ところ つうきん じ かん す ごち ところ  
 便利な所にするか、または通勤に時間がかかっても、住み心地のいい所にする  
 き わたし けっきょく かいしゃ ぶん ところ き  
 か、決めなければならない。私は結局、会社から30分ぐらいの所に決めた。  
 や ちん よ さん すこ たか だいどころ すこ せま へ や じょう  
 家賃は予算より少し高いし、お風呂や台所も少し狭いから、部屋は6畳なので  
 ひとり ぐ じゅうぶん ひろ かいもの べんり ゆうじん ちか す  
 一人暮らしには十分な広さだし、買物にも便利だし、友人も近くに住んでいる  
 き  
 のでここに決めた。

1. どんな所に住むことに決めましたか。

## 日本語のぶんぽう

---

1996年12月20日 第2版発行

著作者 広瀬万里子・大森瑳子・岩崎理都子  
イラスト 岩崎理都子

発行所 T I J 東京日本語研修所  
〒124 東京都葛飾区新小岩 1-17-10  
Tel. 03-5607-4100 Fax. 03-5607-4102  
発売元 にほんごの凡人社  
〒102 東京都千代田区平河町 1-3-13  
菱進平河町ビル 1F  
Tel. 03-3472-2240 Fax. 03-3472-2129  
印刷所 有限会社アベル社

---

© TOKYO INSTITUTE OF JAPANESE

1996 Printed in Japan ISBN 4-924907-14-6

